DIGNO® SX3

User Guide 取扱説明書 詳細版

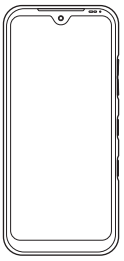
Kyocera Confidential

ごあいさつ

このたびは、「DIGNO SX3」(以下、「本製品」もしくは「本体」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本製品に同梱する『クイックスタートガイド』または本書をお読みいただき、正しくお使いください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体

- クイックスタートガイド

以下のものは同梱されていません。

• ACアダプタ	• microSDメモリカード
• USB Type-C®ケーブル	• イヤホン

memo

◎ 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
◎ 電池は本製品に内蔵されています。
◎ 本文中で使用している本製品のイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

取扱説明書について

■『クイックスタートガイド』

初めてお使いになる前に必要な情報や注意事項を説明しています。

■『オンラインマニュアル』

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『オンラインマニュアル』は、本製品から以下の操作でご確認できます。
ホーム画面を上にスワイプ→[取扱説明書]

また、『オンラインマニュアル』はauホームページからもご確認できます。
https://www.au.com/online-manual/kyg02/

■『取扱説明書 詳細版』

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『取扱説明書 詳細版』(本書)はauホームページでご確認できます。
https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/

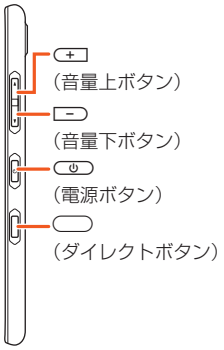
■ For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の『取扱説明書』が必要な方へ
You can download the English version of the "Quick Start Guide" from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『クイックスタートガイド(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。
Download URL:
https://www.au.com/english/support/manual/

本書の表記方法について

■ 掲載されているボタン表示について

本書では、ボタンの図を次のように簡略化しています。



■ 項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記例	意味
ホーム画面→[ ]→[ダイヤル]タブをタップ→[1][4][1]→[ ]	ホーム画面下部の[ ]をタップします。続けて[ダイヤル]タブをタップした後に[1][4][1]の順にタップして、最後に[ ]をタップします。
ホーム画面を上にスワイプ→[設定]	ホーム画面を上方向にスワイプします。続けて、表示されたアプリ一覧画面から[設定]をタップします。
スリープモード中に (電源ボタン)	スリープモード中に (電源ボタン)を押します。

- タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です(▶P.22)。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書は特に記載のある場合を除き、auのSIMカードを取り付けた状態の画面表示・操作方法などの説明内容となります。
本書に記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。

実際の画面　　本書の表記例

memo

◎ 本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。
◎ 本書では「microSD™メモリカード(市販品)」および「microSDHC™メモリカード(市販品)」、「microSDXC™メモリカード(市販品)」の名称を「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。
◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

Kyocera Confidential

目次

ごあいさつ……1
同梱品一覧……1
取扱説明書について……1
本書の表記方法について……1

目次……2

注意事項……5

注意事項……6
本製品のご利用について……6
安全上のご注意(必ずお守りください)……6
材質一覧……9
取り扱い上のご注意……9
防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意……11
ご使用にあたっての注意事項……11
充電のときは……11
お手入れのしかた……12
水に濡れたときの水抜きについて……12
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について……13
2.4GHz帯ご使用上の注意……13
5GHz帯ご使用上の注意……13
各種暗証番号／PINコードについて……13
各種暗証番号について……13
PINコードについて……13
データ通信料についてのご注意……14
通話料についてのご注意……14
アプリケーションについて……14
アプリの権限を設定する……14
アプリごと／機能ごとに設定する……14
マナーも携帯する……14

ご利用の準備……15

ご利用の準備……16
各部の名称と機能……16
SIMカードについて……17
SIMカードが挿入されていない場合……17
SIMカードを取り付ける／取り外す……17
SIMカードを取り付ける……17
SIMカードを取り外す……17
充電する……18
指定のACアダプタを使って充電する……18
パソコンを使って充電する……18
電源を入れる／切る……19
電源を入れる……19
電源を切る……19
強制的に電源を切り再起動する……19
セーフモードで起動する……19
スタート画面について……19
スタート画面からホーム画面を表示する……19
スリープモードについて……19
初期設定を行う……20
Google アカウントをセットアップする……20

基本操作……21

基本操作……22
タッチパネルの使いかた……22
ナビゲーションバーの使いかた……22
縦／横画面表示を切り替える……22
ホーム画面を利用する……22
クイック起動エリアを利用する……22
壁紙を変更する……23
アプリ／ウィジェット／フォルダを利用する……23
ホーム画面を設定する……23
ホームアプリを切り替える……23
かんたんホームを利用する……23
アプリを起動する……23
アプリ一覧のメニューを利用する……24
インストールされたアプリを削除する……24
本製品の状態を知る……24
アイコンの見かた……24
通知パネルについて……24
着信ランプ／充電ランプについて……24
最近使用したアプリを起動する……24
マルチウィンドウを利用する……24
マナーモードを設定する……25
メニューを表示する……25
スクリーンショットを撮影する……25
アプリのショートカット機能を利用する……25
指紋認証機能……25
指紋認証機能のご利用にあたって……25
指紋認証利用時のご注意……25
指紋センサー利用時のご注意……25
指紋を登録する……25
指紋認証を行う……25
顔認証機能……26
顔認証機能のご利用にあたって……26
顔認証利用時のご注意……26
顔を登録する……26
顔認証を行う……26
文字入力……26
文字を入力する……26
ソフトウェアキーボードについて……26
キーボードを切り替える……26
キーボードで入力する……26
文字入力の便利な機能を利用する……27
絵文字／記号／顔文字を入力する……27
文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける……27
ソフトウェアキーボードの設定を行う……27
単語リストに登録する……27

電話・連絡先……29

電話……30
電話をかける……30
履歴を利用して電話をかける……30
au電話から海外へかける(au国際電話サービス)……31
電話を受ける……31
着信に伝言メモで応答する……31
着信を拒否する……31
着信を拒否してメッセージ(SMS)を送信する……31
SMS返信の自動設定を設定する……31
ステップアップ着信を設定する……31
不在着信通知を設定する……31
伝言メモを利用する……31
自分の電話番号を確認する……31
電話帳……32
電話帳について……32
連絡先を登録する……32
連絡先から電話をかける……32
連絡先を編集／削除する……32
連絡先を編集する……32
連絡先を削除する……32
グループを設定する……32
お気に入りを設定する……32
連絡先をインポート／エクスポートする……33
インポートする……33
エクスポートする……33

メール……35

メール……36
メールについて……36
auメール……36
auメールのご利用にあたって……36
auメールの初期設定について……36
auメールを利用する……36
auメールの利用方法を確認する……36
迷惑メールフィルターを設定する……36
UQ mobileメール……37
UQ mobileメールのご利用にあたって……37
メールサービスの初期設定について……37
迷惑メールフィルターを設定する……37
+メッセージ(SMS)……38
+メッセージのご利用にあたって……38
+メッセージのモードについて……38
+メッセージのご利用方法を確認する……38
連絡先を登録する……38
QRコードによる連絡先登録……38
新しい連絡先を登録……38
公式アカウントを登録する……38
メッセージを送信する……38
グループを作る・グループに送信する……38
+メッセージを設定する……38
ブロックリストを設定する……39
Gmail……39
Gmailについて……39
Gmailを起動する……39

インターネット……41

インターネット接続……42
インターネットについて……42
データ通信を利用する……42
Chrome……42
Webページを表示する……42

アプリケーション……43

アプリケーション一覧……44
アプリを利用する……44

Kyocera Confidential

カメラ……45
カメラをご利用になる前に……45
モニター画面の見かた……45
カメラを設定する……45
撮影モードを切り替える……46
静止画を撮影／動画を録画する……46
静止画を撮影する……46
動画を録画する……46
QRコード・バーコードリーダーを利用する……46
静止画／動画を再生する……46
Google TV……46
Google TVを利用する……46
NFC／おサイフケータイ®……47
おサイフケータイ®とは……47
おサイフケータイ®のご利用にあたって……47
リーダー／ライターとデータをやりとりする……47
NFC機能を設定する……47
画面ロック連動機能を設定する……47
FeliCa®に対応したサービスを利用する……47
My au……47
My auを利用する……47
My UQ mobile……48
My UQ mobileを設定する……48
あんしんフィルター for au……48
あんしんフィルター for auを利用する……48
Androidアプリ……48
Google Playを利用する……48
アプリを検索し、インストールする……48
アプリケーションを管理する……48
提供元不明のアプリのダウンロード……48
インストールされたアプリの削除……48
YouTube……49
YouTubeを利用する……49
Googleサービス……49
Meetを利用する……49
Meetにログインする……49
Google マップを利用する……49
カレンダー……49
カレンダーを利用する……49
時計……49
時計を利用する……49
電卓……49
電卓を利用する……49
Keep メモ……50
Keep メモを利用する……50
メモを確認／編集する……50
メモを選択して削除する……50
音声レコーダー……50
音声レコーダーを利用する……50
音声を再生する……50
音声データを選択して削除する……50
簡易ライト……50
簡易ライトを利用する……50

ファイル管理……51

ファイル管理……52
本製品の保存領域について……52
microSDメモリカードを利用する……52
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す……52
microSDメモリカードを取り付ける……52
microSDメモリカードを取り外す……52
USB Type-Cケーブル（市販品）でパソコンと接続する……53
メモリの使用量を確認する……53
microSDメモリカードを初期化する……53
USBホスト機能を利用する……53
Files……53
データをコピー／移動する……53

データ通信……55

Bluetooth®機能……56
Bluetooth®機能について……56
Bluetooth®機能をオンにする……56
Bluetooth®機器を登録する……56
他のBluetooth®機器から検出可能にする……56
Bluetooth®機器の接続を解除する……56
Bluetooth®機能でデータを送受信する……56
Bluetooth®機能でデータを送信する……56
Bluetooth®機能でデータを受信する……56
無線LAN（Wi-Fi®）機能……56
無線LAN（Wi-Fi®）機能について……56
Wi-Fi®機能をオンにする……56
Wi-Fi®ネットワークに接続する……57
Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する……57
Wi-Fi®ネットワークをQRコードで追加する……57
Wi-Fi®機能を切断する……57
Wi-Fi®機能の詳細設定をする……57
Wi-Fi Direct®を設定する……57
テザリング機能……57
テザリングについて……57
Wi-Fi®テザリング機能を利用する……57
USBテザリング機能を利用する……57
Bluetooth®テザリング機能を利用する……57

機能設定……59

機能設定……60
設定メニューを表示する……60
ネットワークとインターネットの設定をする……60
eSIMをダウンロードする……60
機内モードを設定する……60
VPNを設定する……60
接続済みのデバイスの設定をする……61
印刷に関する設定をする……61
アプリの設定をする……61
通話に関する設定をする……61
着信拒否を設定する……61
通知の設定をする……62
電池使用量を表示する……62
バッテリーケアモードを設定する……62
ダイレクトボタンの設定をする……62
ストレージに関する設定をする……62
音とバイブレーションの設定をする……62
各種音量を調節する……62
画面の設定をする……63
スクリーンセーバーを設定する……63
スタート画面の設定を行う……63
ユーザー補助の設定をする……63
セキュリティの設定をする……64
SIMカードロックを設定する……64
位置情報の設定をする……64
緊急情報と緊急通報の設定をする……64
パスワードとアカウントの設定をする……64
アカウントを追加、削除する……64
Googleの設定をする……65
システムの設定をする……65
言語と入力に関する設定をする……65
日付と時刻の設定をする……65
日付を設定する……65
時刻を設定する……65
自動電源ON／OFF機能を利用する……65
本製品を初期化する……65
デバイス情報に関する設定をする……66

auネットワーク……67

auのネットワークサービス……68
auのネットワークサービスについて……68
着信お知らせサービスを利用する（標準サービス）……68
着信お知らせサービスについて……68
着信転送サービスを利用する（標準サービス）……68
応答できない電話を転送する（無応答・話中転送）……68
かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）……68
着信転送サービスを停止する……68
発信番号表示サービスを利用する（標準サービス）……68
電話番号を通知する……68
番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス）……69
番号通知リクエストサービスを開始する……69
番号通知リクエストサービスを停止する……69
お留守番サービスEXを利用する（オプションサービス）……69
お留守番サービス総合案内（141）を利用する……69
応答できない電話を転送する（無応答・話中転送）……69
かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）……69
お留守番サービスを停止する……69
電話をかけてきた方が伝言を録音する……69
ボイスメールを録音する……69
伝言お知らせについて……69
伝言・ボイスメールを聞く……70
応答メッセージの録音／確認／変更をする……70
伝言の蓄積を停止する（不在通知）……70
伝言の蓄積停止を解除する……70
お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）……70
英語ガイダンスへ切り替える……70
日本語ガイダンスへ切り替える……70
三者通話サービスを利用する（オプションサービス）……71
割込通話サービスを利用する（オプションサービス）……71
割込通話サービスを開始する……71
割込通話サービスを停止する……71
割込通話を受ける……71
迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）……71
撃退する電話番号を登録する……71
登録した電話番号を全件削除する……71
通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）……71

Kyocera Confidential

海外利用 73
海外利用 74
au世界サービスについて 74
海外利用に関する設定を行う 74
データ通信を利用する 74
海外でVoLTEを利用する 74
渡航先で電話をかける 74
渡航先で電話を受ける 74
お問い合わせ方法 74
海外からのお問い合わせ 74
海外でのご利用上の注意 75
本製品を盗難・紛失したら 75
auネットワークサービスに関するご注意 75
付録 77
付録 78
ソフトウェアを更新する 78
ご利用上のご注意 78
ソフトウェアをダウンロードして更新する 78
故障とお考えになる前に 78
アフターサービスについて 79
修理を依頼されるときは 79
補修用性能部品について 79
無償修理規定 79
故障紛失サポート with Cloudについて 79
au ICカード(SIMカード)について 79
遠隔操作サポート 79
遠隔操作サポートを利用する 79
位置検索サポート 79
位置検索をご利用いただくにあたって 79
SIMロック解除 79
周辺機器 80
主な仕様 80
携帯電話機の比吸収率(SAR)について 80
FCC Notice 81
輸出管理規制 81
知的財産権について 81
商標について 81
License 82
索引 83
索引 84

Kyocera Confidential

注意事項

注意事項 **6**
本製品のご利用について 6
安全上のご注意(必ずお守りください) 6
材質一覧 9
取り扱い上のご注意 9
防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意 11
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について 13
各種暗証番号／PINコードについて 13
データ通信料についてのご注意 14
通話料についてのご注意 14
アプリケーションについて 14
アプリの権限を設定する 14
マナーも携帯する 14

Kyocera Confidential

注意事項

本製品のご利用について

- 本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。
- 故障とお考えになる前に、本書の「故障とお考えになる前に」で症状をご確認ください。または、以下のauホームページの「トラブル診断」で症状をご確認ください。
  https://www.au.com/trouble-check/
- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください（ただし、5G／LTE／WiMAX 2+／GSM／UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております）。
- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE（LTEネットワーク）を利用します。
- 本製品はau世界サービスに対応しておりますが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客さまが利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI（株）に送信いたします。
- 海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 『取扱説明書』の記載内容を守らないことにより生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の計測センサーやGPSにより得られる測位などの情報は、あくまで目安となり、高度な信頼性を必要とする目的でのご利用はできません。測位の誤差による損害および逸失利益に関して、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ（有料・無料を問わない）などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されている写真・動画データや音楽データは、パソコンやクラウドサービスなどに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品（オプション品含む）の回収にご協力ください。au Style／auショップなどで本製品の回収を行っております。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：京セラ株式会社

memo

◎ 取扱説明書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
◎ 取扱説明書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
◎ OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。
◎ 取扱説明書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 禁止・強制の絵表示の説明

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。		濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、SIMカード、周辺機器共通

⚠危険

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
また、風呂場や加湿器のそばなどの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。
内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ご注意いただきたい例
- ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- 電車やバスなどの座席シートに挟み込む

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

本製品の内蔵電池を取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

本製品の背面カバーは取り外せません。取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

Kyocera Confidential

充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

オプション品は、auが指定したものを使用してください。
指定以外のものや、製造・販売元・仕様が不明確なものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。

お手入れの際は、消毒液や水分が隙間、充電端子、外部接続端子、マイク、スピーカー部に入らないようにしてください。
本製品の破損により、けが、感電などの原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。
ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下等に注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。
• 電源プラグをコンセントから抜く。
• 本製品の電源を切る。
上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。

乳幼児やペットが届く場所に置かないでください。
SIMカード／microSDメモリカードトレイなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。

本製品を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようご注意ください。
アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本製品や指定の充電用機器(別売)の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客さまの体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となりますので、衣類のポケットに入れたり、就寝時などはご注意ください。

■ 本体について

⚠危険

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

本体内部の物質などが目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本体内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。

本製品内のSIMカード／microSDメモリカードトレイの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、SIMカード／microSDメモリカードトレイの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
ハンズフリーに設定して通話すると、本製品から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。
突然の着信バイブレータ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電源を切ってください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れた部分や露出した本製品の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

ペットなどが本製品に噛みつかないようご注意ください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意

ストラップなどを持って本製品を振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

Kyocera Confidential

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は、au Style／auショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質について▶P.9「材質一覧」

本製品のスピーカー、カメラ部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。

ディスプレイを見る際は、十分に明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠警告

指定の充電用機器（別売）のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

指定の充電用機器（別売）は、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

雷が鳴り出したら、指定の充電用機器（別売）には触れないでください。
感電などの原因となります。

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

指定の充電用機器（別売）のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

コンセントに指定の充電用機器（別売）を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

指定の充電用機器（別売）に変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。

本製品に指定の充電用機器（別売）を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

濡れた手で指定の充電用機器（別売）のコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な指定の充電用機器（別売）で充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

指定の充電用機器（別売）をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く場合は、指定の充電用機器（別売）のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
指定の充電用機器（別売）のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

本製品に指定の充電用機器（別売）を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意

コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器（別売）に継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

■ SIMカードについて

⚠注意

SIMカードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

Kyocera Confidential

材質一覧

■ DIGNO SX3本体

使用場所	使用材料	表面処理
外装ケース(ディスプレイ側)	PC+ABS樹脂(グラスファイバー入り)	−
外装パネル(背面側)	PC樹脂	−
ディスプレイ	強化ガラス	防汚コーティング
電源ボタン、音量大／小ボタン、ダイレクトボタン	PC樹脂	−
カメラレンズ	PMMA樹脂	防汚コーティング
モバイルライト	PMMA樹脂	−
指紋センサー	エポキシ樹脂	ウレタンアクリレート系塗装
受話口／スピーカー部(メッシュ部)	ナイロン樹脂	撥水加工
カードスロットキャップ	PC樹脂、シリコンゴム	−
SIMカード／microSDメモリカードトレイ	POM樹脂	−

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、SIMカード、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能(IPX5、IPX8相当)／防塵性能(IP6X)を発揮するために、SIMカード／microSDメモリカードトレイをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。
  ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、指定の充電用機器(別売)、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴が付いたままでSIMカード／microSDメモリカードトレイの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 下記については、極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
  (周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃～40℃であれば一時的な使用は可能です。)
  - 本製品本体
  - SIMカード(本製品本体装着状態)
- 下記については、極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
  (周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
  - 充電用機器
  - 周辺機器
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 外部接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えてそれぞれの接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またシンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障したりする原因となります。
- 本製品はアルコール除菌シート・アルコールを少量含ませた布(布が湿る程度)で拭き取りをすることができます。
  ※ お手入れのしかたについて詳しくは「お手入れのしかた」(▶P.12)をご参照ください。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客さまによる分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 外部接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入ったりしないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やバイブレータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■ 本体について

- 本製品の電池は内蔵されており、お客さま自身では交換できません。電池の交換については、au Style／auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
  本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技適マーク㊣」が本製品内で確認できるようになっております。
  ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[デバイス情報]→[認証情報]
  本製品内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- カメラのレンズやディスプレイの内側が温度や湿度などの使用環境によってくもる(結露する)ことがあります。本製品の故障や不具合ではありません。
- カメラのレンズやディスプレイの内側が結露しやすい環境について
  以下のような温度の変化が大きい環境、または湿度が高い環境では、レンズやディスプレイの内側がくもる(結露する)場合があります。
  - 気温の高い陸上から急に水温の低い水中に持ち込む
  - 寒い場所から屋内などの温かい場所に持ち込む
  - 湿度が高い環境でSIMカード／microSDメモリカードトレイを開閉する
- くもりを取る方法
  高温・多湿、砂やほこりの多い場所を避け、周囲の温度が一定の場所でSIMカード／microSDメモリカードトレイを開けた状態で放置し、周囲の温度になじませるとくもりが取れます。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ったりすると、周囲の明暗に光センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーが汚れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でセンサー部を乾拭きしてください。
- 通常はSIMカード／microSDメモリカードトレイを閉めた状態で使用してください。トレイを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。
- 本製品内のSIMカード／microSDメモリカードトレイの挿入口に液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。送話口(マイク)、受話口(レシーバー)／スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入したりすると故障の原因となります。

■ タッチパネルについて

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪／ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。
  以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - シート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)やシールなどを貼っての操作
  - 水中での操作
- ディスプレイ表面が汚れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。
- 手袋を着用した状態でのタッチ操作が可能ですが、手袋の厚み・素材によってはタッチ操作がしづらい場合があります。
  - 手袋に水滴が付着している状態でタッチ操作ができない場合は、水滴を拭き取ってください。
  - 指先がフィットしていない手袋でのタッチ操作ができない場合は、指の腹をディスプレイに当てるように操作してください。
- 手袋を着用した状態でのタッチ操作と素手のタッチ操作を同時に行った時は素手のタッチ操作を優先します。

■ 内蔵電池について

Li-ion 00

(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。)
内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

kyocera Confidential

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いときや内蔵電池が膨れているときなど、機能が回復せず劣化している場合には寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、au Style／auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

■ 充電用機器について

- 指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、指定の充電用機器(別売)のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。指定の充電用機器(別売)やUSB接続ケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■ SIMカードについて

- SIMカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、SIMカードを挿入して故障した場合は、お客さまの責任となりますのでご注意ください。
- SIMカードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたSIMカードを挿入しないでください。故障の原因になります。
- SIMカードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかけたりする、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ カメラ機能について

- 大切な撮影などをするときは、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客さまが本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
  また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、私的使用目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネット・ホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化したりする場合があります。

■ FCC認証情報

- 本製品は、Federal Communications Commission(FCC)の認証を受けています。
  本製品のFCC IDはJOYEB1147です。
  また、以下の方法でも確認できます。
  確認方法:
  ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[デバイス情報]→[認証情報]

Kyocera Confidential

防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意

本製品はSIMカード／microSDメモリカードトレイが完全に装着された状態で保護等級（JIS C 0920）のIPX5/8相当※1の防水性能およびIP6X相当※2の防塵性能を有しております（当社試験方法による）。
また、MIL規格準拠※3の耐衝撃性能を実現しております（当社試験方法による）。
正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての注意事項」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル/分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に電話機本体を静かに沈め、約30分間水底に放置しても、本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。

※2 IP6X相当とは、防塵試験用粉塵（直径75μm以下）が入った装置に、電話機を8時間入れても内部に侵入しない機能を有することを意味します。

※3 MIL規格準拠
米国国防総省が制定したMIL-STD-810H Method 516.8-Shock-Procedure Ⅳに準拠した規格において、高さ1.5mから鋼板に本製品を26方向で落下させる試験を実施しています。
※ 日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落としかたをしたりするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。また、本体の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

すべての状況での動作を保証するものではありません。お客さまの取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての注意事項

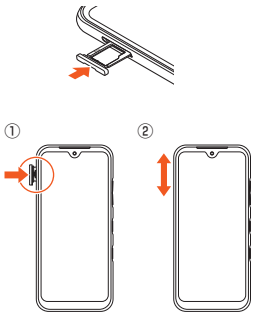
● SIMカード／microSDメモリカードトレイをしっかり閉じてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
● 手や本製品が濡れている状態でのSIMカード／microSDメモリカードトレイの開閉は絶対にしないでください。
● 水道水以外の液体（アルコール、海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、ジュース、アルコール飲料、調味料など）に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。
かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
● 砂浜などの上に直に置かないでください。送話口（マイク）、受話口（レシーバー）／スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入したりすると発熱や故障の原因となります。
● お風呂場、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
● 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
● 送話口（マイク）、受話口（レシーバー）／スピーカー部に水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。
● 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
● 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
● 湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
● 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
● 本製品は水に浮きません。

● SIMカード／microSDメモリカードトレイについて

- SIMカード／microSDメモリカードトレイはしっかりと閉じ、完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- SIMカード／microSDメモリカードトレイを開閉する際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。トレイを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- SIMカード／microSDメモリカードトレイに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。

SIMカード／microSDメモリカードトレイの閉じかた

SIMカード／microSDメモリカードトレイを本体に水平に奥までしっかり差し込んでください。
トレイを収納してから①トレイ全体を指の腹で押し込んでください。その後に②矢印の方向になぞり、トレイが浮いていることのないように確実に閉じてください。



● 水以外が付着した場合

- 万一、水以外（海水・洗剤・ジュース・アルコール飲料など）が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
- 本製品はアルコール除菌シート・アルコールを少量含ませた布（布が湿る程度）で拭き取りをすることができます。耐薬品機能のチェックのため、一般的なアルコール除菌シートに使用される下記の薬品を布に含ませ、拭き取り試験を実施しています。
（1）イソプロピルアルコール、（2）エタノール、（3）次亜塩素酸ナトリウム
アルコール除菌シートでの拭き取りを想定した試験において、著しい変色・退色のないことを確認しています。ただし、製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての変色や変形しないことを保証するものではありません。
※ お手入れのしかたについて詳しくは「お手入れのしかた」（▶P.12）をご参照ください。
- やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
- 汚れた場合、ブラシなどは使用せず、SIMカード／microSDメモリカードトレイが開かないように押さえながら手で洗ってください。

● 水に濡れた後は

- 水濡れ後は水抜きをし、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
- 寒冷地では本体に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

● ゴムパッキンについて

- SIMカード／microSDメモリカードトレイ周囲のゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。
- SIMカード／microSDメモリカードトレイを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 水以外の液体が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。
- SIMカード／microSDメモリカードトレイの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本体が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付いたりするおそれがあり、浸水の原因となります。
- 防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのau Style／auショップまでご連絡ください。

● 耐熱性について

- 熱湯に浸けたり、熱湯をかけたりしないでください。また、サウナでの使用やドライヤーなどで熱風を当てないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

● 衝撃について

- 本製品は耐衝撃性能を有しておりますが、日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をしたりするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。

充電のときは

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本体が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、SIMカード／microSDメモリカードトレイを開いたりしてください。
- 濡れた手で指定の充電用機器（別売）に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりでは使用しないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。

Kyocera Confidential

お手入れのしかた

本製品の汚れは下記の手順で泡ハンドソープやアルコールなどで拭きとることができます。

■ 泡ハンドソープ／泡ボディソープを使用する場合

1 ケーブル類をすべて取り外して、本製品の電源を切ります。
電源の切りかたについて詳しくは「電源を切る」(▶P.19)をご参照ください。

2 柔らかい布に泡ハンドソープ／泡ボディソープを付けて本製品を手早く拭き取ります。
受話口(レシーバー)／スピーカー部、送話口(マイク)などの穴部に泡ハンドソープなどが入り込まないように注意してください。

3 泡が完全になくなるまですすぎます。
やや弱めの水道水(5℃～30℃)ですすいでください(6リットル／分以下)。
受話口(レシーバー)／スピーカー部、送話口(マイク)などの穴部を約30秒洗い流します。
泡が残っていると故障の原因になりますので、泡がなくなるまでよく洗い流してください。

4 受話口(レシーバー)／スピーカー部、送話口(マイク)などの穴部の水抜きを十分にしてください。
水抜きについて詳しくは「水に濡れたときの水抜きについて」(▶P.12)をご参照ください。

5 十分に乾燥させて、水滴が残っていないことを確認してください。
乾燥について詳しくは「水に濡れたときの水抜きについて」(▶P.12)をご参照ください。

■ アルコールを使用する場合

1 ケーブル類をすべて取り外して、本製品の電源を切ります。
電源の切りかたについて詳しくは「電源を切る」(▶P.19)をご参照ください。

2 糸くずの出ない柔らかい布にイソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムを少量含ませ、本製品を拭き取ります。

※ アルコール除菌シートでの拭き取りを想定した試験において、著しい変色・退色のないことを確認しています。ただし、製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての変色や変形しないことを保証するものではありません。
※ 製品の有する性能は試験環境下での確認であり、無故障を保証するものではありません。
※ イソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムは消毒用として販売されているものを、それぞれの取扱説明書をよく読んでお使いください。誤った使いかたは人体への影響や引火などの恐れがあります。

■ 注意事項

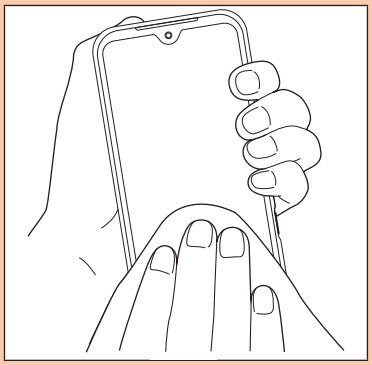
- 市販のアクセサリー商品(端末カバー、ストラップなど)は取り外してください。なお、市販のアクセサリー商品の取り扱いについては、各商品の注意事項をご確認ください。
- 耐水圧設計ではありませんので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- お手入れの際はSIMカード／microSDメモリカードトレイがしっかり閉じていることを確認してください。

※ 国内メーカー製の泡タイプのハンドソープ／ボディソープをご使用ください。種類の異なる泡ハンドソープ／泡ボディソープは混ぜないでください。
キッチン用・業務用・無添加・アルカリ性のハンドソープ、業務用・無添加・アルカリ性のボディソープや、石けん、洗剤、入浴剤、シャンプー、リンス、洗顔料、メイク落とし、歯磨き粉などを使用しないでください。
付着した場合にはすぐに水で洗い流してください。

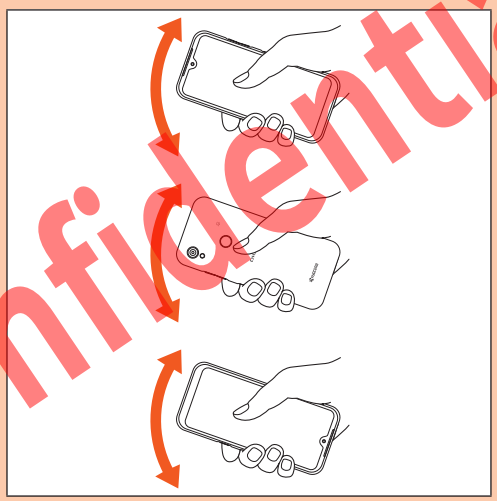
水に濡れたときの水抜きについて

本製品が水に濡れた場合、必ず送話口(マイク)、受話口(レシーバー)／スピーカー部の水抜きをしてください。そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らしてしまう場合や音が聞こえにくくなる場合があります。
次の手順で水抜きを行ってください。

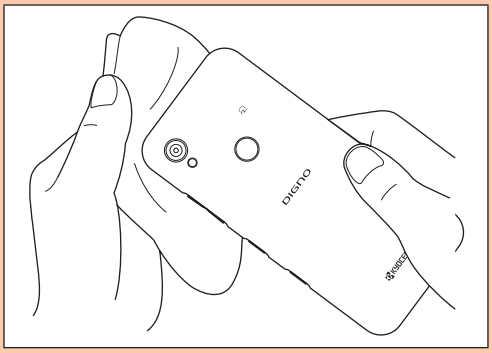
1 本製品表面の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



2 振りかたについて
本製品をしっかり持ち、水が出なくなるまで本製品を矢印方向に振ります。
※ 振る際は周りに危険がないことを確認してください。
※ 本製品が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。



3 繊維くずの出ない乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当て、送話口(マイク)・受話口(レシーバー)／スピーカー部などの隙間に入った水分を拭き取ってください。



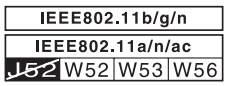
4 本製品から出た水分を十分に取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させてください。

上記手順を行った後でも、本製品に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののそばには置かないでください。
また、衣服やかばんなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。

Kyocera Confidential

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- 本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内規格、FCC規格に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国／地域では無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。



2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、au Style／auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

memo

◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。従って、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客さまの判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
◎ Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

- Bluetooth®機能:2.4FH1/XX4

本製品は2.4GHz帯を使用します。FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。XX4はその他の方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

- 無線LAN(Wi-Fi®)機能:2.4DS4/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

- W52 (5.2GHz帯／36, 40, 44, 48ch)
- W53 (5.3GHz帯／52, 56, 60, 64ch)
- W56 (5.6GHz帯／100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140, 144ch)

各種暗証番号／PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。
なお、初期値は必ずお客さまの独自の番号に変更の上お使いください。

■ 暗証番号

使用例	① お留守番サービスを一般電話から遠隔操作する場合
	② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客さまが記入した任意の4桁の番号

PINコードについて

■ PINコード

第三者によるSIMカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。
PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は入力が不要な設定になっていますが、お客さまの必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は入力が必要な設定に変更できます。
- 入力が必要な設定で使用する場合、必ずお客さま独自の番号に変更の上ご使用ください。
- PINコードはデータの初期化を行ってもリセットされません。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、SIMカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。eSIMをご利用の場合、詳しくはauホームページをご参照ください。
https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/id/pin-code/
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、au Style／auショップ・トヨタ au取扱店もしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

Kyocera Confidential

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。

通話料についてのご注意

通話を終了される際は、通話終了の操作を行って確実に通話が切断されていることをご確認ください。通話の切り忘れにより、通話料が高額になる場合があります。

アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることをご確認の上、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、他のアプリケーションや本製品全体の動作に影響を及ぼすものもあります。また、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客さまの位置情報や利用履歴、本製品内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客さまがインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客さまがインストールを行ったアプリケーションなどによりお客さまご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードを取り付けていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードにならなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなったりするものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、「許可」／「許可しない」をタップしてください。

- アプリ／機能によっては「常に許可」「アプリの使用中のみ許可」などが表示される場合があります。

例：音声レコーダーを初めて起動した場合

1 アクセス権限の確認画面→[許可]／[許可しない]
通常は「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。
利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

アプリごと／機能ごとに設定する

■ アプリごとに設定する場合

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[アプリ]

2 [すべてのアプリ]／[XX 個のアプリをすべて表示]
表示される項目は、端末の状態によって異なります。

3 アプリを選択→[権限]→機能を選択→「アプリの使用中のみ許可」／「毎回確認する」／「許可」／「許可しない」などをタップ

■ 機能ごとに設定する場合

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[プライバシー]

2 [権限マネージャー]→機能を選択→アプリを選択→「アプリの使用中のみ許可」／「毎回確認する」／「許可」／「許可しない」などをタップ

memo

◎ 許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
◎ アプリ／機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
◎ 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっての通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでの通話は、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品を「機内モード」に切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

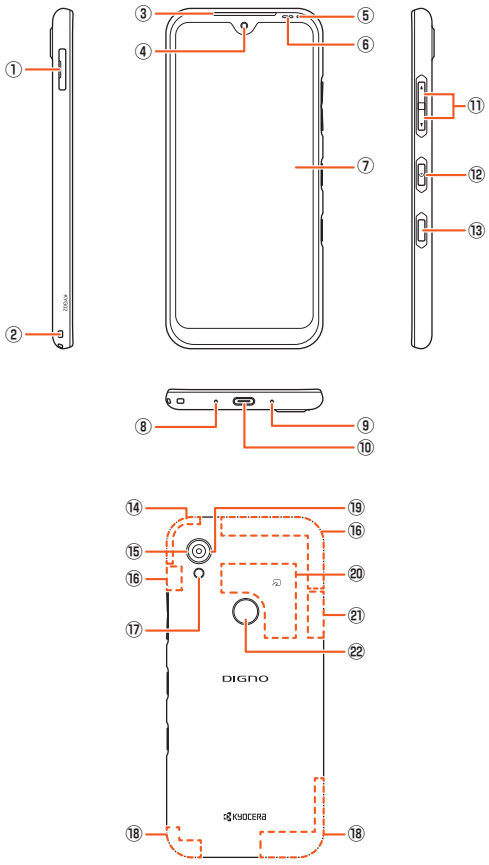
Kyocera Confidential

ご利用の準備

ご利用の準備 16
各部の名称と機能 16
SIMカードについて 17
SIMカードを取り付ける／取り外す 17
充電する 18
電源を入れる／切る 19
スタート画面について 19
初期設定を行う 20

Kyocera Confidential

各部の名称と機能



① **SIMカード／microSDメモリカードトレイ**

② **ストラップ取付口**

③ **受話口(レシーバー)／スピーカー部**
通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音などが聞こえます。

④ **インカメラ(レンズ部)**

⑤ **着信(充電)ランプ**
充電中は赤色で点灯します。
不在着信時や新着メール通知時に青色で点滅します。

⑥ **近接センサー／光センサー**
近接センサーは通話中にセンサー部を覆うと、画面を消灯しタッチパネルの誤動作を防ぎます。
光センサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。

⑦ **ディスプレイ(タッチパネル)**

⑧ **気圧調整穴**

⑨ **送話口(マイク)**
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。通話中や動画の録画中は、送話口(マイク)を指などで覆わないようにご注意ください。

⑩ **外部接続端子**
TypeC共通ACアダプタ02(別売)などの接続時に使用します。

⑪ **音量上／下ボタン**
音楽や動画などのメディア音量を調節します。

⑫ **電源ボタン**
電源のオン／オフやスリープモードの移行／解除などに使用します。

⑬ **ダイレクトボタン**
1回押し／2回押し／長押しで、それぞれ設定した機能が動作します(▶P.62)。

⑭ **GPSアンテナ部※**

⑮ **アウトカメラ(レンズ部)**

⑯ **サブアンテナ部※**

⑰ **撮影ライト／簡易ライト**

⑱ **メインアンテナ部※**

⑲ **サブマイク(ノイズキャンセリング／ムービー録音用)**

⑳ **NFC(FeliCa®)対応アンテナ部※**
おサイフケータイ®利用時に、リーダー／ライターにかざしてください。
IC通信で、データの送受信を行います。

㉑ **Wi-Fiアンテナ部※**

㉒ **指紋センサー**
指紋を登録している場合は、指紋認証で画面ロックを解除します。

※ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ部付近を手で覆うと通話／通信品質に影響を及ぼす場合があります。

memo

◎ 近接センサー／光センサー、指紋センサー上にシールなどを貼らないでください。

◎ 本製品の背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。また、電池は本体に内蔵されており、お客さまによる取り外しはできません。

Kyocera Confidential

SIMカードについて

SIMカードにはお客さまの電話番号などが記録されています。
本製品にはSIMロックはされておりません。

au Nano IC Card 04 LEの場合

IC（金属）部分

memo

◎ SIMカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- SIMカードのIC（金属）部分には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎ SIMカードを正しく取り付けていない場合やSIMカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
◎ 取り外したSIMカードはなくさないようにご注意ください。
◎ 変換アダプタを取り付けたSIMカードを挿入しないでください。故障の原因となります。

SIMカードが挿入されていない場合

SIMカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。
- 電話をかける※／受ける
- SMSの送受信
- ＋メッセージの送受信
- auメールの初期設定および送受信
- SIMカードロック設定
- 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認

上記以外でも、お客さまの電話番号など必要な機能がご利用できない場合があります。
※ 110（警察）・119（消防機関）・118（海上保安本部）への緊急通報も発信できません。ただし、海外では緊急通報に限り発信可能な場合があります（なお、緊急通報番号は国によって異なります）。

■ PINコードによる制限設定

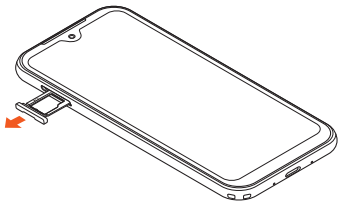
SIMカードをお使いになる上で、お客さまの貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やSIMカードのロックにより他人の使用を制限できます（▶P.13「PINコードについて」）。

SIMカードを取り付ける／取り外す

SIMカードの取り付け／取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

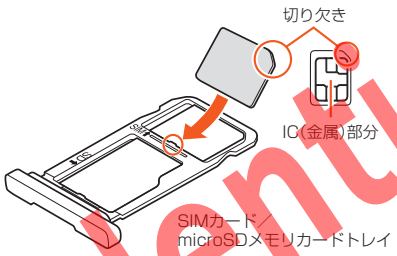
SIMカードを取り付ける

1 SIMカード／microSDメモリカードトレイのミゾに指先をかけて、まっすぐに引き出す



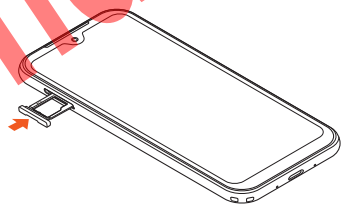
2 SIMカードのIC（金属）部分を下にしてSIMカード／microSDメモリカードトレイにはめ込む

切り欠きの位置にご注意ください。
SIMカード／microSDメモリカードトレイのツメの破損を防ぐため、SIMカードを矢印の方向にすべり込ませるように取り付けてください。
SIMカードがSIMカード／microSDメモリカードトレイから浮かないようにはめ込んでください。



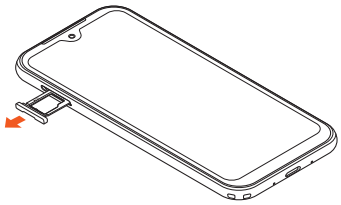
3 SIMカード／microSDメモリカードトレイを本体に差し込んで、奥までまっすぐ押し込む

トレイが浮いていることのないように確実に閉じてください。

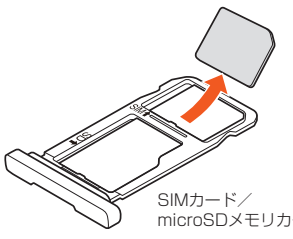


SIMカードを取り外す

1 SIMカード／microSDメモリカードトレイをまっすぐに引き出す

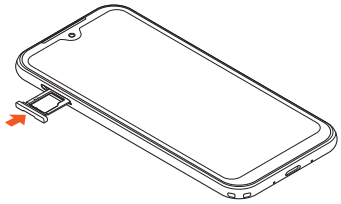


2 SIMカードをSIMカード／microSDメモリカードトレイから取り外す



3 SIMカード／microSDメモリカードトレイを本体に差し込んで、奥までまっすぐ押し込む

トレイが浮いていることのないように確実に閉じてください。



Kyocera Confidential

充電する

お買い上げ時には、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。赤色に点灯していた充電ランプが緑色に変わったら充電完了です。

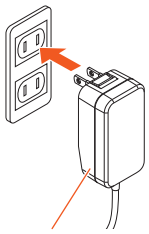
memo

◎ 指定の充電用機器(別売)は、防水対応していません。本製品が濡れているときは、絶対に充電しないでください。
◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
◎ 周囲温度や本製品の温度が、極端に高温や低温になっている場合には、充電が停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。
◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
◎ 指定の充電用機器(別売)を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があり、電池のもちが悪くなります。
◎ 本製品の充電ランプが赤色に点滅したときは、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、au Style／auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
◎ 外部接続端子に金属製のアクセサリーや導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。

指定のACアダプタを使って充電する

TypeC共通ACアダプタ02(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)については、「周辺機器」(▶P.80)をご参照ください。

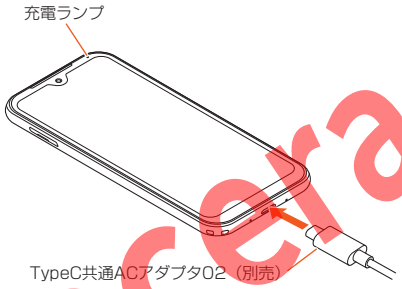
1 TypeC共通ACアダプタ02(別売)の電源プラグをコンセント(AC100V～240V)に差し込む



TypeC共通ACアダプタ02（別売）

2 TypeC共通ACアダプタ02(別売)のUSB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込む

USB Type-Cプラグは表裏どちらの向きでも差し込むことができます。
本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。本製品の電源が入っている場合は、ステータスバーに「 」が表示されます。
充電が完了すると、充電ランプの色が緑色に変わります。



TypeC共通ACアダプタ02（別売）

3 充電が完了したら、外部接続端子からTypeC共通ACアダプタ02(別売)のUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜く

4 TypeC共通ACアダプタ02(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

memo

◎ 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。

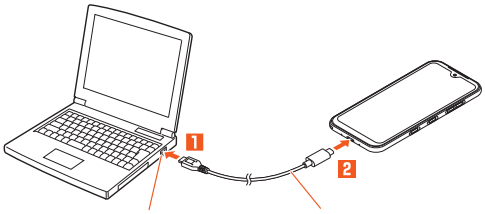
パソコンを使って充電する

USB Type-Cケーブル(市販品)を利用して、本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

1 パソコンが完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル(市販品)をパソコンのUSBポートに接続

2 USB Type-Cケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込む

USB Type-Cプラグは表裏どちらの向きでも差し込むことができます。
本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。
充電が完了すると、充電ランプの色が緑色に変わります。
- 本製品に「ファイル転送を有効にする」と表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。
- パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。



パソコンのUSBポート　USB Type-Cケーブル(市販品)

3 充電が完了したら、USB Type-Cケーブル(市販品)を外部接続端子とパソコンから取り外す

memo

◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。
◎ 指定の充電用機器(別売)での充電と比べて時間が長くかかることがあります。また、お使いのパソコンによっても充電時間は変動します。

Kyocera Confidential

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 着信ランプが点灯するまで(電源ボタン)を長く押す

スタート画面が表示されます(▶P.19)。

・初めて電源を入れたときは、初期設定が起動します。「初期設定を行う」(▶P.20)を参照して、必要に応じて設定を行ってください。

memo

◎ 電源を入れてから各種ロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

電源を切る

1 (電源ボタン)を1秒以上長く押す

2 [電源を切る]

「再起動」や「緊急通報」、「ロックダウン」などの操作も行うことができます。

※「ロックダウン」は「セキュリティの種類」(▶P.64)を「パターン」／「ロックNo.」／「パスワード」に設定したときに利用できます。

memo

◎ 「ロックダウン」をタップすると、Smart Lockや指紋認証による認証操作、ロック画面の通知表示を無効にすることができます。

◎ ステータスバーを下にスライド→通知パネルを下にスライド→[⏻]→[電源を切る]と操作しても電源を切ることができます。

強制的に電源を切り再起動する

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切り再起動することができます。

1 (電源ボタン)と(音量上ボタン)を同時に11秒以上長く押す

memo

◎ 強制的に電源を切り再起動すると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

セーフモードで起動する

セーフモードとは、なんらかの不具合により本製品に問題が生じたときのための診断用の起動モードです。

1 (電源ボタン)を1秒以上長く押す

2 「電源を切る」をロングタッチ→[OK]

電源が切れ、自動的にセーフモードで再起動します。

セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。

・セーフモードを起動するときは、事前に必要なデータをバックアップしてください。

・お客さまご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。

・セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合はセーフモードを起動しないでください。

memo

◎ 電源が切れているときは、着信ランプが点灯するまで(電源ボタン)を長く押す→ロゴが表示されたら(音量下ボタン)を押し続けると、本製品をセーフモードで起動することができます。

◎ セーフモードを解除するには、電源を切り、再度電源を入れます。

スタート画面について

スタート画面は、電源を入れたときやスリープモードを解除したときに表示されます。

スタート画面からホーム画面を表示する

スタート画面が表示されたときは、次の操作でホーム画面を表示できます。

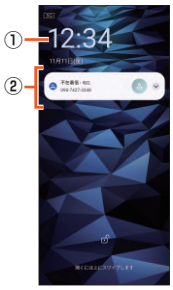
1 画面を上にスライド

ホーム画面が表示されます(▶P.22)。またはスリープモードに移行する前の画面が表示されます。

・画面に[🔒]が表示されている場合は、スタート画面の「セキュリティの種類」(▶P.64)が「パターン」／「ロックNo.」／「パスワード」に設定されています。セキュリティロックを解除するとホーム画面が表示されます。

・Smart Lock(▶P.64)が設定されている状態で一時的にロックが解除されているときは、[🔓]が表示され、Smart Lockで設定しているセキュリティ解除方法が実行されます。

・指紋認証(▶P.25)を登録している場合は、指紋センサーに触れてセキュリティを解除できます。



《スタート画面》

① 時計表示

② 通知表示

不在着信などのお知らせを表示します。

・通知をダブルタップすると通知されたアプリを起動します。

memo

◎ 「セキュリティの種類」(▶P.64)が「なし」の場合は、スタート画面は表示されません。

◎ 背景を変更したい場合は「画面の設定をする」(▶P.63)をご参照ください。

スリープモードについて

画面のバックライト点灯中に(電源ボタン)を押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。次の操作を行うと、スリープモードを解除できます。

1 スリープモード中に(電源ボタン)

スタート画面が表示されます(▶P.19)。

memo

◎ スリープモードに移行するまでの時間を変更するには、ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[ディスプレイ]→[画面消灯]と操作して、時間を選択します。

◎ スリープモード中に(電源ボタン)を押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

Kyocera Confidential

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って、各機能の設定を行います。

- 設定を行わない場合は、各操作で「スキップ」「次へ」などをタップした後、画面の指示に従って操作してください。

1 「日本語(日本)」が表示されていることを確認して[開始]

- 「日本語(日本)」をタップすると、使用する言語を変更できます。

2 Wi-Fi®ネットワークを設定

3 本製品をセットアップする

すでにご使用の端末からGoogle アカウントやアプリなどのコピーができます。

4 Google アカウントの設定などを画面に従い行う

Google アカウントをセットアップする

Google アカウントのセットアップ画面は、Google アカウントが必要なアプリを初めて起動したときなどに表示されます。

1 Google アカウントのセットアップ画面

2 メールアドレスまたは電話番号を入力→[次へ]

3 パスワードを入力→[次へ]

4 画面の指示に従って操作

- Google アカウントをお持ちではない場合は、「アカウントを作成」をタップし、以降は画面に従ってGoogle アカウントを登録してください。

memo

◎ Google アカウントをセットアップしない場合でも本製品をお使いになれますが、Meet、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
◎ ログインするためにはGoogle アカウントおよびパスワードが必要です。

Kyocera Confidential

基本操作

基本操作 **22**
タッチパネルの使いかた 22
ナビゲーションバーの使いかた 22
縦／横画面表示を切り替える 22
ホーム画面を利用する 22
アプリを起動する 23
アプリ一覧のメニューを利用する 24
本製品の状態を知る 24
最近使用したアプリを起動する 24
マルチウィンドウを利用する 24
マナーモードを設定する 25
メニューを表示する 25
スクリーンショットを撮影する 25
アプリのショートカット機能を利用する 25
指紋認証機能 **25**
指紋認証機能のご利用にあたって 25
指紋を登録する 25
指紋認証を行う 25
顔認証機能 **26**
顔認証機能のご利用にあたって 26
顔を登録する 26
顔認証を行う 26
文字入力 **26**
文字を入力する 26
文字入力の便利な機能を利用する 27
ソフトウェアキーボードの設定を行う 27

Kyocera Confidential

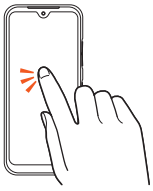
基本操作

タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - シート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）やシールなどを貼っての操作
  - 水中での操作

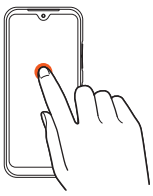
■ タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



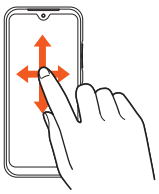
■ ロングタッチ

項目やボタンなどに指を触れた状態を保ちます。



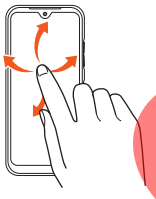
■ スライド／スワイプ

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

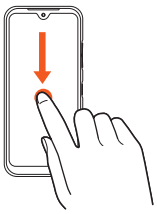


■ ズームイン／ズームアウト

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ズームイン）、閉じたり（ズームアウト）します。

■ ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。

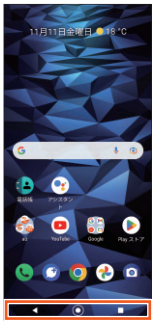


memo

◎ 本製品は画面や手が多少濡れていたり、手袋を着用した状態でもタッチ操作ができます（ウェットタッチ／グローブタッチモード）。
◎ 手袋を着用した状態でのタッチ操作が可能ですが、手袋の厚み・素材によってはタッチ操作がしづらい場合があります。
- 手袋に水滴が付着している状態でタッチ操作ができない場合は、水滴を拭き取ってください。
- 指先がフィットしていない手袋でのタッチ操作ができない場合は、指の腹をディスプレイに当てるように操作してください。
- 手袋を着用した状態でのタッチ操作と素手のタッチ操作を同時に行った時は素手のタッチ操作を優先します。

ナビゲーションバーの使いかた

画面下部のナビゲーションバーには次のボタンが表示されます。



◁（戻る）：
1つ前の画面に戻ります。文字入力画面表示中に「▼」が表示された場合は、タップするとキーボードやメニューを非表示にします。
○（HOME）：
ホーム画面を表示します。ロングタッチするとGoogle アシスタントを起動できます。
□（履歴）：
最近使用したアプリの一覧を表示します（▶P.24）。
マルチウィンドウ（▶P.24）起動中は「⊟」に変わります。

memo

◎「システムナビゲーション」（▶P.65）を「ジェスチャー ナビゲーション」に設定すると、アプリの一覧表示や切り替えをスワイプ操作で行うことができます。

縦／横画面表示を切り替える

「画面の自動回転」を有効に設定すると、本製品の向きに合わせて、自動的に縦／横画面表示を切り替えることができます。

1 ホーム画面を上にスワイプ→「設定」→「ディスプレイ」→「画面の自動回転」を有効にする

memo

◎ 本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。
◎ アプリによっては、本製品の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は、複数の画面で構成されており、左右にスライド／フリックすると画面を切り替えることができます。

《ホーム画面》

① ステータスバー
② ショートカット／フォルダ
③ クイック起動エリア

クイック起動エリアを利用する

クイック起動エリアにはよく使うアプリが表示されます。お買い上げ時は、「📞」（電話）・「💬」（+メッセージ）・「🌐」（Chrome）・「🌸」（フォト）・「📷」（カメラ）が登録されています。
クイック起動エリアのアプリは、ホーム画面のどの画面でも表示されます。

■ クイック起動エリアにアプリを追加する

1 ホーム画面→アプリをロングタッチ

2 クイック起動エリアにアプリをドラッグして、指を離す

memo

◎ クイック起動エリアのアプリを削除／非表示にするには、「アプリ／ウィジェットを削除する」（▶P. 23）をご参照ください。
◎ クイック起動エリアのアプリを移動するには、アプリをロングタッチ→移動する位置にドラッグして指を離す、と操作してください。

Kyocera Confidential

memo

◎ クイック起動エリアにフォルダを作成することもできます。アプリをロングタッチ→ドラッグして他のアプリに重ねてください。

壁紙を変更する

1 ホーム画面→空きスペースをロングタッチ→[壁紙とスタイル]

2 [壁紙の変更]→壁紙を選択→[✓]

以降は、画面の指示に従って操作してください。

・「マイフォト」をタップすると、本製品やmicroSDメモリカードに保存されている画像を壁紙に設定できます。

アプリ／ウィジェット／フォルダを利用する

アプリ、ウィジェット、フォルダをホーム画面に追加／移動／削除（非表示）することができます。

■ ウィジェット／フォルダを追加する

■ ウィジェットを追加する場合

1 ホーム画面→空きスペースをロングタッチ→[ウィジェット]

2 ウィジェットをロングタッチ→追加する位置にドラッグして、指を離す

■ フォルダを追加する場合

1 アプリをロングタッチ→ドラッグして他のアプリに重ねる

フォルダが作成されます。

memo

◎ 表示しているホーム画面に空きスペースがない場合などは追加できません。

フォルダについて

◎ フォルダを選択→フォルダ名をタップ→フォルダ名を入力すると、フォルダ名を変更できます。

◎ フォルダを選択→アプリをロングタッチ→フォルダの外にドラッグすると、アプリをフォルダから移動できます。

◎ アプリが1つになると、フォルダ表示は解除されます。

■ アプリ／ウィジェット／フォルダを移動する

1 移動するアプリ／ウィジェット／フォルダをロングタッチ

2 移動する位置にドラッグして、指を離す

■ アプリ／ウィジェットを削除する

1 削除するアプリ／ウィジェットをロングタッチ

2 画面上部の「×削除」にドラッグして、指を離す

ホーム画面を設定する

1 ホーム画面→空きスペースをロングタッチ→[ホームの設定]

ホーム設定画面が表示されます。

2

通知ドット	通知設定画面が表示されます。「アプリアイコン上の通知ドット」を有効にすると、アプリの通知があるときにホーム画面のアイコンの右上にドットで通知されます。
スナップショット	カレンダーの予定、天気などを表示するかどうかを設定します。
ホーム画面にアプリのアイコンを追加	新しいアプリをダウンロードしたときに、ホーム画面にアイコンを追加するかどうかを設定します。
メインのホーム画面の左側	ホーム画面を右にスライド／フリックしたときにGoogleアプリを表示するかどうかを設定します。
ホーム画面の回転を許可	端末の向きに合わせてホーム画面が回転するようにするかどうかを設定します。

ホームアプリを切り替える

お客さまがホームアプリのインストールを行った場合は、本製品のホームアプリを切り替えることができます。

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[ホーム切替]→ホームアプリを選択

かんたんホームを利用する

かんたんホーム画面は、複数の画面で構成されており、左右にスライド／フリックすると画面を切り替えることができます。

《メインホーム画面》　《ホーム画面（右）》

① ステータスバー

② 検索

③ 日付／時刻

④ アプリ／フォルダ

インストールされているアプリのアイコン／フォルダが表示されます。

⑤ ワンタッチボタン

よく使う連絡先を登録できます。

⑥ インジケータ

■ ホーム画面を設定する

1 ホーム画面→空きスペースをロングタッチ→[ホームの設定]

設定画面が表示されます。

2

通知件数の表示	ホーム画面のアプリアイコンに表示される通知件数の表示の有効／無効を設定します。
ワンタッチボタンの表示	新しいアプリをダウンロードしたときに、ホーム画面にワンタッチボタンを追加するかどうかを設定します。
Googleアプリの表示	ホーム画面を右にスライド／フリックしたときにGoogleアプリを表示するかどうかを設定します。
ご案内	ホーム画面のガイドを表示します。

アプリを起動する

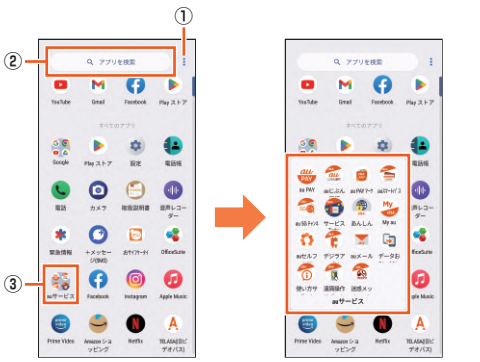
アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

1 ホーム画面を上にスワイプ

アプリ一覧が表示されます。

2 起動するアプリをタップ

・フォルダをタップした場合は、フォルダ内のアプリ一覧から起動するアプリをタップします。



《アプリ一覧》　《フォルダ内のアプリ一覧》

① メニューアイコン

アプリ一覧の並び順を変更できます。

② アプリを検索

アプリを検索できます。

③ フォルダ

タップするとフォルダごとに分類された複数のアプリが表示されます。

memo

◎ お買い上げ時にインストールされているアプリの一覧については「アプリケーション一覧」（▶P.44）をご参照ください。

Kyocera Confidential

アプリ一覧のメニューを利用する

1 **アプリ一覧→[⋮]**

2

アプリ一覧の表示順	アプリ一覧の表示順を変更できます。 [カスタマイズ][50音順][よく使う順]
並び順を変更	アプリ一覧内でアイコンを移動できます。 **アイコンをロングタッチ→移動する位置※までアイコンをドラッグして、指を離す→[完了]** ※ 移動する位置にあるアイコンに、アイコンを重ねると、フォルダが作成されます。

インストールされたアプリを削除する

1 **アプリ一覧で削除するアプリをロングタッチ**

2 **画面上部の「アンインストール」までドラッグして、指を離す→[OK]**

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

ステータスバーには不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■ 主な通知アイコン

アイコン	概要
12:34	時刻
	不在着信あり
	新着＋メッセージあり／新着SMSあり
	新着メールあり（auメール）
	新着メールあり（Gmail）
	緊急速報メールあり
	次のアラームやスヌーズ中のアラーム、解除せずに終了したアラームあり
	カレンダーの予定通知あり
	通話中または着信中
	伝言メモあり
	本体の空き容量が少ないとき
	電池残量15%以下、または残量なし
	他のBluetooth®機器からファイル受信リクエストあり
	データを送信／アップロード
	データを受信／ダウンロード
	インストール完了
	インストール済みアプリのアップデート通知
	ソフトウェア更新あり
	microSDメモリカードのマウント中

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
100%	電池レベル状態 100%／充電中／バッテリーケアモード設定中
5G 4G	電波の強さ・通信状態（5G、LTE／WiMAX 2+） レベル4／圏外／通信中 5G 5G使用可能※1／4G LTE／WiMAX 2+使用可能※2／ローミング中（ネットワークに応じた通信方式もあわせて表示します）
	機内モード設定中
	Wi-Fi®の電波の強さ レベル4／レベル0
	アラーム設定あり
	マナーモード設定中 バイブレーション設定中／ミュート設定中／ドライブ設定中
	Bluetooth®機器と接続中
	伝言メモ設定中 伝言メモ設定中／伝言メモ全件録音済み
	VPN接続中
	GPS利用中
	データセーバー設定中
	Wi-Fi®テザリング中
	マイク使用中
	カメラ使用中

※1 「5G」エリア外では「4G」のネットワークがご利用いただけます。
※2 日本国内においては、「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況等に応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

通知パネルについて

通知パネルでは、お知らせの確認や対応するアプリの起動ができます。また、ON/OFF設定アイコンが表示され、よく使う機能のオン／オフがすぐに設定できます。

1 **ステータスバーを下にスライド**

通知パネルが表示されます。

・[◁]をタップすると通知パネルを非表示にします。

① **日時のエリア**

② **ON/OFF設定アイコン**
よく使う機能のオン／オフなどを設定します。
通知パネルを下にスライドすると、表示されていないアイコンや画面の明るさ調節スライダ、設定メニューアイコン、電源メニューアイコンが表示されます。
[✎]をタップすると、表示されるアイコンを変更できます。

③ **お知らせ（通知）エリア**
本製品の状態やお知らせの内容を確認できます。情報によっては、タップすると対応するアプリが起動します。

④ **通知を管理する**
通知の表示方法をカスタマイズできます。

⑤ **すべて消去**
タップすると通知をすべて消去できます。ただし、消去できない通知もあります。

memo

◎ 通知パネルを上にスライドしても、通知パネルを非表示にすることができます。
◎ 通知を個別に消去するには、消去したい通知を左右にフリックします。

着信ランプ／充電ランプについて

着信ランプ／充電ランプの点灯／点滅により、充電中の充電状態、不在着信やメールの受信などをお知らせしたりします。

LEDの色と動作	通知内容
赤の点灯	充電中であることを示します。
緑の点灯	充電が完了したことを示します。
青の点滅	不在着信、通知メッセージがあることを示します。

最近使用したアプリを起動する

1 [□]

最近使用したアプリ表示一覧画面が表示されます。

2 **左右にフリックして、起動するアプリをタップ**

memo

◎ 一覧からアプリを削除するには、操作**2**で削除したいアプリを上にフリックします。右へフリックしてから「すべてクリア」をタップすると、最近使用したアプリがすべて削除されます。

画面の固定について

◎ 「アプリ固定」（▶P.64）がオンの場合、アプリ表示上部のアイコンをタップ→[固定]→[OK]と操作すると画面を固定できます。画面を固定すると、固定した画面のアプリ以外の操作ができなくなります。
◎ 画面の固定中は以下の制限があります。
・着信や第三者による位置検索ができなくなります。
・他のアプリが正しく動作しなかったり、通知が表示されない場合があります。
◎ 固定を解除するには、[◁]と[□]を同時にロングタッチします。

マルチウィンドウを利用する

画面を分割して複数のアプリを同時に表示できます。

1 **アプリ起動中に[□]→アプリ表示上のアイコンをタップ→[上に分割]**

画面が分割され、選択したアプリが画面上部に表示されます。

2 **同時に表示したいアプリをタップ**

選択したアプリが画面の下側に表示されます。

・画面中央の[▬▬]を画面端までスライドすると、マルチウィンドウが終了します。

memo

◎ アプリによってはマルチウィンドウに対応していない場合があります。

Kyocera Confidential

マナーモードを設定する

マナーモードを設定することで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 (音量上ボタン)または(音量下ボタン)を押す

マナーモードアイコンと音量調節バーが表示されます。

2 マナーモードアイコンをタップ→[バイブ]／[ミュート]／[ドライブ]／[OFF]と操作してマナーモードの種類を切り替える

マナーモードは以下の通りに切り替わります。

- [バイブ]：マナーモード(バイブレーション)
- [ミュート]：マナーモード(ミュート)
- [ドライブ]：マナーモード(ドライブ)
- [OFF]：マナーモードOFF

memo

◎ 音量調節バーでは、動画などのメディア音量を調整できます。また、「…」をタップすると、音の設定画面(▶P.62)が表示され、詳細な音設定ができます。
◎ マナーモード設定中でもカメラのシャッター音や録画開始／終了音、タイマー音は鳴動します。
◎「ドライブ」を選択した場合、着信時は運転中であることをお知らせするアナウンスが流れ、自動的に伝言メモが起動します。
◎ マナーモード設定中に消音の状態でデータが再生された場合、機能によっては、再生中に(音量上ボタン)／(音量下ボタン)を押すと音量を調節できます。

メニューを表示する

画面のメニューを表示する方法には、「⋮」や「≡」などをタップして表示する方法と、入力欄や項目をロングタッチして表示する方法の2種類があります。

スクリーンショットを撮影する

(電源ボタン)と(音量下ボタン)を同時に押すと、現在表示されている画面を画像として保存(スクリーンショット)できます。画面左下に保存した画像が表示されます。

memo

◎ (電源ボタン)を1秒以上長く押す→[画面の保存]と操作しても、スクリーンショットを撮影できます。
◎ スクリーンショットを行った画像は、内部ストレージに保存されます。保存された画像は「Files」(▶P.53)で確認できます。
◎「キャプチャ範囲を拡大」が表示されたときは、表示できる画面全体を1枚のスクリーンショットで撮ることができます(スクロールスクリーンショット)。[キャプチャ範囲を拡大]→保存する範囲を選択→[保存]と操作してください。
◎ アプリや機能によってはスクリーンショットが動作しない場合があります。

アプリのショートカット機能を利用する

アプリアイコンをロングタッチすることで、各機能をショートカットで起動できます。

■ Chromeアプリを新しいタブで開く場合

1 ホーム画面→「」をロングタッチ

2 [新しいタブ]

■ カメラアプリのショートカット機能をホーム画面に追加する場合

1 ホーム画面→「」をロングタッチ

2 追加するショートカット機能をロングタッチ→追加する位置にドラッグして、指を離す

指紋認証機能

指紋認証機能のご利用にあたって

本製品には指紋センサーが搭載されており、登録した指で触れることで、画面ロックを指紋認証で解除できます。

指紋認証利用時のご注意

- ロックダウンを設定した場合は、ご利用になれません。
- 指紋の特徴情報を利用して認証を行うため、特徴情報が少ないお客さまの場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能(指で指紋センサーに正しく触れた際に指紋が認証される性能)は、お客さまの使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を拭く、手を洗う、認証する指を変える、指の登録範囲を広くするなどで、認証性能が改善されることがあります。
  - お風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れていたりしている
  - 指に汗や脂(ハンドクリームなど)が多く付着している
  - 泥や油などで指が汚れている
  - 手荒れや、指に損傷(切傷やただれなど)がある
  - 指が極端に乾燥している
  - 太ったりやせたりして指紋が変化した
  - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
  - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では第三者に本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関して、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

指紋センサー利用時のご注意

- ぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。また、表面をひっかいたり、先の尖ったものでつついたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。
- 指紋センサーにシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- 指紋センサーが汚れると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々柔らかい布などで清掃してください。

指紋を登録する

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[セキュリティ]→[顔認証と指紋認証によるロック解除]

- 「セキュリティの種類」(▶P.64)を「なし」または「スワイプ」以外に設定している場合は、セキュリティを解除して操作2に進みます。
- 「セキュリティの種類」(▶P.64)を「なし」または「スワイプ」に設定している場合は、「パターン・顔・指紋」／「ロックNo.・顔・指紋」／「パスワード・顔・指紋」→セキュリティを設定します。

2 [指紋]→[同意する]

以降は画面の指示に従って操作してください。
登録が終了すると、指紋が追加されたことをお知らせする画面が表示され、「別の指紋を登録」をタップすると他の指紋を登録できます。

- 追加で指紋を登録する場合は、ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[セキュリティ]→[顔認証と指紋認証によるロック解除]→セキュリティを解除→[指紋]→[指紋を追加]と操作します。

memo

◎ 指紋設定画面では、次の操作ができます。
- 指紋の名前を変更するには、登録した指紋をタップ→名前を入力→[OK]と操作します。
- 指紋を削除するには、登録した指紋の「」をタップ→[削除]と操作します。

指紋認証を行う

1 スタート画面表示中に、登録した指で指紋センサーに触れる

スタート画面をスライド／フリックすると、設定した画面ロックの解除方法を入力する画面が表示されます。

memo

◎ 指紋認証が5回連続して認識されなかった場合は、指紋認証ができなくなります。しばらくしてから再度指紋認証を行うか、スタート画面をスライド／フリックして設定した画面ロックの解除方法を入力してください。

Kyocera Confidential

顔認証機能

顔認証機能のご利用にあたって

顔を登録すると、画面点灯時に自動的に顔認証され、画面ロックを解除できます。

顔認証利用時のご注意

- ロックダウンを設定した場合は、ご利用になれません。
- 顔認証は他のロック解除方法(パターン、ロックNo.、パスワードなど)より安全性が低くなります。
- 認証性能(顔をインカメラに向けた際に顔が認証される性能)はお客さまの使用状況により異なります。
- 顔認証を最適な形で実現するために、顔の登録時に次の点にご注意ください。
  - 明るい場所で顔を登録してください。ただし、逆光となる場所では顔を登録しないでください。
  - 衣類、髪の毛、サングラス、マスクなどで顔を覆わないようにしてください。
  - 顔を正面に向け、普通の表情で、顔全体を登録エリアの枠内に入れた状態で撮影し、頭を動かしたり、目を閉じたりしないようにしてください。
- スタート画面で顔認証を行う際は、以下の点にご注意ください。
  - 極端に暗い場所や明るい場所、逆光となる場所では、顔認証の成功率が下がる場合があります。
  - 衣類、髪の毛、サングラス、マスクなどで顔の全体、あるいは一部が覆われると、顔認証の成功率が下がる場合があります。
  - 顔の角度が大きすぎると、顔認証の成功率が下がる場合があります。
  - 自分に似た人や物でもロック解除されてしまう場合があります。

顔を登録する

顔認証に使う顔を登録します。

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[セキュリティ]→[顔認証と指紋認証によるロック解除]

- 「セキュリティの種類」(▶P.64)を「なし」または「スワイプ」以外に設定している場合は、セキュリティを解除して操作2に進みます。
- 「セキュリティの種類」(▶P.64)を「なし」または「スワイプ」に設定している場合は、[パターン・顔・指紋]／[ロックNo.・顔・指紋]／[パスワード・顔・指紋]→セキュリティを設定します。

2 [顔認証]→[同意する]

- 「スマホを持ち上げて画面起動を有効にする」にチェックを入れると、「スマートフォンを持ちあげて点灯」(▶P.63)が有効になります。

3 [スタート]

以降は画面の指示に従って操作してください。

顔認証を行う

1 スタート画面表示中に、インカメラに顔を向ける

正しく認証されない場合は、顔の角度や距離を変更してください。

文字入力

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

ソフトウェアキーボードについて

次のソフトウェアキーボードを使用できます。

12キー	一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。キーボードをタップするたびに文字が切り替わります。また、「フリック入力」を行うこともできます。詳しくは「フリック入力について」(▶P.27)をご参照ください。
QWERTY	一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。キーボードをタップすると、ボタンに表示されている文字が入力されます。日本語は「ローマ字」で入力します。
手書き	手書きで入力できるキーボードです。
GODAN	ローマ字入力に特化したキーボードです。

キーボードを切り替える

1 文字入力画面→[⚙]→[言語]→[日本語]→キーボードを選択

キーボードが切り替わります。詳細は「テンキーボード／QWERTYキーボード／50音キーボードで入力する」(▶P.26)をご参照ください。

キーボードで入力する

① **ツールバー**

② **ツールバーを表示／非表示**

③
12キーでの入力時に表示され、同じキーに割り当てられた文字を通常とは逆の順序で表示します。

④
カーソルを左へ移動します。

⑤
絵文字、顔文字などの一覧を表示します。

⑥ ／ ／
文字種を「ひらがな漢字」→「英字」→「数字」の順に切り替えます。
／ ／ をロングタッチすると、キーボード設定(▶P.27)の表示や片手モードの設定ができます。

⑦ ／
文字入力時に大文字／小文字の切り替え、濁点／半濁点の入力をします。

キーボード複数設定時に表示され、キーボードを切り替えます。

⑧
音声入力で文字を入力できます。(一部の画面では表示されません)

⑨
カーソル位置の前の文字を削除します。

⑩
カーソルを右へ移動します。

⑪
スペースを入力します。
「ひらがな漢字」入力中は、変換候補リスト内の文字を順に表示します。

⑫
文字の確定／改行をします。
一部の画面では、や、、などが表示されます。

⑬ ／ ／
QWERTYキーボードで英字入力時に表示され、小文字／1文字のみ大文字／大文字を切り替えます。

memo

◎ 変換候補リストの「⌄」をタップすると、表示エリアが拡大されます。ソフトウェアキーボードを表示させるには「⌃」をタップします。
◎ ソフトウェアキーボードを非表示にするには、画面左下に表示される「▼」をタップします。

Kyocera Confidential

■ フリック入力について

ソフトウェアキーボードが「12キー」の場合、キーを上下左右にフリックすることで、キーを繰り返してタップすることなく、入力したい文字を入力することができます。キーをタップすると、フリック入力で入力できる候補が表示されます。そのまま入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字入力エリアに文字が入力されます。例えば「あ」を入力する場合は「あ」をタップするだけで入力でき、「お」を入力する場合は「あ」を下にフリックすると入力されます。

文字入力の便利な機能を利用する

絵文字／記号／顔文字を入力する

1. **文字入力画面→[ ]**
   絵文字／記号／顔文字一覧画面が表示されます。
   文字入力画面に変換対象がない状態で表示されます。
2. **絵文字／記号／顔文字を選択**

■ 絵文字／記号／顔文字一覧画面の操作

あいう：文字入力画面に戻る
：選択した文字やカーソルの左の文字の削除

memo

◎ 操作するアプリや画面によっては、一覧画面の表示方法が異なる場合や、絵文字／記号／顔文字の表示や入力ができない場合があります。

文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける

1. **文字入力画面→文字入力エリアをロングタッチ→「●」／「●」をドラッグして、範囲を選択**
   ・操作するアプリによっては、カーソルの色が異なる場合があります。
2. **[切り取り]／[コピー]**
   「すべて選択」をタップ（表示されていない場合は[ ]→[すべて選択]と操作）すると、入力した文字列全体を選択できます。
3. **貼り付ける位置でロングタッチ→[貼り付け]**
   テキストが入力されている場合は、挿入する位置でタップし、[●]→[貼り付け]と操作します。

ソフトウェアキーボードの設定を行う

1. **文字入力画面→[⚙]**
2.

言語	ソフトウェアキーボードを言語ごとに設定できます。
設定	キーの配置やキーボードのレイアウト、キー操作などについて設定できます。
テーマ	ソフトウェアキーボードの見た目を変更できます。
テキストの修正	入力候補やテキストの自動修正などについて設定できます。
グライド入力	QWERTYの英語入力で文字間をスライドして単語を入力できるグライド入力について設定できます。
音声入力	音声入力について設定できます。
クリップボード	最近コピーしたテキストや画像を、ツールバーの位置に表示するかどうかを設定できます。
単語リスト	▶P.27「単語リストに登録する」
絵文字、ステッカー、GIF	絵文字候補の高速アクセス行やコンテンツの予測検索などを設定できます。
Gboard を共有	他のユーザーとGboardを共有します。
詳細設定	ソフトウェアキーボードの詳細設定ができます。
評価のお願い	Gboardの評価をします。

単語リストに登録する

1. **文字入力画面→[⚙]**
2. **[単語リスト]→[単語リスト]→登録する言語をタップ**
3. **[+]**
4. **「単語を入力します」欄をタップ→単語を入力**
5. **「よみを入力します」欄をタップ→よみを入力**

memo

◎ 登録した語句を削除する場合は、手順3で削除する単語をタップ→[🗑]と操作します。

Kyocera Confidential

Kyocera Confidential

電話・連絡先

電話 **30**
- 電話をかける 30
- 電話を受ける 31
- 伝言メモを利用する 31
- 自分の電話番号を確認する 31

電話帳 **32**
- 電話帳について 32
- 連絡先を登録する 32
- 連絡先から電話をかける 32
- 連絡先を編集／削除する 32
- グループを設定する 32
- お気に入りを設定する 32
- 連絡先をインポート／エクスポートする 33

Kyocera Confidential

電話

電話をかける

1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ
電話番号入力画面が表示されます。

2 電話番号を入力
一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。
「⌫」:入力した数字を1桁削除
「⌫」(ロングタッチ):すべての数字を削除
「👤」:電話帳を起動
「⋮」:▶P.30「電話番号入力画面のメニューを利用する」

3 [📞]→通話
通話中に🔉(音量上ボタン)/🔊(音量下ボタン)を押すと、通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節できます。
・「あとから録音」(▶P.30)についての画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。

4 [📵]
通話が終了します。

memo
◎ ⏻(電源ボタン)を1秒以上長く押す→[緊急通報]と操作すると、緊急通報番号(110、119、118)へ発信することができます。
◎ 発信中/通話中に顔などによって画面を覆うと、誤動作を防止するため画面が消灯します。
◎ 送話口(マイク)を覆っても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。

■ 電話番号入力画面のメニューを利用する

1 電話番号入力画面→[⋮]

2

電話帳に登録※	電話帳の連絡先に追加します。
メッセージを送信※	SMSの新規作成画面を表示します。
番号非通知(184)付加	電話番号に「184」を追加します。
番号通知(186)付加	電話番号に「186」を追加します。
自動ポーズ(,)付加※	「,」を入力します。電話番号の後ろに「,」と番号を入力して電話をかけると、電話がつながってから約2秒後に番号がプッシュ信号として自動的に送信されます。
手動ポーズ(;)付加※	「;」を入力します。電話番号の後ろに「;」と番号を入力して電話をかけると、電話がつながってから「送信」をタップしたときに番号をプッシュ信号として送信できます。
スピードダイヤル	連絡先の電話番号を登録することで、簡単に電話をかけることができます。
連絡先検索	チェックを入れると番号入力時に電話帳内の入力内容に適合する検索対象を表示します。
通話設定	▶P.61「通話に関する設定をする」

※ 電話番号が入力されている場合に表示されます。

■ 通話中に利用できる操作

通話中は以下の操作が行えます。

通話相手を追加	別の相手に電話をかけます。
通話を録音/録音を終了	▶P.30「通話音声メモを利用する」
聞こえ調整	通話中の音質を設定します。
ミュート/ミュートを解除	自分の声を相手に聞こえないようにします。「ミュートを解除」をタップすると、相手に自分の声が聞こえるようになります。
スピーカー	「スピーカー」をタップすると、ハンズフリー通話に切り替わります。もう一度「スピーカー」をタップすると、スピーカー通話が終了します。
通話を保留/保留を解除	通話を保留状態にします。「保留を解除」をタップすると保留が終了します。
ダイヤル	「ダイヤル」をタップするとダイヤルキー画面が表示され、キーをタップするとプッシュ信号を送信します。「閉じる」をタップすると、ダイヤルキー画面が閉じます。

■ 通話音声メモを利用する

通話中の相手の方と自分の声を録音します。
・「あとから録音」がONの場合は操作できません。

1 通話中画面→[通話を録音]
録音を開始します。

2 [録音を終了]
録音を終了します。

■ 通話音声メモの録音を自動的に開始する(あとから録音)

通話開始と同時に通話音声メモの録音を開始するには、あらかじめ設定が必要です。

1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[通話設定]→[通話音声メモ]

2 [あとから録音]→「あとから録音を使用」を有効にする
録音対象を「すべて」/「ユーザー設定」から選択できます。「ユーザー設定」を選択した場合は、録音対象の電話番号や着信の種類を設定できます。

■ あとから録音を保存するには

通話が終了すると通話音声メモを保存するかどうかの確認画面が表示されます。
・「OK」をタップすると通話音声メモが保存されます。
・「キャンセル」をタップすると録音した通話音声メモは削除されますので、ご注意ください。

memo
◎ 通話を録音(通話音声メモ)を再生するには、ホーム画面→[📞]→「履歴」タブをタップ→通話履歴をタップ→[通話音声メモを再生]と操作します。
◎ 通話を録音(通話音声メモ)で録音できるのは、1件あたりの最大録音時間は約60分で、100件までです。

■ 通話音声メモをエクスポートする

通話音声メモのデータを内部ストレージ/microSDメモリカードへエクスポートします。

1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[通話設定]→[通話音声メモ]

2 [通話音声メモリスト]→[⋮]→[エクスポート]

3 エクスポートするメモを選択→[OK]→[内部ストレージ]/[SDカード]
エクスポートしたメモのアイコンの右上に「↗」が付きます。
・内部ストレージにエクスポートしたデータはFiles(▶P.53)の[内部ストレージ]→「VoiceMemo」フォルダでも確認できます。

■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客さまの現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。

memo
◎ 警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
◎ 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。
◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
◎ 緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客さまの現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
◎ 緊急通報受理機関への緊急通報の際には、必ずお客さまの所在地をご確認の上、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。
◎ 着信拒否や伝言メモ、マナーモード(ドライブ)を設定した状態で緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、設定は自動的に5分間解除されます。

履歴を利用して電話をかける

1 電話番号入力画面→「履歴」タブをタップ
通話履歴一覧画面が表示されます。
↙着信:着信
∞伝言:伝言メモあり
↙不在:不在着信
↗発信:発信
∞:通話音声メモあり

2 電話をかける履歴の[📞]
選択した相手に電話を発信します。
通話履歴一覧画面で履歴をタップすると履歴詳細画面が表示され、音声発信以外にも+メッセージ(SMS)の作成や伝言メモ再生、通話音声メモ再生、電話帳に登録などの操作を行うことができます。

memo
◎ 履歴詳細画面で「⋮」をタップすると、履歴からの削除や番号の編集などをすることができます。

Kyocera Confidential

au電話から海外へかける（au国際電話サービス）

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面→国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→[📞]

国際アクセスコード※1	→	国番号（アメリカ）	→	市外局番※2	→	相手の方の電話番号
010		1		212		123XXXX

※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。
※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部例外もあります）。

memo

◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
au電話から（局番なしの）**157**番（通話料無料）
一般電話から**0077-7-111**（通話料無料）
受付時間 毎日9:00～20:00

電話を受ける

1 着信画面→[電話に出る]

通話を開始します。
・スリープモード中やスタート画面表示中は「電話に出る」を右にスライドしても電話に出ることができます。

2 通話→[📞]

■ 電話がかかってきた場合の表示について

お買い上げ時は、着信すると次の内容が表示されます。
・相手の方から電話番号の通知があると、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。
・相手の方から電話番号の通知がないと、ディスプレイに理由が表示されます。
「非通知」「公衆電話」「不明※」
※ 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

着信時に相手の方の電話番号や名前を表示しないようにすることもできます（▶P.61「着信相手非表示」）。

memo

◎ 5G NET、5G NET for DATAをご契約いただいていない場合、「モバイルネットワーク」（▶P.60）の「モバイルデータ」を無効にしてご利用ください。

かかってきた電話に出なかった場合は

◎ ステータスバーに「✕」が表示されます。ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、着信のあった時間や電話番号、または電話帳に登録されている名前が表示されます。

着信時に着信音、バイブレータを無効にするには

◎ 着信時に[◀□]（音量上ボタン）/[□▶]（音量下ボタン）を押すと、着信音、バイブレータを無効にすることができます。

他の機能をご利用中に着信した場合は

◎ 動画を録画していた場合は、録画が中断され、録画していたデータは保存されます。
◎ 音声レコーダーで録音していた場合は、録音が一時停止されます。通話が終了したら、録音を再開できます。
◎ マナーモード（ドライブ）に設定している場合は、自動的に伝言メモが起動します。

着信に伝言メモで応答する

伝言メモのメッセージで応答し、相手の方の伝言を録音します。
・伝言メモを設定していなくても、手動で起動できます。

1 着信画面

2 [伝言メモに録音]→[録音を開始]

memo

◎ 伝言メモ録音中に「電話に出る」をタップすると、電話に出ることができます。スリープモード中／スタート画面表示中は「電話に出る」を右にスライドします。

着信を拒否する

1 着信画面→[電話に出ない]

着信音が止まって電話が切れます。相手の方には音声ガイダンスでお知らせします。
・スリープモード中やスタート画面表示中は「電話に出ない」を左にスライドします。

着信を拒否してメッセージ（SMS）を送信する

着信拒否をして、SMSのメッセージで応答します。
・定型文を選択するか、または自分で文章を作成して返信することもできます。定型文をあらかじめ編集しておくこともできます。

1 着信画面

2 [SMSで返信]

3 送信したいメッセージをタップ

・「カスタムメッセージ」をタップすると、メッセージを作成して送信できます。

memo

◎ 既存のメッセージを編集する場合は、ホーム画面→[📞]→[⋮]→[通話設定]→[SMS返信]→[SMS返信の編集]→既存のメッセージを選択して編集→[OK]と操作します。

SMS返信の自動設定を設定する

着信時に、一定の時間が経過すると自動的にSMSで返信するように設定します。

1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[通話設定]→[SMS返信]→[SMS返信の自動設定]

2

SMS返信の自動設定の使用	自動返信を利用するかどうかを設定します。
返信時間	返信するまでの時間を設定します。
返信メッセージ	返信するメッセージを設定します。

ステップアップ着信を設定する

同じ人から10分以内に着信を受けると着信音を徐々に大きく（ステップアップ）してお知らせするように設定します。

1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[通話設定]→[ステップアップ着信]を有効にする

・お買い上げ時は無効に設定されています。

不在着信通知を設定する

未確認の不在着信通知がある場合、設定したタイミングで再度通知音を鳴らすなどで、スヌーズ通知するように設定します。
・スヌーズ通知を開始してから5分後／10分後／20分後／60分後に、再度通知を行います。

1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[通話設定]→[不在着信通知]

2 通知するタイミングにチェックを入れる

伝言メモを利用する

伝言メモを設定すると、お留守番サービスEXを契約していない場合でも、電話に応答できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声を録音することができます。1件あたりの最大録音時間は約60秒です。

1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[通話設定]→[伝言メモ]

2

伝言メモ応答設定	伝言メモを利用するかどうかを設定します。
応答時間	応答するまでの時間を設定します。
伝言メモリスト	伝言メモの再生や削除、保護／解除をします。
応答メッセージ	応答メッセージの切り替えやオリジナルメッセージの録音をします。

memo

◎ 録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーに「📝」が表示されます。ステータスバーを下にスライド→[伝言メモ録音あり]と操作すると、伝言メモリスト画面が表示され、録音された伝言メモを確認できます。
◎ 録音された伝言メモを削除するには、伝言メモリスト画面で伝言メモをタップ→[⋮]→[削除]→[OK]と操作します。

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[プロフィール]

プロフィール画面が表示されます。

■ プロフィールを登録する

1 プロフィール画面→[✎]

・プロフィール画面で「⋮」をタップすると登録した情報を共有したり削除することができます。

2 必要な項目を入力→[保存]

memo

◎ ホーム画面→[電話帳]→「すべての連絡先」タブをタップして自分の名前の部分をタップしても、自分の電話番号を確認できます（▶P.32）。

Kyocera Confidential

電話帳

電話帳について

電話帳には連絡先の各種情報が表示されます。

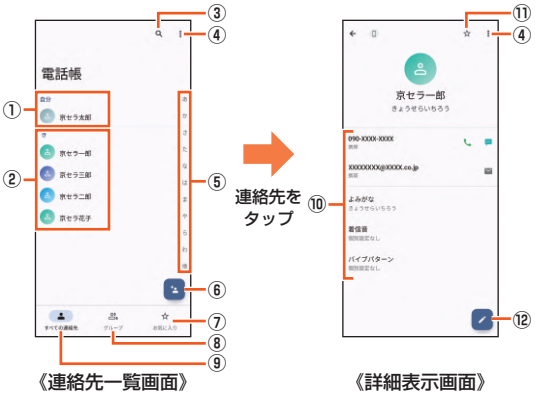
memo

◎ 電話帳に登録された電話番号や名前などは、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で登録内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 「パスワードとアカウントの設定をする」(▶P.64)を利用して、サーバーに保存されたGoogleの連絡先などと本製品の電話帳を同期できます(Google アカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogle アカウントを登録してください)。

連絡先を登録する

1 ホーム画面を上にスワイプ→[電話帳]→「すべての連絡先」タブをタップ

連絡先一覧画面が表示されます。
連絡先が未登録の場合は、操作2で新規連絡先を登録してください。



《連絡先一覧画面》　《詳細表示画面》

① **自分のプロフィール**
自分の電話番号を確認し、自分の名前などを登録できます(▶P.31)。
② **連絡先に登録された写真・名前**
タップすると、連絡先の詳細表示画面が表示されます。
③ **検索**
登録されている連絡先を検索します。
④ **メニュー**
連絡先の削除やインポート/エクスポート、表示する連絡先の設定、インデックスタブの表示位置の設定などができます。
⑤ **インデックスタブ**
タブをタップすると、タップしたタブの行の文字から始まる連絡先が表示されます。
[⋮]→[設定]→[インデックスの表示位置]→[右側]/[左側]と操作すると、インデックスの位置を変更できます。
⑥ **新規作成**
連絡先を登録します。
⑦ **お気に入りタブ**
タップすると「お気に入り」に登録した連絡先が表示されます。
⑧ **グループタブ**
タップするとグループの一覧を表示します。
・グループ作成や編集については、「グループを設定する」(▶P.32)をご参照ください。
⑨ **すべての連絡先タブ**
すべての連絡先が一覧画面で表示されます。
⑩ **登録内容**
⑪ **お気に入り**
タップすると連絡先をお気に入りに登録できます。
⑫ **編集**
連絡先を編集できます(▶P.32)。

2 [ ]

・アカウントの選択画面が表示された場合は、使用するアカウントを選択するか、「アカウントを追加」をタップしてアカウントを登録してください。

3 必要な項目を入力

・各項目をタップすると項目を入力できます。入力中または入力後に「✕」をタップすると、項目を削除できます。
・電話番号やメールアドレスを1件入力すると、入力欄が追加されます。
・「 」をタップすると、連絡先に登録する写真を撮影または選択できます。
・項目によっては、「∨」をタップすると、さまざまな設定の変更ができます。
・「着信設定」の「個別着信音を設定」をタップすると、着信音などの個別設定ができます。

4 [保存]

memo

◎ 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
◎ 相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信設定」は有効になりません。

連絡先から電話をかける

1 連絡先一覧画面→電話をかける連絡先をタップ

連絡先の詳細表示画面が表示されます。

2 [ ]

連絡先を編集/削除する

連絡先を編集する

1 編集する連絡先の詳細表示画面→[ ]

連絡先編集画面が表示されます。

2 項目を選択して編集

3 [保存]

連絡先を削除する

1 連絡先一覧画面→[⋮]→[削除]→削除する連絡先にチェックを入れる→[OK]→[OK]

memo

◎ 内部ストレージの空き容量が少ないと、連絡先の編集/削除ができない場合があります。ご注意ください。

グループを設定する

連絡先をグループに登録できます。
・「パスワードとアカウントの設定をする」(▶P.64)を利用して、アカウントと同期すると、自動的にグループが作成されます。

1 連絡先一覧画面→「グループ」タブをタップ→[ ]

・アカウントの選択画面が表示された場合は、使用するアカウントを選択してください。

2 [グループ名]→グループの名前を入力

3 [連絡先を登録/解除]→登録する連絡先にチェックを入れる→[OK]

4 「グループの着信設定」の項目を必要に応じて設定→[OK]

memo

◎ グループの編集は、連絡先一覧画面→「グループ」タブをタップ→編集するグループをタップ→[ ]と操作して行うことができます。「グループの着信設定」なども設定できます。
◎ 相手の方から電話番号の通知がない場合は、「グループの着信設定」は有効になりません。
◎ 個別の連絡先に「着信設定」が設定されている場合は、そちらが優先されます。
◎ グループを選択して[⋮]→[削除]→[OK]と操作すると、グループを削除できます。グループを削除しても、登録されている連絡先は削除されません。

お気に入りを設定する

連絡先をお気に入りに設定すると、お気に入りに設定した連絡先のみ表示することができます。

1 連絡先一覧画面→「お気に入り」タブをタップ

・お気に入りに設定した連絡先が表示されます。

2 [ ]→お気に入りに設定する連絡先にチェックを入れる→[OK]

・お気に入りを解除するときはチェックを外します。

Kyocera Confidential

連絡先をインポート／エクスポートする

連絡先を内部ストレージやmicroSDメモリカードからインポート／エクスポートできます。

- 連絡先によっては、データの一部がインポート／エクスポートされない場合があります。

インポートする

内部ストレージ／microSDメモリカードに保存されている連絡先をインポートします。

1. **連絡先一覧画面→[⋮]→[インポート／エクスポート]**
2. **[内部ストレージからインポート]／[SDカードからインポート]**
   - アカウントの選択画面が表示された場合は、使用するアカウントを選択してください。
3. **[vCardファイルを1つインポート]→[OK]→インポートする連絡先ファイル(vCardファイル)を選択→[OK]**
   「複数のvCardファイルをインポート」／「すべてのvCardファイルをインポート」を選択してインポートすることもできます。

エクスポートする

内部ストレージ／microSDメモリカードへエクスポートします。

1. **連絡先一覧画面→[⋮]→[インポート／エクスポート]**
2. **[内部ストレージにエクスポート]／[SDカードにエクスポート]**
   連絡先の選択画面が表示されます。
3. **エクスポートする連絡先を選択→[OK]→[OK]**
   連絡先の選択画面→[すべて選択]→[OK]→[OK]と操作すると、すべての連絡先をエクスポートできます。

Kyocera Confidential

Kyocera Confidential

メール

メール **36**
メールについて 36
auメール **36**
auメールのご利用にあたって 36
auメールを利用する 36
迷惑メールフィルターを設定する 36
UQ mobileメール **37**
UQ mobileメールのご利用にあたって 37
迷惑メールフィルターを設定する 37
＋メッセージ(SMS) **38**
＋メッセージのご利用にあたって 38
＋メッセージのご利用方法を確認する 38
連絡先を登録する 38
公式アカウントを登録する 38
メッセージを送信する 38
グループを作る･グループに送信する 38
＋メッセージを設定する 38
ブロックリストを設定する 39
Gmail **39**
Gmailについて 39
Gmailを起動する 39

Kyocera Confidential

メール

メールについて

本製品では、次のメールが利用できます。

■ auメール

auメールのアドレスを利用してメールの送受信ができるauのサービスです（▶P.36）。

■ UQ mobileメール

UQ mobileメールをご利用になるお客さまは、メールアプリとしてCosmoSiaを利用することができます（▶P.37）。

memo

◎ アプリ表示名称は、「メール(CS)」です。
◎ UQ mobileのEメールサービスは、有料サービスにつき、別途お申し込みが必要です。詳細はUQ mobileお客さまセンターまたはUQ mobileホームページをご確認ください。

■ ＋メッセージ(SMS)

電話番号でメッセージのやりとりができるアプリです。auの電話番号宛だけでなく、国内他事業者にもメッセージを送信できます（▶P.38）。

■ Gmail

Googleが提供するメールサービスです。Gmailのアカウントだけでなく、PCメールのアカウントも設定できます（▶P.39）。

auメール

auメールのご利用にあたって

- auメールを利用するには、5G NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、au Style／auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- auメールサービスの詳細については、auホームページをご参照ください。
  https://www.au.com/support/service/mobile/email/
- 操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。

auメールの初期設定について

- auメールアプリを利用するには、あらかじめ初期設定が必要です。初回起動時に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- 初期設定は、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行うと、正しく設定されない場合があります。Wi-Fi®通信やVPN接続では初期設定ができません。
- 時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。「メールアドレスの設定中です。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。

memo

◎ auメールの送受信には、データ量に応じて変わるデータ通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、auホームページをご参照ください。
◎ 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、auメールの送受信に時間がかかることがあります。

auメールを利用する

1 ホーム画面を上にスワイプ→[auサービス]→[auメール]
auメールのトップ画面が表示されます。

auメールの利用方法を確認する

auメールの「アプリ操作ガイド」で利用方法を確認できます。

1 auメールのトップ画面→[☰]→[アプリ操作ガイド]
auメールアプリの操作説明がブラウザで表示されます。

2 確認する利用方法をタップ
「動画で確認する」で動画による説明も確認できます。

memo

◎ データセーバー（▶P.60）設定中の場合、メールを受信するときは、auメールのトップ画面を下方向にスワイプしてください。
◎ auメールの利用方法確認には、データ通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、auホームページをご参照ください。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるメールを拒否する機能があります。

1 auメールのトップ画面→[☰]→[アドレス変更／迷惑メール設定]
確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

■ おすすめの設定にする場合

2 [オススメの設定はこちら]→[OK]
なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルターの設定／確認へ]→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]

3

ヘルプ		迷惑メールフィルターの各種機能の説明を表示します。
オススメ設定をする		とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
個別設定	受信リストに登録／アドレス帳受信設定をする	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 • 受信リストに登録したメールアドレス以外のメールをすべてブロックする場合は、「個別設定」の「携帯／PHS以外からのメールを拒否する」で「設定する」に設定し、「携帯／PHS等の事業者毎に受信／拒否設定する場合はコチラ」の「事業者毎の設定」ですべての事業者を「受信しない」に設定してください。 ※「必ず受信」にチェックを入れることにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。ただし、「ご自身のauメールアドレス」またはその一部(@au.com/@ezweb.ne.jp)などを設定する場合は、「必ず受信」のチェックを外してください。 **アドレス帳受信設定へ：** 「auアドレス帳」もしくは「データお預かり」に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。
	拒否リストに登録する	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	携帯／PHS以外からのメールを拒否する	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。また、携帯／PHS事業者毎にメールを一括で受信／拒否します。
	その他の詳細設定をする	**迷惑メールおまかせ規制：** メールサーバーで受信したメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 **なりすまし規制：** 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(低)の2つの設定を選択いただけます。 ※ 以前ご利用の携帯電話で(中)を設定されている場合も(高)(低)のみ選択可能です。 ※「受信リスト設定」の「必ず受信」にチェックを入れて登録することにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。 **HTMLメール規制：** メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 **URLリンク規制：** 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 **ウィルスメール規制：** 添付ファイルがウイルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。
全ての設定を一括解除する		迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できます。

※ 最新の設定機能およびパソコンからの迷惑メールフィルター設定は、auのホームページでご確認ください。

memo

◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
◎ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。

Kyocera Confidential

UQ mobileメール

UQ mobileメールのご利用にあたって

- UQ mobileメールは有料サービスにつき、別途お申込みが必要です。
  UQ mobileメールの詳細については、UQ mobileホームページをご参照ください。
  https://www.uqwimax.jp/mobile/plan/option/mail/
- UQ mobileメールのご利用にはCosmoSiaアプリが必要です。
  Google Playからアプリをダウンロードしてご利用ください。
- 操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。

メールサービスの初期設定について

- UQ mobileメールを利用するには、あらかじめCosmoSiaアプリの初期設定が必要です。
- 初期設定は、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行うと、正しく設定されない場合があります。Wi-Fi®通信では初期設定ができません。
- 操作中に確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 初期設定の詳細については、UQ mobileホームページをご参照ください。
  https://www.uqwimax.jp/mobile/support/guide/mail/

1 **ホーム画面を上にスワイプ→[メール(CS)]**
サービス一覧画面が表示されます。

2 **[UQ mobileメール]**

3 **画面の指示に従ってデフォルトのSMSアプリを「メール(CS)」に変更**
メール設定が完了するとメールアドレスが表示されます。
メールアドレスを変更することもできます。

memo
◎ メールの送受信には、データ量に応じて変わるデータ通信料がかかります。
◎ 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、メールの送受信に時間がかかることがあります。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるメールを拒否する機能があります。

1 **メールのトップ画面→[⋮]→[メール設定画面]→[メールアドレス変更・迷惑メールフィルター・自動転送]**
確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

■ おすすめの設定にする場合

2 **[オススメの設定はこちら]→[OK]**
なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

2 **[迷惑メールフィルターの設定／確認へ]→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]**

3

ヘルプ		迷惑メールフィルターの各種機能の説明を表示します。
オススメ設定	オススメ設定をする	とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
個別設定	受信リストに登録する	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 • 受信リストに登録したメールアドレス以外のメールをすべてブロックする場合は、「個別設定」の「携帯／PHS以外からのメールを拒否する」で「設定する」に設定し、「携帯／PHS等の事業者毎に受信／拒否設定する場合はコチラ」の「事業者毎の設定」ですべての事業者を「受信しない」に設定してください。
	拒否リストに登録する	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	携帯／PHS以外からのメールを拒否する	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。 また、携帯／PHS事業者毎にメールを一括で受信／拒否します。
	その他の詳細設定をする	**迷惑メールおまかせ規制:** メールサーバーで受信したメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 **なりすまし規制:** 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(低)の2つの設定を選択いただけます。 **HTMLメール規制:** メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 **URLリンク規制:** 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 **ウィルスメール規制:** 添付ファイルがウイルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。
全ての設定を一括解除する		迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できます。

memo
◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
◎ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。

Kyocera Confidential

＋メッセージ(SMS)

＋メッセージのご利用にあたって

「+メッセージ(SMS)」アプリは、電話番号でメッセージのやりとりができるアプリケーションです。
auの電話番号宛だけでなく、国内他事業者(NTTドコモ、ソフトバンクなど)にもメッセージが送れ、企業の公式アカウントとメッセージのやりとりができます。
初めて起動したときは許可画面や利用規約などの確認画面が表示されます。内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

＋メッセージのモードについて

+メッセージは、相手が+メッセージを利用している場合、スタンプや写真や動画などのコンテンツを送ることができます。
相手が＋メッセージを利用していない場合は、SMSとしてテキスト文のみを送ることができます。

＋メッセージのご利用方法を確認する

1 **ホーム画面→[ ]**

2 **[マイページ]→[ヘルプ]**
以下の内容をブラウザで確認できます。ご希望の操作説明をご確認ください。
・よくあるご質問
・使い方ガイド
※ なるホーの使い方練習(下記QRコード)にアクセスすると、基本的な使い方を実際に体験できます。

連絡先を登録する

QRコードによる連絡先登録

＋メッセージ利用者同士であれば、＋メッセージ専用QRコードを読み込むことで、連絡先として登録できます。

1 **ホーム画面→[ ]**

2 **[連絡先]→[ ]→[QRコードで追加]**

memo
◎ 専用のQRコードを表示するには、ホーム画面→[ ]→[マイページ]→[QRコード]と操作します。

新しい連絡先を登録

1 **ホーム画面→[ ]**

2 **[連絡先]→[ ]→[新しい連絡先]**
連絡先アプリの連絡先新規登録画面が表示されます。新規連絡先を登録できます。

公式アカウントを登録する

1 **ホーム画面→[ ]**

2 **[公式アカウント]または[連絡先]→[公式アカウントを探す]→[ホーム]または[カテゴリ]**
おすすめやカテゴリごとに分けられた公式アカウントが表示されます。登録した公式アカウントは[利用中]に表示されます。

メッセージを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字のメッセージ(メール本文)に加え、スタンプや写真・動画等のコンテンツを送信できます。

1 **ホーム画面→[ ]**
[連絡先]→連絡先一覧画面が表示されます。
[メッセージ]→メッセージ一覧画面が表示されます。

2 **[メッセージ]→[ ]→[新しいメッセージ]**
メッセージの作成画面が表示されます。
同じ相手にメッセージを送信するときは、メッセージ一覧で相手をタップしてもメッセージを作成できます。

3 **連絡先一覧から相手先を選択**
・「名前や電話番号を入力」欄に、名前を入力すると連絡先一覧から相手先を検索できます。
・「名前や電話番号を入力」欄に、相手先電話番号を直接入力することもできます。
・SMSを海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。
010+国番号+相手先電話番号
※相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。

4 **[メッセージを入力]→本文を入力**
・本文は、相手先が＋メッセージを利用している場合、2,730文字相当まで入力できます。
・SMSモード利用の場合、全角最大670／半角最大1,530文字まで入力できます。

5 **[ ]**
メッセージが送信されます。
送信したメッセージをロングタッチ→コピー、転送、削除ができます。

グループを作る・グループに送信する

1 **ホーム画面→[ ]**

2 **[メッセージ]→[ ]→[新しいグループメッセージ]**

3 **連絡先一覧から相手先を選択**
・「名前や電話番号を入力」欄に、名前を入力すると連絡先一覧から相手先を検索できます。
・「名前や電話番号を入力」欄に、相手先電話番号を直接入力することもできます。
※ グループは100人まで選択できます。

4 **[OK]**

5 **[グループ名(入力スキップ可)]→任意の名称を入力**
[ ]をタップしてグループのプロフィール写真を設定することもできます。

6 **[OK]**

7 **メッセージを入力し、送信**
・メッセージの送信方法については、「メッセージを送信する」(▶P.38)をご参照ください。

＋メッセージを設定する

1 **ホーム画面→[ ]**

2 **[マイページ]→[設定]**
+メッセージの設定メニューが表示されます。

メッセージ	バックアップや連絡先未登録者フィルタリング等の設定を行うことができます。
公式アカウント	公式アカウントの通知音設定を行うことができます。
写真や動画	写真や動画のダウンロード設定、サイズ設定等を行うことができます。
テーマカラー・背景	テーマカラーや背景設定を行うことができます。
通知	メッセージ着信時の通知関連の設定を行うことができます。
プライバシー	パスコード、ブロックリスト等の設定を行うことができます。
その他	ユーザー情報引き継ぎ設定、初期化等の設定を行うことができます。

Kyocera Confidential

ブロックリストを設定する

相手とのやりとりをブロックすることができます。ブロック／ブロック解除の設定ができます。

1 **ホーム画面→[ ]**

2 **[マイページ]→[設定]→[プライバシー]→[ブロックリスト]**

3 **[ブロックリスト編集]**

4 **[ ]**

ブロックしたい相手を以下の方法から選択します。

- 「名前や電話番号を入力」欄にブロックしたい電話番号を入力し、電話番号を選択します。
- 「名前や電話番号を入力」欄にブロックしたい相手の名前を入力し、連絡先を選択します。
- 連絡先一覧に表示されている連絡先からブロックしたい相手を選択します。

■ 公式アカウントとのやりとりをブロックする

1 **ホーム画面→[ ]**

2 **[メッセージ]**

ブロックしたい公式アカウントを選択します。

3 **公式アカウントのメッセージ画面 →[ ]**

4 **[ブロック]**

memo

◎ 公式アカウントをブロックすると、同時に利用を停止されます。また[利用中]から削除されます。

Gmail

Gmailについて

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの確認・送受信などができます。

- Gmailの利用には、Google アカウントが必要です。詳しくは、「Google アカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。
- サービスの内容は、予告なく変更される場合があります。

Gmailを起動する

1 **ホーム画面→[Google]→[Gmail]**

アカウント設定したメイン画面が表示されます。

- メイン画面で「 」をタップするとメニュー項目が表示され、設定やヘルプとフィードバックなどの操作が行えます。

Kyocera Confidential

Kyocera Confidential

インターネット

インターネット接続.....42
インターネットについて.....42
データ通信を利用する.....42
Chrome.....42
Webページを表示する.....42

Kyocera Confidential

インターネット接続

インターネットについて

データ通信または無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してインターネットに接続できます。
- データ通信(5G NET、5G NET for DATA)(▶P.42「データ通信を利用する」)
- Wi-Fi®(▶P.56「無線LAN(Wi-Fi®)機能」)

memo
◎ 5G NETまたは5G NET for DATAに加入していない場合は、データ通信を利用することができません。

データ通信を利用する

本製品は、「5G NET」や「5G NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してデータ通信を行うことができます。本製品にはあらかじめ5G NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリを起動すると自動的に接続されます。
5G NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[インターネット]→「au 5G」の[⚙]→[アクセスポイント名]→[5G NET for DATA]と操作します。

memo
◎ 5G NET、5G NET for DATA、データ通信料定額／割引サービスについての最新情報は、auのホームページをご参照ください。

■ データ通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリを使用するなど、データ量の多い通信を行うとデータ通信料が高額となるため、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめいたします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限されることがあります。

■ ご利用データ通信料のご確認方法について

ご利用データ通信料は、次のURLでご照会いただけます。
https://www.au.com/support/

Chrome

Webページを表示する

Google Chromeを利用して、Webページを閲覧できます。

1 ホーム画面→[Chrome]
Webページが表示されます。
- Webページの上部に表示されるURL表示欄にキーワードを入力して、Webサイトの情報を検索できます。また、URLを直接入力してサイトを表示できます。
- [⋮]→[ヘルプとフィードバック]と操作して操作方法の詳細を確認できます。
- 初めて起動したときは、利用規約とプライバシーに関する確認やアカウント設定などの画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

memo
◎ 非常に大きなWebページを表示した場合は、アプリが自動的に終了することがあります。

Kyocera Confidential

アプリケーション

アプリケーション一覧 44
アプリを利用する 44
カメラ 45
カメラをご利用になる前に 45
静止画を撮影／動画を録画する 46
QRコード･バーコードリーダーを利用する 46
静止画／動画を再生する 46
Google TV 46
Google TVを利用する 46
NFC／おサイフケータイ® 47
おサイフケータイ®とは 47
NFC機能を設定する 47
画面ロック連動機能を設定する 47
FeliCa®に対応したサービスを利用する 47
My au 47
My auを利用する 47
My UQ mobile 48
My UQ mobileを設定する 48
あんしんフィルター for au 48
あんしんフィルター for auを利用する 48
Androidアプリ 48
Google Playを利用する 48
アプリケーションを管理する 48
YouTube 49
YouTubeを利用する 49
Googleサービス 49
Meetを利用する 49
Google マップを利用する 49
カレンダー 49
カレンダーを利用する 49
時計 49
時計を利用する 49
電卓 49
電卓を利用する 49
Keep メモ 50
Keep メモを利用する 50
音声レコーダー 50
音声レコーダーを利用する 50
簡易ライト 50
簡易ライトを利用する 50

Kyocera Confidential

アプリケーション一覧

アプリを利用する

アプリのアイコンをタップすると、アプリが起動します。
- 次の一覧表では、アプリを名前順(記号／アルファベット／五十音順)に記載しています。

アイコンの表示名	ページ
＋メッセージ(SMS)	P.38
Amazonショッピング 商品を調べたいときも、今すぐ買いたいときも。Amazonショッピングアプリは、「探す」「比べる」「買う」「受け取る」を簡単、便利にする機能で、お客様のお買い物をサポートします。	−
Apple Music 9,000万曲以上聴き放題。au・UQ mobileからApple Musicにご加入で6カ月間無料。	−
au 5Gチャンネル 「au 5Gチャンネル」は、XRコンテンツやバーチャル渋谷をはじめとするバーチャルシティなどによる先進的な体験から、ドラマ・アニメ、音楽、スポーツ、ゲーム、バラエティ、癒しなどさまざまなチャンネルで構成された厳選動画をザッピングするように視聴いただける体験まで、誰でも手軽に旬のエンタメをお楽しみ頂けるアプリです。また、お客さまが事前登録した生活圏が5Gエリア化された際にお知らせする機能や、5Gエリア限定コンテンツも提供予定です。	−
au PAY au PAYコード支払い、au PAYプリペイドカード、au PAYカードをより便利に使いこなすためのアプリです。 au PAY決済のご利用、au PAYカード情報確認、au PAY残高へのチャージ、チャージ残高、保有ポイント数、利用履歴、使えるお店・ポイントアップ店の確認などを、スマートフォンに最適化した画面でご利用いただけます。	−
au PAYマーケット 日用品・グルメ・ファッションから家電まで豊富な品ぞろえからお買い物が楽しめるKDDI公式の総合通販サイトです。	−
auじぶん銀行 スマートフォンならではのタッチパネル操作で、快適にお取引いただけます。	−
auスマートパス 「auスマートパスプレミアム／auスマートパス」を最大限活用するためのアプリです。おトクで、楽しく、あんしんなスマホライフを提供します。	−
auセルフケア お客さまの端末における設定状態の確認や設定の変更を支援するアプリです。	−
auメール	P.36
Chrome	P.42
Facebook 友達や家族などの親しい人々や、同じ興味・関心を持つ人々とのコミュニティとつながることができる無料の『実名制』コミュニケーションアプリです。	−
Files	P.53
Gmail	P.39
Google キーワードから本製品内やWebページを対象に検索できます。	−
Google TV	P.46
Instagram 写真や動画などのビジュアルを通して、友達や家族などの親しい人々やお気に入りのクリエイター、同じ興味・関心を持つ世界中の人たちとつながることができる無料のアプリです。	−
Keep メモ	P.50
Meet	P.49
My au 毎月のご請求額や、データ通信量(ギガ)、ご契約情報、ポイントなどが簡単に確認できるアプリです。各種お手続き、お問い合わせもスムーズに行えます。	P.47
My UQ mobile データ残量(ギガ)や月々のご請求額が確認できるUQ mobileご契約者様専用アプリです。データ消費せずに通信できる節約モードへの切り替えもワンタッチです。	P.48
Netflix 世界最大級の動画配信サービス。各種受賞作を含む幅広いジャンルの作品や、Netflixでしか観られないオリジナル作品が完全見放題！	−
OfficeSuite Word、Excelなどのファイルを閲覧できます。	−
Play ストア	P.48
Prime Video Amazonプライム©は、迅速で便利な配送特典や、プライム会員特典に含まれるPrime Video、Prime Music、Amazon Photos、Prime Reading等のデジタル特典を追加料金なしで使える会員制プログラムです。 © Copyright 2022 Amazon.com and its affiliates.	−
TELASA テレビ朝日の人気番組をはじめとする、ドラマ、バラエティ、アニメ、映画、特撮、スポーツ番組などあらゆるラインアップが見放題の動画配信サービスです。	−
TikTok TikTokは、世界中の動画を楽しめるショートムービープラットフォームです。おもしろ動画、グルメ、癒されペット、ためになる動画など豊富なジャンル。自分の好きな動画がきっと見つかります。	−
YouTube	P.49
YT Music 公式アルバム／ミュージックビデオ／リミックス／カバー／ライブ版の幅広い音楽コンテンツが楽しめます。	−
あんしんフィルター for au お子さまが「スマートフォン」「タブレット」などを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションの利用を制限するフィルタリングアプリです。	P.48
ウイルスブロック 不正なアプリのインストールを防止したり、不適切なサイトへのアクセスをブロックしたりできるアプリです。	−
遠隔操作サポート	P.79

アイコンの表示名	ページ
おサイフケータイ	P.47
音声レコーダー	P.50
カメラ	P.45
カレンダー	P.49
サービスToday ニュース、天気、乗換案内などはもちろん、プレゼントやクーポン、スマートフォンを楽しむためのおトクで便利な情報をお届け。	−
設定	P.60
使い方サポート 【かんたん診断機能】 タップ一つで気軽にスマートフォンの健康診断ができます。	P.78
デジラアプリ データ容量の残量が分かる、データ容量がなくなったらデータチャージ(データ容量の購入)が簡単にできるアプリです。	−
データお引っ越し 機種変更時などに写真やアドレス帳などのデータの移行を行うアプリです。	−
電卓	P.49
電話	P.30
電話帳	P.32
時計	P.49
ドライブ Google ドライブに保存したファイルを閲覧・編集できます。	−
取扱説明書 本製品の詳しい使いかたを確認できます。	P.1
フォト 撮影した静止画や動画を表示・編集したり、Googleのオンラインストレージにバックアップすることができます。	−
マップ	P.49
迷惑メッセージ・電話ブロック 迷惑SMS・電話からお客さまを守るサービスです。 架空請求などの迷惑SMSや迷惑電話を自動検知し、スマートフォンの画面に警告画面を表示したり、迷惑メッセージフォルダに自動振り分けをします。 また、公共施設や企業などからの着信時には、アドレス帳になくても発信元を自動表示します。	−

memo

◎ ご利用のSIMカードによって、表示されるアプリケーションが異なる場合があります。
◎ 一覧表に記載のアプリ以外にも、機種変更前にご利用・ご契約いただいたアプリがアプリケーション一覧に表示される場合があります。

Kyocera Confidential

カメラ

カメラをご利用になる前に

本製品はアウトカメラ／インカメラで静止画や動画の撮影ができます。
撮影した静止画や動画は、すべてmicroSDメモリカードまたは内部ストレージに保存されます。カメラ起動時にmicroSDメモリカードを挿入している場合、静止画や動画の保存先について確認画面が表示されることがあります。画面に従って保存先を設定してください。

- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本製品が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
  また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。本製品を動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。
- 動画を録画する場合は、送話口（マイク）を指などで覆わないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、送話口（マイク）の音声の品質が悪くなる場合があります。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - 強い逆光のもとにある被写体
  - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - 暗い場所にある被写体
  - 動きが速い被写体
- 撮影ライトを目に近づけて点灯させないでください。撮影ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のフォーカスロック音やシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- 本製品を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などをすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、私的使用目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- お客さまが本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- 位置情報が付加された写真をインターネット上にアップロードする場合、第三者に位置情報を知られる可能性がありますので、ご注意ください。
- 本製品が極端に高温になっている場合は、カメラを使用することができません。また、使用中は電池残量低下や温度上昇に応じてディスプレイの輝度が落ちる場合があります。

モニター画面の見かた

1 **ホーム画面→[◎]**

《モニター画面》

① **フラッシュ設定**
[A](オート)　[ON](ON)　[OFF](OFF)　[T](照明)

② **位置測位中／位置情報付加**
[GPS](位置測位中)　[GPS](測位成功)　[GPS](測位不可)

③ **設定アイコン**
カメラを設定します（▶P.45「カメラを設定する」）。

④ **電池レベル状態**
充電中や電池残量が20%以下になったときに表示されます。

⑤ **オートフォーカス枠**
タッチオートフォーカスしたときに表示されます。
※ 操作やカメラの状態によって表示が異なる場合があります。

⑥ **明るさ**
オートフォーカス枠と同時に表示されます。スライドして明るさを調整できます。

⑦ **ズーム**
「T」をタップするか、画面上で2本の指を広げたり狭めたりするとズームバーが表示され、ズームを調整できます。[◄](音量上ボタン)／[►](音量下ボタン)を押してズーム調整するように設定することもできます（▶P.45「カメラを設定する」）。

⑧ **モード切替**
撮影モードを切り替えます（▶P.46「撮影モードを切り替える」）。

⑨ **カメラ切替**
アウトカメラとインカメラを切り替えます。

⑩ **Google Lens**
かざした対象物の名前の確認やQRコードの読み取りができます。
- 利用するには、モバイルネットワークやWi-Fi®ネットワークに接続してください。

⑪ **撮影（シャッター）**
選択した撮影モード／設定により表示が変わります。
- シャッターを押している間は連写ができます。

⑫ **直前に撮影したデータ**
直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。タップするとデータを確認できます。

カメラを設定する

1 **モニター画面→[⚙]**
カメラ設定画面が表示されます。

2

フォトサイズ	静止画の撮影サイズを選択します。
オートHDR	露出レベルの異なる複数枚の写真を1枚の写真に合成することで、白飛びや黒つぶれを防いだ画像を撮影することができます。
連写	シャッターを押している間は連写するかどうかを設定します。
ビデオサイズ	動画の撮影サイズを選択します。
手振れ補正	手振れ補正の設定を切り替えます。
録画フォーマット	動画の録画フォーマットを選択します。
録音方式	音声の録音方式をモノラル／ステレオで切り替えます。
ミュート	音声なしで動画を撮影できます。
風切り音低減	動画撮影中に発生する風切り音を低減できます。
録画中割り込み防止	動画撮影中は通知による音とバイブレーションが撮影内容に入らないようにすることができます。
保存先	保存先を設定します。
位置情報付加	設定後に撮影したすべての静止画／動画に位置情報を付加します。
モード保持	前回終了時のモードで起動できます。
クイックSNS	モニター画面で上方向にスワイプすると、設定したアプリに最新の撮影データを連携できます。
セルフタイマー	セルフタイマーを設定します。設定した秒数が経過した後、静止画を撮影します。 「OFF」「2秒」「5秒」「10秒」 • カウントダウン中はカウントダウン音が鳴動し、撮影ライトが点滅します。 • カウントダウン中に[×]をタップすると、カウントダウンを中止します。
撮影補助ライン	撮影補助ラインを表示するかどうかを設定します。
QRコード読み取り	撮影画面で自動的にQRコード（バーコード）を認識し、読み取るかどうかを設定します。
音量ボタン	[◄](音量上ボタン)／[►](音量下ボタン)をズームで使用するか、静止画／録画シャッターで使用するかを設定します。
テーマ選択	カメラアプリのテーマを選択します。 「ライト」「ダーク」「システムのデフォルト」
カメラ機能ガイド	カメラの機能について確認できます。
初期設定に戻す	カメラの設定を初期状態に戻します。

※ 設定しているモードや本製品の状態によって、表示される設定項目が異なります。

Kyocera Confidential

撮影モードを切り替える

1 モニター画面→モード名をタップ

モニター画面またはモード名を左右にスライド／フリックしても撮影モードを切り替えることができます。

2

フォト	▶P.46「静止画を撮影する」
ビデオ	▶P.46「動画を録画する」
プロフォト／プロビデオ	自身で細かく設定して撮影（明るさ、シャッタースピードなど）できます。 • 「ISO（ISO）」か「（シャッタースピード）」をオート以外に設定すると、自動的に「（明るさ設定）」は「0」、「（フォーカス）」はマニュアルになります。 • 「（明るさ設定）」を「0」以外に設定すると、「ISO（ISO）」と「（シャッタースピード）」は自動的にオートになります。 • 「ISO（ISO）」か「（シャッタースピード）」をオートに設定すると、もう一方の設定もオートになります。 • 「ISO（ISO）」か「（シャッタースピード）」をマニュアルに設定すると、もう一方の設定もマニュアルになります。 • 「ISO（ISO）」か「（シャッタースピード）」をオート以外に設定すると、フラッシュが使用できなくなります。 • 「（フォーカス）」がオートに設定されているときに、「ISO（ISO）」か「（シャッタースピード）」をオート以外に設定すると、「（フォーカス）」はマニュアルになります。

※ 設定しているモードや本製品の状態によって、表示されるモードが異なります。

静止画を撮影／動画を録画する

静止画を撮影する

1 モニター画面→[フォト]→画面をタップ

タップしたところにピントが合います。

• モニター画面をロングタッチするとフォーカスロックされます。

2 [◯]

撮影したデータは自動的に保存されます。

動画を録画する

1 モニター画面→[ビデオ]→[●]

録画が開始されます。

• 録画中に「◯」をタップすると、静止画を撮影できます。

2 [●]

録画が停止します。録画したデータは自動的に保存されます。

memo

◎ モニター画面で約2分間何も操作しないと、カメラが終了します。

◎ 常時、オートフォーカスが動作し、自動でピントを合わせるコンティニュアスAF機能を搭載しておりますが、被写体によっては、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。

◎ 炎天下などで動画を録画している場合、本体の温度上昇によるやけどや故障を防ぐため、録画を停止する場合があります。

QRコード・バーコードリーダーを利用する

カメラを利用して、QRコードやバーコードを読み取ることができます。
読み取った内容は、WEBサイト表示などに利用できます。

1 ホーム画面→[◎]→[フォト]

2 QRコード／バーコードをカメラに写す

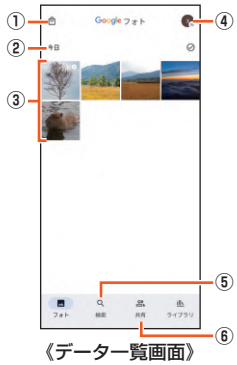
QRコード／バーコードの内容を読み取ったポップアップが表示されます。
ポップアップをタップすると、WEBサイト表示などを利用することができます。

memo

◎ QRコード／バーコードとの距離が近すぎると、読み取りできない場合がありますので、カメラを近づけ過ぎないようにしてください。

静止画／動画を再生する

1 ホーム画面→[]



《データー覧画面》

①**写真プリント**
近くのセブン-イレブンで印刷してお支払いができます。
② **データ作成時期**
③ **保存データ**
④ **アカウントメニュー**
Google アカウントの管理、「フォト」アプリの設定、ヘルプやプライバシーポリシー、利用規約の確認ができます。
⑤ **写真を検索**
⑥ **共有**
共有パートナーアカウントの設定や、共有された写真の確認ができます。

2 データを選択

データが再生されます。

memo

◎「フォト」アプリで表示されるデータの中には、再生できないものもあります。

Google TV

Google TVを利用する

Google Playで映画をレンタルしたり、保存した動画を視聴したりできます。

• ビデオの利用にはGoogle アカウントの設定が必要です。詳しくは、「Google アカウントをセットアップする」（▶P.20）をご参照ください。

1 ホーム画面→[Google]→[Google TV]

2 視聴する動画をタップ

画面の指示に従って操作してください。

Kyocera Confidential

NFC／おサイフケータイ®

おサイフケータイ®とは

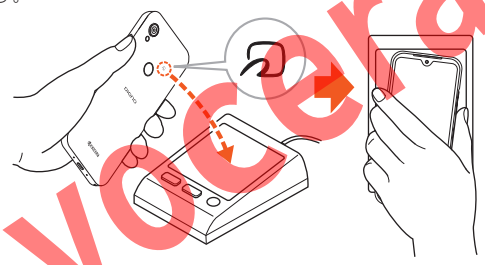
おサイフケータイ®とは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。
NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCa®機能やリーダー／ライター（R/W）機能などが本製品でご利用いただけます。
おサイフケータイ®を利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービス提供会社のおサイフケータイ®対応アプリをダウンロードする必要があります。
おサイフケータイ®対応サービスのご利用にあたっては、au電話に搭載されたFeliCaチップへ、サービスのご利用に必要となるデータを書き込む場合があります。
なお、ご利用にあたっては、auホームページをあわせてご参照ください。
https://www.au.com/mobile/service/osaifu/support/caution/

おサイフケータイ®のご利用にあたって

- 本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、おサイフケータイ®のロックをおすすめします（▶P.47）。
- 紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客さまにて十分ご留意の上管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。NFC機能をオフに設定している場合はNFC機能をオンにした上で電源をお切りください。
- おサイフケータイ®対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客さまにFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FeliCaチップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけないことがあります。
- おサイフケータイ®対応アプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。

リーダー／ライターとデータをやりとりする

マークをリーダー／ライターにかざすだけで、FeliCaチップ内のデータをやりとりできます。



- マークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- マークをリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- マークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- マークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

memo

◎ おサイフケータイ®対応アプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。
◎ 本体の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし電池残量がない場合はご利用できません。その場合は充電後に一度本体の電源を入れることでご利用になれます。
◎ NFC機能をオフにしている場合はご利用いただけません。

NFC機能を設定する

■ NFC機能をオンにする

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[NFC／おサイフケータイ設定]

2 「NFC／おサイフケータイ」を有効にする
NFC機能が有効になります。NFC機能を有効にすると、おサイフケータイ®対応サービスの全てが利用できます。

memo

◎「おサイフケータイ」アプリの[]→[NFC／おサイフケータイ設定]と操作してもNFC／おサイフケータイ設定画面を表示することができます。
◎ NFC機能がオフ中に電池が切れると、NFC機能をオンにできなくなります。電池残量にご注意ください。充電が切れた場合は、充電後にNFC機能をオンにしてください。

■ NFC機能をオフにする

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[NFC／おサイフケータイ設定]

2 「NFC／おサイフケータイ」を無効にする
NFC機能をオフにすると、おサイフケータイ®対応サービスの利用を制限できます。これにより、おサイフケータイ®対応サービスの機能がロックされます。

画面ロック連動機能を設定する

NFC機能がオンの場合に「画面ロック中はロック」をオンにすると、画面ロック時および画面消灯時にNFC機能が自動的にオフになります。画面ロック解除時にNFC機能は自動的にオンに戻ります。

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[NFC／おサイフケータイ設定]

2 「画面ロック中はロック」を有効にする

FeliCa®に対応したサービスを利用する

「おサイフケータイ」アプリから対応サービスを利用できます。

1 ホーム画面を上にスワイプ→[おサイフケータイ]
サービス一覧が表示されます。
初期設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 利用したいサービスを選択
サービスに対応したアプリをダウンロードしてから、またはサービス紹介サイトから、画面の指示に従って操作してください。

My au

My auを利用する

月々のご請求額やデータ残量（ギガ）を簡単に確認できるほか、料金プランやオプションサービスなどの申し込み・変更手続きができます。

1 ホーム画面→[au]→[My au]
My auのホーム画面が表示されます。
・初めて起動したときは、画面の指示に従ってログインしてください。

2 確認する項目を選択する
データ利用量、ご請求額、Pontaポイントやau PAY残高などの確認や、プラン変更など各種お手続きができます。

memo

◎ 困ったときやご契約内容の確認・変更は、My auのホーム画面右上の「」をタップし、メッセージサポート画面からお問い合わせください。24時間いつでもお気軽にお問い合わせできます。

Kyocera Confidential

My UQ mobile

My UQ mobileを設定する

データ残量の確認や節約モードへの切り替え、データチャージができます。また、月々のご請求額の確認や料金プラン、オプションサービスの確認・変更もできます。
※ 本アプリはUQ mobileご契約者様専用です。

1 ホーム画面を上にスワイプ→[My UQ mobile]
My UQ mobileのトップ画面が表示されます。
・初めて起動した時は、画面の指示に従ってログインしてください。

2 確認する項目を選択する
データ残量、ご請求額の確認や節約モードへの切り替えや各種お手続きが可能です。

memo
◎ My UQ mobileの詳細については、UQ mobileホームページをご参照ください。
https://www.uqwimax.jp/mobile/plan/portal_app/
◎ 操作方法や画面表示は予告なく変更される場合があります。

あんしんフィルター for au

あんしんフィルター for auを利用する

お子さまにスマートフォンを安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブサイトへのアクセスやアプリの利用を制限するフィルタリングサービスです。
お子さまの年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」・「高校生プラス」の4段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のウェブサイトやアプリの制限／許可を保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。
また、保護者が夜間などスマートフォンのご利用を制限したり、お子さまの居場所を確認したりすることもできます。

1 ホーム画面を上にスワイプ→[auサービス]→[あんしんフィルター for au]
初めて起動したときは、アクセス権限の同意画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

2 [この電話番号でログイン]
画面の指示に従って操作してください。
※ ご利用になるお子さまの電話番号でログインしてください。

3 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力
仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

4 フィルタリングの強度を選択

小学生	スマホを初めて使うお子さまや操作に少し慣れたお子さま向け ＜制限対象＞ ゲーム／動画／音楽、懸賞、成人娯楽、SNS／掲示板、出会い、アダルトなど
中学生	スマホの操作におおむね慣れたお子さま向け ＜制限対象＞ 懸賞、成人娯楽、SNS／掲示板、出会い、アダルトなど
高校生	スマホ利用のルールやマナー、危険性を理解したお子さま向け ＜制限対象＞ SNS／掲示板、出会い、アダルトなど
高校生プラス	SNS利用のルールやマナー、危険性を理解したお子さま向け ＜制限対象＞ 出会い、アダルトなど

5 [規約に同意してサービスを利用開始する]
利用規約を必ずご確認ください。

6 「位置情報、利用情報の取得・利用について」の内容を確認→[はい]
「いいえ」を選択するとエリア検索など一部の機能が利用できません。

7 「利用登録が完了しました」の表示を確認→[OK]
「デバイス管理アプリ」を有効にする画面が表示されます。

8 [このデバイス管理アプリを有効にする]

9 「よく使うアプリの設定」で利用したいアプリを選択→[設定する]
事前に利用したいアプリを許可してください。

10 SNS利用の危険性について確認→[確認しました]

11 [同意して設定する]→[ダウンロードしたアプリ]→「あんしんフィルター for au アプリ規制」をタップし、「あんしんフィルター for au アプリ規制」の「OFF」をタップして「ON」にする

12 「あんしんフィルター for au アプリ規制 にデバイスのフルコントロールを許可しますか？」の内容を確認→[許可]

13 設定完了
ウェブサイトが表示されます。
以降は「あんしんフィルターアプリ」をブラウザアプリとしてご利用ください。

■ 管理者情報を登録する

お子さまのスマホで設定してください。

1 ホーム画面を上にスワイプ→[auサービス]→[あんしんフィルター for au]

2 画面上の「ここをタップして、あんしんフィルター for auの管理者IDを登録してください。」の表示をタップ

3 仮パスワードを入力→[仮パスワードを照会する]

4 管理者IDを入力→管理者ID(確認)を入力→[管理者ID確認へ進む]
管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 [申請する]
管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→[管理者登録を行う]→[OK]

memo
◎ 管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

■ 管理者ページを利用する

保護者の方のPCまたはスマホからご利用ください。保護者が遠隔で、お子さまのスマホの設定を行うことができます。

1 メールで受信した「管理者ページURLのご連絡」に記載している管理者ページのURLをタップ
https://anshin-access.netstar-inc.com/

2 管理者IDとパスワードを入力→[ログイン]

3 管理者メニューを表示
＜主な機能＞
・フィルタリング強度の変更
・個別のウェブサイトやアプリの制限／許可設定
・利用時間帯の設定
・利用状況の確認
・エリア検索

memo
◎ 詳しくは、auホームページをご参照ください。
https://www.au.com/mobile/service/anshin-filter/

Androidアプリ

Google Playを利用する

・Google Playの利用にはGoogle アカウントの設定が必要です。

アプリを検索し、インストールする

1 ホーム画面→[Play ストア]
Google Play画面が表示されます。
利用規約画面が表示された場合は、内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

■ 有料のアプリを購入するときは

アプリが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。
・アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後のアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。

アプリケーションを管理する

提供元不明のアプリのダウンロード

提供元不明のアプリをダウンロードする前に、本製品の設定でダウンロードを許可する必要があります。

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[アプリ]→[特別なアプリアクセス]→[不明なアプリのインストール]

2 設定するアプリをタップ→「この提供元のアプリを許可」をタップしてON／OFFを設定する

インストールされたアプリの削除

アプリによっては削除できないものもあります。

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[アプリ]

2 [すべてのアプリ]／[XX個 のアプリをすべて表示]
表示される項目は、端末の状態によって異なります。

3 アプリをタップ→[アンイストール]→[OK]

Kyocera Confidential

YouTube

YouTubeを利用する

Googleが提供するオンライン動画ストリーミングサービス「YouTube」を利用して、動画の再生や、キーワード入力による動画検索、カテゴリ別表示、撮影した動画のアップロードができます。

1 ホーム画面→[Google]→[YouTube]
新機能の紹介画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 再生する動画を選択

memo
◎ 動画をアップロードするには、YouTubeへのログインが必要になります。あらかじめGoogle アカウントを取得してください。
◎ YouTubeの詳細については、YouTube画面→アカウントのアイコンをタップ→[ヘルプとフィードバック]と操作してご確認ください。

Googleサービス

Meetを利用する

Meetはビデオ通話とビデオ会議を利用できるサービスです。
• Meetの利用には、Google アカウントが必要です。詳しくは、「Google アカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。

Meetにログインする

1 ホーム画面→[Google]→[Meet]
Google アカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

memo
◎ Meetの詳細については、Meetの画面→[⋮]→[ヘルプとフィードバック]と操作してご確認ください。

Google マップを利用する

Google マップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。Google マップを起動すると、近くの基地局からの情報によって、おおよその現在地が表示されます。GPS受信機が現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。

1 ホーム画面→[Google]→[マップ]
Google マップ画面が表示されます。
• アカウントのアイコンをタップ→[ヘルプとフィードバック]と操作して操作方法の詳細を確認できます。
• メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

memo
◎ Google マップで現在地の確認や目的地の検索などを行うには、あらかじめデータ通信／GPS機能を有効にする必要があります。
◎ 指定の充電用機器(別売)やUSB Type-Cケーブル(市販品)による充電中は、電流による磁気が影響し、地磁気センサーが正常に動作しないことがあります。ケーブル類から外してご使用ください。
◎ 方位計の値は絶対的なものではありません。方位計の誤差が小さくなるよう設計しておりますが、環境によりさまざまな変動要因及び誤差が発生するため、正確な方位を保証するものではありません。あくまで方位の目安としてご使用ください。
◎ 方位計は、地球の微小な磁場を感知して方位を算出しています。以下の場所では、計測の障害になったり、誤差が大きく発生したりする場合がありますので、それらがない場所に移動してから計測してください。
• 建物(特に鉄筋コンクリート造り)、大きな金属の物体(電車、自動車)、高圧線、架線など、金属(鉄製の机、ロッカーなど)、家庭電化製品(テレビ、パソコン、スピーカーなど)、永久磁気(磁気ネックレスなど)
◎ 地磁気の弱い場所では方位計測に影響する場合があります。
◎ 以下の場合は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがあります。
• 方位計の起動直後や、本製品を強い磁力に近づけた場合
• 急激な温度変化を伴う環境に長時間置いた場合
• 本製品が磁気を帯びた場合
◎ Googleにより最新のサービス、機能が提供される場合があります。

カレンダー

カレンダーを利用する

カレンダーをスケジュール、1日、3日、1週間、1ヶ月で表示することができます。
• カレンダーの利用にはGoogle アカウントが必要です。Google アカウント設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。Google アカウントの設定については、「Google アカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。

1 ホーム画面→[Google]→[カレンダー]
カレンダー画面が表示されます。
• [≡]→[ヘルプとフィードバック]と操作して操作方法の詳細を確認できます。
• 説明画面が表示されたら、画面の指示に従って操作してください。

時計

時計を利用する

アラームや時計、タイマー、ストップウォッチを利用することができます。

1 ホーム画面→[Google]→[時計]
• 説明画面が表示されたら、画面の指示に従って操作してください。

2

(アラーム)	指定した時刻をアラーム音やバイブレータでお知らせできます。アラームの繰り返しを曜日で指定することもできます。
(時計)	日付や時間を確認できます。複数の都市の日付や時間を確認することもできます。
(タイマー)	タイマーを利用できます。指定した時間をタイマー音でお知らせできます。
(ストップウォッチ)	ストップウォッチを利用できます。ラップタイムを計測することもできます。
(おやすみ時間)	指定した就寝時間中は消音、画面をモノクロに切り替えるなどの、快適で規則正しい睡眠のための設定ができます。

電卓

電卓を利用する

電卓を利用できます。

1 ホーム画面→[Google]→[電卓]
電卓画面が表示されます。
「AC」:計算結果を消去します。
「⌫」:最後に入力した数字／記号を消去します。

Kyocera Confidential

Keep メモ

Keep メモを利用する

「Keep メモ」はGoogleが提供するメモアプリです。Keep メモのご利用には、Google アカウントが必要です。

1 ホーム画面→[Google]→[Keep メモ]
メモ一覧画面が表示されます。
- メモ一覧画面で「≡」をタップすると、新しいラベルの作成や設定などの操作ができます。また、「メモを検索」をタップして検索ワードを入力すると登録したメモを検索できます。

2 [+]→タイトルとメモを入力→[←]
メモが保存されます。

メモを確認／編集する

1 メモ一覧画面→メモをタップ
メモ詳細画面が表示されます。
タイトルまたはメモをタップするとメモ入力画面に切り替わり、タイトルやメモを編集できます。
- メモ詳細画面では次の操作ができます。
  - :メモを固定します。
  - :リマインダーを追加します。
  - :メモをアーカイブします。
  - :写真の選択や録音などの操作ができます。
  - :色や背景などの設定ができます。
  - :削除やコピーの作成などの操作ができます。

memo
◎ メモ詳細画面の電話番号／メールアドレス／URLをタップまたはロングタッチすると、発信、SMSの作成、メールの作成、Chromeでサイトの表示などが行えます。

メモを選択して削除する

1 メモ一覧画面→削除するメモを選択

2 [⋮]→[削除]
メモはゴミ箱に移動され、7日後に削除されます。

音声レコーダー

音声レコーダーを利用する

1 ホーム画面を上にスワイプ→[音声レコーダー]
音声レコーダー画面が表示されます。

2 [●]
録音が開始されます。

3 [■]
録音が停止され、録音した音声が保存されます。
- 「⏸」をタップすると録音を一時停止することができます。録音を再開する場合は「●」をタップしてください。
- 録音を停止すると再生画面が表示され、「▶」をタップすると録音した音声を再生して確認できます。
- 音声レコーダー画面→[⋮]→[ファイル形式]／[保存先]と操作すると、録音した音声データの録音ファイル形式や保存先を設定できます。

memo
◎ お使いの機器によっては、Bluetooth®機能で接続しているマイクから録音できないことがあります。その場合は、本製品の送話口（マイク）で録音してください。
◎ 録音中に音声着信すると、録音が一時停止されます。

音声を再生する

1 音声レコーダー画面→[≡]
音声データ一覧画面が表示されます。
- 音声データの「⋮」をタップすると、音声データの共有や削除、ファイル名の編集、詳細情報の表示を行うことができます。

2 音声データをタップ
再生画面が表示され、音声の再生が開始されます。
- 再生画面→[⋮]→[削除]／[共有]と操作すると、音声データを削除したり共有したりすることができます。
- 再生画面で再生中／一時停止中に「⏪」／「⏩」をロングタッチすると、再生の巻き戻し／早送りができます。

音声データを選択して削除する

1 音声データー覧画面→[🗑]

2 削除する音声データを選択→[OK]→[OK]
- [すべて選択]→[OK]→[OK]と操作すると、すべての音声データを削除することができます。

簡易ライト

簡易ライトを利用する

簡易ライトを利用できます。

1 ステータスバーを下にスライド

2 [ライト]
簡易ライトが点灯／消灯します。

memo
◎ 簡易ライトを目に近づけて点灯させないでください。また、簡易ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様に簡易ライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
◎ カメラ起動中は使用できません。
◎ ご使用時は電池の減りにご注意ください。

Kyocera Confidential

ファイル管理

ファイル管理 **52**
本製品の保存領域について 52
microSDメモリカードを利用する 52
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す 52
USB Type-Cケーブル（市販品）でパソコンと接続する 53
メモリの使用量を確認する 53
microSDメモリカードを初期化する 53
USBホスト機能を利用する 53
Files **53**
データをコピー／移動する 53

Kyocera Confidential

ファイル管理

本製品の保存領域について

本製品は、本体メモリ（内部ストレージ、内部共有ストレージ）とmicroSDメモリカード（SDカード）にデータを保存することができます。

本体メモリ	アプリや各アプリが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。
microSDメモリカード	メディアファイルなどを保存します。

memo

◎ アプリによってはmicroSDメモリカードに保存するメニューやメッセージが表示されても、本体メモリに保存される場合があります。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード（microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む）を本製品に取り付けることにより、データを保存／移動／コピーすることができます。
また、microSDメモリカードを、内部ストレージとして使用することもできます。

memo

◎ 他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品で初期化してください。初期化する方法については、「microSDメモリカードを初期化する」（▶P.53）をご参照ください。
◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行えても本製品で再生できない場合があります。
◎ microSDXCメモリカードはSDXC対応機器でのみご使用いただけます。万一、SDXC非対応の機器にmicroSDXCメモリカードを差し込んだ場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットはしないでください。
SDXC非対応の機器でmicroSDXCメモリカードをフォーマットした場合、microSDXCメモリカードからデータが失われ、異なるファイルシステムに書き換えられます。また、microSDXCメモリカード本来の容量で使用できなくなることがあります。

■ 取扱上のご注意

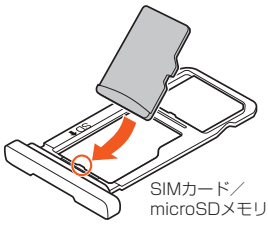
- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- microSDメモリカードを取り付けている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えたりしないでください。記録したデータが壊れる（消去される）ことがあります。
- SIMカード／microSDメモリカードスロットには、液体、金属片、燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

microSDメモリカードを取り付ける／取り外す

microSDメモリカードを取り付ける

1 SIMカード／microSDメモリカードトレイをまっすぐに引き出す（▶P.17）

2 microSDメモリカードの端子（金属）面を下にしてSIMカード／microSDメモリカードトレイにはめ込む
microSDメモリカードがSIMカード／microSDメモリカードトレイから浮かないようにはめ込んでください。



SIMカード／
microSDメモリカードトレイ

3 SIMカード／microSDメモリカードトレイを本体に差し込んで、奥までまっすぐ押し込む（▶P.17）
トレイが浮いていることのないように確実に閉じてください。

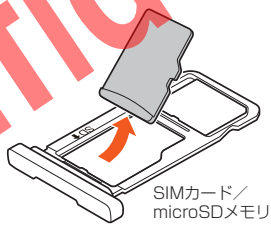
memo

◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。
無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損したりするおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

1 SIMカード／microSDメモリカードトレイをまっすぐに引き出す（▶P.17）

2 microSDメモリカードをSIMカード／microSDメモリカードトレイから取り外す



SIMカード／
microSDメモリカードトレイ

3 SIMカード／microSDメモリカードトレイを本体に差し込んで、奥までまっすぐ押し込む（▶P.17）
トレイが浮いていることのないように確実に閉じてください。

memo

◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

Kyocera Confidential

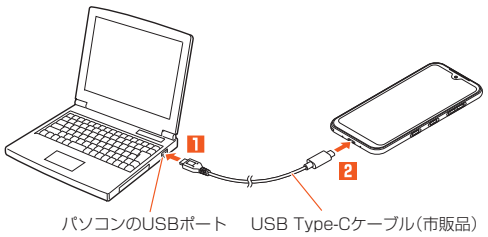
USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと接続する

本製品とパソコンをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続すると、本製品の内部ストレージ、microSDメモリカード内のデータを読み書きできます。また、音楽／動画データの転送も可能です。

1 パソコンが完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル(市販品)をパソコンのUSBポートに接続

2 本製品が完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込む

USB Type-Cプラグは表裏どちらの向きでも差し込むことができます。



3 「ファイル転送を有効にする」で「OK」をタップ

■ 内部ストレージやmicroSDメモリカード内のデータをパソコンで操作する

- あらかじめパソコンと本製品を接続してください。

1 パソコンから本製品を開く

内部ストレージを操作する場合は、「内部共有ストレージ」を開いてください。

2 パソコンを操作してデータを転送

3 転送終了後、USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品から取り外す

USB Type-Cケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜いてください。

メモリの使用量を確認する

内部ストレージ、microSDメモリカードの合計容量や空き容量を確認できます。

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[ストレージ]

2

このデバイス	内部ストレージの合計容量／空き容量が確認できます。
SDカード	microSDメモリカードの合計容量／空き容量が確認できます。※

※ メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。

microSDメモリカードを初期化する

microSDメモリカードを初期化すると、microSDメモリカードに保存されているデータ(アプリを含む)はすべて削除されます。

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[ストレージ]

2 [SDカード]→[⋮]→[フォーマット]

3 [SDカードをフォーマット]→[完了]

memo

◎ 初期化は充電しながら行うか、電池が十分に充電された状態で行ってください。

USBホスト機能を利用する

本製品にはUSBホスト機能が搭載されています。周辺機器接続用USBケーブル(市販品)を外部接続端子に接続することで、USB機器(市販品)を利用することができます。

- USBホスト機能を使用する前に本製品を充電してください。
- 消費電力の大きなUSB機器を接続する場合、本製品の動作状態や電池残量、周囲温度によっては自動的に本製品の電源が切れることがあります。

1 本製品の外部接続端子に周辺機器接続用USBケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグを差し込む

2 周辺機器接続用USBケーブル(市販品)にUSB機器を接続する

memo

◎ すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。

Files

データをコピー／移動する

「Files」を利用してデータのコピー／移動などができます。

1 ホーム画面→[Google]→[Files]

2 [見る]→[内部ストレージ]／[SDカード]

3 フォルダを選択→コピー／移動するファイルの[⋮]

4 [移動]／[コピー]→[内部ストレージ]／[SDカード]

5 移動／コピー先のフォルダを選択→[ここにコピー]／[ここに移動]

Kyocera Confidential

Kyocera Confidential

データ通信

Bluetooth®機能 56
Bluetooth®機能について 56
Bluetooth®機能をオンにする 56
Bluetooth®機器を登録する 56
Bluetooth®機能でデータを送受信する 56
無線LAN(Wi-Fi®)機能 56
無線LAN(Wi-Fi®)機能について 56
Wi-Fi®機能をオンにする 56
Wi-Fi®ネットワークに接続する 57
Wi-Fi®機能を切断する 57
Wi-Fi®機能の詳細設定をする 57
Wi-Fi Direct®を設定する 57
テザリング機能 57
テザリングについて 57
Wi-Fi®テザリング機能を利用する 57
USBテザリング機能を利用する 57
Bluetooth®テザリング機能を利用する 57

Kyocera Confidential

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能について

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®機器とワイヤレス接続できる技術です。Bluetooth®機器と通信するには、Bluetooth®機能をオンにする必要があります。また、必要に応じて本製品とBluetooth®機器のペアリング(登録)を行ってください。

memo

◎ 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。従って、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Bluetooth®機能をオンにする

本製品でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機能をオンに設定します。
他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。
• 他のBluetooth®機器からの接続を受けるには、本製品をあらかじめ他の機器から検出可能に設定しておく必要があります(▶P.56)。

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[Bluetooth]
Bluetooth®設定画面が表示されます。

2 「Bluetooth を使用」をオンにする

memo

◎ Bluetooth®機能のオン/オフ設定は、電源を切っても変更されません。
◎ Bluetooth®機能は本製品の電源を切った状態では利用できません。
◎ Bluetooth®機能をオンにすると、電池の消費が早くなります。使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth®機能をオフにしてください。

Bluetooth®機器を登録する

本製品と他のBluetooth®機器を接続するには、あらかじめペアリング(登録)を行います。
• 機器によって、ペアリングのみ行う場合と、続けて接続まで行う場合があります。

1 Bluetooth®設定画面→「Bluetooth を使用」をオンにする

2 [新しいデバイスとペア設定する]
検出されたBluetooth®デバイス名が一覧表示されます。

3 ペアリングを行うBluetooth®デバイス名を選択

4 画面の指示に従って操作
ペア設定コード入力画面が表示されたときは、本製品とBluetooth®機器で同じペア設定コードを入力します。

memo

◎ Bluetooth®機器との接続中には、他のBluetooth®機器を登録できない場合があります。
◎ ペアリングを行うデバイス側で、Bluetooth®機能が有効になっていることとBluetooth®検出機能がオンになっていることを確認してください。

■ ペア設定コードについて

ペア設定コードは、Bluetooth®機器どうしが初めて通信するときに、お互いに接続を許可するために、本製品およびBluetooth®機器で確認する暗証番号です。

memo

◎ ペア設定コード入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
◎ 接続する機器によっては、毎回ペア設定コードの入力が必要な場合があります。

他のBluetooth®機器から検出可能にする

1 Bluetooth®設定画面→「Bluetooth を使用」をオンにする

2 [新しいデバイスとペア設定する]
• 他のBluetooth®機器から検出可能になります。

■ 他のBluetooth®機器からペアリング要求を受けた場合

ペアリングを要求された場合は、必要に応じて「ペアに設定して接続」または「ペア設定する」をタップするか、ペア設定コードを入力してBluetooth®機器を認証します。

Bluetooth®機器の接続を解除する

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[接続済みのデバイス]→[すべて表示]→接続を解除するBluetooth®デバイス名の[⚙]→[削除]→[このデバイスとのペア設定を解除]

Bluetooth®機能でデータを送受信する

あらかじめ本製品のBluetooth®機能をオンにしてください。

Bluetooth®機能でデータを送信する

連絡先、静止画、動画、音楽などのファイルを、他のBluetooth®機器に送信できます。
• 送信は各アプリの「<」や「⋮」などから行ってください。

Bluetooth®機能でデータを受信する

1 他のBluetooth®機器からデータ送信
ステータスバーに「ᛒ」が表示されます。

2 ステータスバーを下にスライド

3 「着信ファイル」の[承諾]
ステータスバーに「↓」が表示され、データの受信が開始されます。
通知パネルのお知らせで受信状態を確認できます。

無線LAN(Wi-Fi®)機能

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。

memo

◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN(Wi-Fi®)親機(Wi-Fi®ネットワーク)をご用意ください。
◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi®ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。
公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
◎ 無線LAN(Wi-Fi®)機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客さまの判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fi®機能をオンにする

Wi-Fi®機能を使用するには、Wi-Fi®機能をオンにしてから利用可能なWi-Fi®ネットワークを検索して接続します。

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[インターネット]→「Wi-Fi」をオンにする
Wi-Fi®機能が起動し、利用可能なWi-Fi®ネットワークがスキャンされます。
Wi-Fi®機能がオンになるまで、時間がかかる場合があります。

memo

◎ Wi-Fi®機能がオンのときでもデータ通信を利用できます。ただしWi-Fi®ネットワーク接続中は、Wi-Fi®機能が優先されます。
◎ Wi-Fi®ネットワークが切断されると、自動的にデータ通信に切り替わります。
◎ Wi-Fi®機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。
Wi-Fi®ネットワークの電波強度は、本製品をお使いの位置によって異なります。
Wi-Fi®ルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

Kyocera Confidential

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[インターネット]→「Wi-Fi」をオンにする

Wi-Fi®設定画面が表示され、利用可能なWi-Fi®ネットワークが一覧表示されます。

2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択→[接続]

- セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)※を入力し、「接続」をタップします。
  ※パスワード(セキュリティキー)は、アクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 接続が完了すると、ステータスバーに[▼]が表示されます。

memo

◎ Wi-Fi®設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをタップすると、ネットワーク情報の詳細が表示されます。
◎ お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。
◎ QRコードを利用してWi-Fi®ネットワークに接続することや、接続情報を共有することができます。

Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する

1 Wi-Fi®設定画面→[ネットワークを追加]

2 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワークSSIDを入力

3 セキュリティを選択

必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。

4 [保存]

memo

◎ 手動でWi-Fi®ネットワークを追加する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

Wi-Fi®ネットワークをQRコードで追加する

1 Wi-Fi®設定画面→「ネットワークを追加」の[▦]

2 本製品のカメラにWi-FiネットワークのQRコードを写す

Wi-Fi®機能を切断する

1 Wi-Fi®設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークを選択

2 [削除]

memo

◎ 切断すると、再接続のときにパスワード(セキュリティキー)の入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi®機能の詳細設定をする

1 Wi-Fi®設定画面→[ネットワーク設定]

2 必要な項目を設定

Wi-Fi を自動的にONにする	保存済みのネットワークの検出時にWi-Fi®をONにするかどうかを設定します。
利用可能なパブリック ネットワークを通知する	公衆無線LANが利用可能なときに通知するかどうかを設定します。
証明書をインストール	Wi-Fi®認証用の証明書をインストールします。
Wi-Fi Direct	▶P.57「Wi-Fi Direct®を設定する」
高度なWi-Fi設定	未接続状態のスキャン間隔、およびWi-Fiでインターネットに接続できないときにモバイルネットワークを使用するかどうかを設定します。

Wi-Fi Direct®を設定する

Wi-Fi Direct®対応デバイスどうしを接続するように設定できます。

1 Wi-Fi®設定画面→[ネットワーク設定]→[Wi-Fi Direct]

デバイス一覧画面が表示されます。

- 接続要求を出す場合は、デバイス一覧画面から接続先を選択し、画面の指示に従って操作します。接続を切断する場合は、接続済みのデバイスをタップして切断します。
- [⋮]→[デバイスの検索]と操作すると、デバイス一覧を更新できます。
- [⋮]→[デバイス名を変更]と操作すると、デバイス側で表示される本製品の名前を変更できます。

テザリング機能

テザリングについて

テザリングとは、本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続することができる機能です。無線LAN(Wi-Fi®)機器を最大10台まで接続したり、USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと本製品を接続したり、Bluetooth®機器を最大4台まで接続して、インターネットに接続することもできます。

memo

◎ テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

Wi-Fi®テザリング機能を利用する

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]

2

Wi-Fi アクセスポイント	本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続し、セットアップと管理をします。

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」をタップしてください。
「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。

memo

◎ 「Wi-Fiテザリング」で「セキュリティ」を「なし」にすると、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。

USBテザリング機能を利用する

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]

2

USB テザリング	USB経由でテザリングします。 あらかじめ「USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと接続する」(▶P.53)を参照してパソコンと接続してください。

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」をタップしてください。
「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。

memo

◎ USBテザリング機能をオフにする場合は、操作2で「USBテザリング」を再度タップして「OFF」にするか、USB Type-Cケーブル(市販品)を抜いてください。

Bluetooth®テザリング機能を利用する

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]

2

Bluetooth テザリング	本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続します。 Bluetoothペアリングについては「Bluetooth®機器を登録する」(▶P.56)を参照してください。

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」をタップしてください。
「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。

Kyocera Confidential

Kyocera Confidential

機能設定

機能設定 **60**
設定メニューを表示する 60
ネットワークとインターネットの設定をする 60
接続済みのデバイスの設定をする 61
アプリの設定をする 61
通知の設定をする 62
電池使用量を表示する 62
ダイレクトボタンの設定をする 62
ストレージに関する設定をする 62
音とバイブレーションの設定をする 62
画面の設定をする 63
ユーザー補助の設定をする 63
セキュリティの設定をする 64
位置情報の設定をする 64
緊急情報と緊急通報の設定をする 64
パスワードとアカウントの設定をする 64
Googleの設定をする 65
システムの設定をする 65
デバイス情報に関する設定をする 66

Kyocera Confidential

機能設定

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズや、セキュリティの設定、データの初期化などをすることができます。

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]
設定メニューが表示されます。

■ 設定メニュー項目一覧

項目	設定内容	参照先
プロフィール	プロフィールの表示や登録を行います。	P.31
ネットワークとインターネット	Wi-Fi®や機内モード、テザリングなどネットワークについて設定します。	P.60
接続済みのデバイス	Bluetooth®やNFCなど本製品と接続する機器について設定します。	P.61
アプリ	アプリの名前やバージョン、メモリの使用状況などの確認、有効／無効の設定、アンインストールなどアプリに関する設定や、通知のブロックやスタート画面に表示する通知など、通知に関する設定を行います。	P.61
通知	通知の管理などの設定します。	P.62
バッテリー	電池残量や使用量を表示します。また、バッテリーセーバーなどの設定ができます。	P.62
ダイレクトボタン	ダイレクトボタンの動作を設定します。	P.62
ストレージ	本製品本体内やmicroSDメモリカードのメモリ容量の確認、microSDメモリカードの初期化を行います。	P.62
着信音とバイブレーション	マナーモードやバイブレータ（振動）、着信音、通知音、操作音など、音に関する設定を行います。	P.62
ディスプレイ	明るさや壁紙、画面の向き、フォントなど、画面表示に関する設定を行います。	P.63
壁紙とスタイル	画面の壁紙やモードを設定します。	－
ホーム切替	ホーム画面を切り替えます。	P.23
ユーザー補助	ユーザー補助サービスの設定を行います。	P.63
セキュリティ	セキュリティの設定を行います。	P.64
プライバシー	権限やアカウント アクティビティなど、プライバシーに関する設定を行います。	－
位置情報	無線LAN（Wi-Fi®）機能やGPS機能などを使った位置情報に関する設定を行います。	P.64
緊急情報と緊急通報	緊急速報メールや緊急時情報などの設定を行います。	P.64
パスワードとアカウント	オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。	P.64
Digital Wellbeingと保護者による使用制限	本製品の使用状況を1日単位で確認できます。 • ロックを解除した回数や受信した通知の件数を表示したり、アプリごとにタイマーを設定できるなど、本製品の使いすぎを抑制します。	－
Google	Googleのアカウントおよびサービスに関する情報の確認や設定の変更などができます。	P.65
システム	表示言語の設定や日付・時刻の設定、データのバックアップや復元、初期化などを行います。	P.65
デバイス情報	本製品のバージョンなどの情報を確認します。	P.66

ネットワークとインターネットの設定をする

Wi-Fi®やホームネットワークの設定など、通信に関する設定を行います。

1 設定メニュー→[ネットワークとインターネット]
ネットワークとインターネット設定メニューが表示されます。

2

インターネット	無線LAN（Wi-Fi®）機能やモバイルネットワークの詳細な設定を行うことができます。 • 無線LAN（Wi-Fi®）機能については「無線LAN（Wi-Fi®）機能」（▶P.56）をご参照ください。
モバイルネットワーク	モバイルネットワークの詳細な設定を行うことができます。 • 海外ローミングと通信事業者の設定については、「海外利用に関する設定を行う」（▶P.74）をご参照ください。 • アクセスポイント名の設定については、「データ通信を利用する」（▶P.42）をご参照ください。
機内モード	▶P.60「機内モードを設定する」
デュアルSIM設定	使用するSIMを選択したり、SIMの情報を確認したりできます。
アクセス ポイントとテザリング	▶P.57「テザリング機能」
データセーバー	データセーバーの設定を行います。 • データセーバーを「ON」にすると、一部のアプリによるバックグラウンドでの送受信を停止することで、データ使用量を抑制します。
VPN	▶P.60「VPNを設定する」
プライベートDNS	セキュリティとプライバシーの保護のため、プライベートDNSを切り替えることができます。
接続の自動調整	ネットワーク接続を自動的に管理して、バッテリーの消費を抑えます。

memo
◎「モバイルネットワーク」の「モバイルデータ」をオフにするとデータ通信が無効になり、5G／4G（LTE／WiMAX 2+）通信でのデータ通信ができなくなります。

eSIMをダウンロードする

1 ネットワークとインターネット設定メニュー→「モバイル ネットワーク」の右にある[+]

2 [SIMをダウンロードしますか？]→[次へ]

3 事業者から提供されたQRコードをスキャン
以降は、画面の指示に従って操作してください。

機内モードを設定する

機内モードを有効に設定すると、ワイヤレス機能（電話、データ通信、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能）がすべてオフになります。

1 ネットワークとインターネット設定メニュー→「機内モード」を有効にする
機内モードが有効に設定されると、ステータスバーに「✈」が表示されます。

memo
◎ 機内モードが有効の場合でも無線LAN（Wi-Fi®）／Bluetooth®機能を有効にすることができます。航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。
◎ 機内モードを有効に設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的に機内モードはオフに設定されます。
◎ 機内モードを有効に設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能による通信などもオフにします。

VPNを設定する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。
本製品からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。
• 本製品は以下の種類のVPNに対応しています。
- IKEv2/IPSec MSCHAPv2
- IKEv2/IPSec PSK
- IKEv2/IPSec RSA

■ VPNを追加する

1 ネットワークとインターネット設定メニュー→[VPN]
VPN画面が表示されます。

2 [+]
• 初回起動時など、セキュリティの設定が必要な場合は画面の指示に従って設定してください。

3 VPN設定の各項目を設定→[保存]
VPN画面のリストに、新しいVPNが追加されます。

memo
◎ 追加したVPNは編集したり、削除したりできます。編集するには、変更するVPNの「⚙」をタップ→必要に応じてVPNの設定を変更→[保存]と操作します。
削除するには、削除するVPNの「⚙」をタップ→[削除]と操作します。

■ VPNに接続する

1 ネットワークとインターネット設定メニュー→[VPN]
VPN画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力→[接続]
VPNに接続すると、ステータスバーに「🔑」が表示されます。

■ VPNを切断する

1 ネットワークとインターネット設定メニュー→[VPN]
VPN画面が表示されます。

2 接続中のVPNをタップ→[切断]

Kyocera Confidential

接続済みのデバイスの設定をする

1 **設定メニュー→[接続済みのデバイス]**
接続済みのデバイスメニューが表示されます。

2

USB		USBケーブルでパソコンに接続しているときの動作を設定します。 • 本製品をUSBケーブルでパソコンに接続しているときに表示されます。
新しいデバイスとペア設定する		▶P.56「Bluetooth®機器を登録する」
ペア設定済みのデバイス		以前ペアリングを行ったデバイス名が表示されます。
接続の設定	Bluetooth	▶P.56「Bluetooth®機能」
	NFC／おサイフケータイ設定	▶P.47「NFC機能を設定する」 ▶P.47「画面ロック連動機能を設定する」
	キャスト	Miracast等の機器と接続し、他のデバイスと画面や音を共有します。
	印刷	▶P.61「印刷に関する設定をする」
	Chromebook	Chromebookと接続します。
	ニアバイシェア	近くにある他のデバイスとファイルを共有します。
	Android Auto	車の画面に接続し、車内でもアプリやGoogleサービスが使えるように設定できます。

印刷に関する設定をする

Googleクラウドプリントを利用したプリンタの設定を行います。
• 印刷の利用には、Google アカウントが必要です。詳しくは、「Google アカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。

1 **接続済みのデバイスメニュー→[接続の設定]→[印刷]**
• 「サービスを追加」をタップして、Google Playからプリンタを追加してください。

アプリの設定をする

アプリごとに通知や権限、デフォルトアプリの設定などを行います。

1 **設定メニュー→[アプリ]**
アプリメニューが表示されます。

2

最近開いたアプリ※1	選択したアプリの詳細画面※2が表示され、アプリケーションのアンインストールなどができます。 • Google Playなどからインストールしたアプリケーションを選択すると「アンインストール」が表示されます。アンインストールを実行するとアプリケーションは削除されます。 • アプリケーションによっては削除できないものもあります。 • 「XX 個のアプリをすべて表示」をタップすると、本製品にインストールされているすべてのアプリを表示できます。
通話	▶P.61「通話に関する設定をする」
デフォルトのアプリ	デフォルトで使用するブラウザアプリやホームアプリ、電話アプリ、SMSアプリなどを設定します。
利用時間	本製品の利用時間や、アプリの利用時間を表示します。
使用されていないアプリ	使用されていないアプリを表示します。
特別なアプリアクセス	本製品の機能や情報にアクセスするアプリの設定を確認／変更します。 • 「デバイスとアプリの通知」をタップすると、ホーム画面の通知(バッジ)を表示するかどうかを設定できます。

※1 表示される項目は、端末の状態によって異なります。
※2 表示される項目はアプリケーションによって異なります。

通話に関する設定をする

通話時間の確認やお留守番サービスの設定など、通話に関する設定を行います。

1 **アプリメニュー→[通話]**
通話設定画面が表示されます。

2

通話時間	通話時間	国内での前回／累計の通話時間を表示します。
	通話時間(海外)	海外での前回／累計の通話時間を表示します。
ロック解除中の着信画面の表示		ロック解除中の着信画面の表示を設定します。
ステップアップ着信		▶P.31「ステップアップ着信を設定する」
画面消灯中のライト点滅着信		着信時にライトの点滅でお知らせするかどうかを設定します。
着信相手非表示		着信時に相手の名前や画像を表示しないようにするかどうかを設定します。
不在着信通知		▶P.31「不在着信通知を設定する」
伝言メモ		▶P.31「伝言メモを利用する」
通話音声メモ		通話音声メモを選択して再生したり、あとから録音を設定したりします。 • 通話音声メモリスト画面で「⋮」をタップしたり、音声メモ再生画面で「⋮」をタップしたりすると、通話音声メモの保護や削除、エクスポートなどの操作が行えます。
着信拒否		▶P.61「着信拒否を設定する」
通話サービス設定		お留守番サービスや着信転送サービスなどのネットワークサービスを設定します。
聞こえ調整		通話中の音質を設定します。
SMS返信		SMS返信(▶P.31)のメッセージを編集します。

memo

通話時間について
◎ 表示される通話時間は、自分から発信したときの通話時間になります。
◎ 通話が途切れるなど正常に終了できなかった場合や国際電話をかけた場合など、通話時間が更新されない場合があります。

伝言メモ／通話音声メモについて
◎ 録音できるのは、伝言メモは1件あたり約60秒間、通話音声メモは1件あたり60分で、それぞれ100件までです。100件録音されている場合は、再生済みで保護されていない伝言メモおよび保護されていない通話音声メモが、古いものから順に削除されます。
◎ 録音されている伝言メモ／通話音声メモが未再生またはすべて保護されている場合、伝言メモでの応答や通話音声メモの録音はできません。

着信拒否を設定する

自動的に着信を拒否する条件を設定できます。着信を拒否した場合は、着信音・バイブレータの鳴動は行われません。

1 **通話設定画面→[着信拒否]**

2

電話番号指定	特定の電話番号を指定して、その電話番号からの着信やSMSを拒否します。 電話帳／履歴を引用して登録する場合 **1. [+]→[👤]／[🕒]** **2. 連絡先／履歴を選択→[登録]** 電話番号を入力して登録する場合 **1. [+]** **2. 電話番号を入力→[登録]**
非通知	電話番号を通知しない着信を拒否します。
公衆電話	公衆電話からの着信を拒否します。
不明	電話番号を通知できない着信を拒否します。
電話帳登録外	電話帳に登録されている電話番号以外からの着信を拒否します。
海外ローミング中全拒否	海外利用中の全着信を拒否します。
着信履歴を保存	拒否した着信を着信履歴に保存するかどうかを設定します。

Kyocera Confidential

通知の設定をする

アプリや機能の通知に関する設定を行います。

1 **設定メニュー→[通知]**

2

アプリの設定	各アプリからの通知を設定します。
通知履歴	通知パネルに表示された通知の履歴を見ることができます。
会話	優先度の高い会話や設定を変更した会話を表示できます。
バブル	指定した相手からメッセージ着信があったことをフローティングアイコンでお知らせするかを設定します。
デバイスとアプリの通知	通知を読み取れるアプリとデバイスを設定します。
スタート画面上の通知	スタート画面に通知を表示するかどうかを設定します。
機密性の高い通知※1	機密性の高いコンテンツをロック画面に表示するかを設定します。
高度な通知管理	高度な通知管理の設定をします。
緊急速報メール	緊急速報メールに関する設定を行います。
ステータスバーにサイレント通知を表示しない	ステータスバーにサイレント通知を表示するかを設定します。
通知のスヌーズを許可	通知のスヌーズを許可するかを設定します。
アプリアイコン上の通知ドット	アイコンにドット(点)を表示してアプリの通知をお知らせするかを設定します。
点滅	着信時にランプの点滅でお知らせするかどうかを設定します。
拡張通知	操作の候補や返信の候補などを利用するかを設定します。

※1 「セキュリティの種類」(▶P.64)を「なし」/「スワイプ」に設定している場合は表示されません。

電池使用量を表示する

1 **設定メニュー→[バッテリー]**

電池残量、充電状況や電池使用時間などが表示されます。

バッテリーケアモードを設定する

1 **設定メニュー→[バッテリー]**

2 **[バッテリーケアモード]→「バッテリーケアモードを使用する」を有効にする→[再起動]**

バッテリーケアモードが設定されると、電池アイコンにハートマーク「」が表示されます。

memo

◎ バッテリーケアモードはフル充電時の充電容量を通常より下げる機能です。バッテリーへの負荷を抑えることでき、電池の寿命を延ばすことができます。電池の寿命は伸びますが、1回の充電での使用時間は短くなります。

ダイレクトボタンの設定をする

ダイレクトボタン(▭)を押したときの動作や起動させるアプリを設定します。

1 **設定メニュー→[ダイレクトボタン]**

2 **[1回押し]/[2回押し]/[長押し]→アプリを選択/その他の動作を選択**

memo

◎ 以下の状態の場合は、ダイレクトボタンの動作は無効となります。
- ソフトウェア更新中
- 緊急通報時の折り返しモード中

◎ ダイレクトボタンに設定しているアプリをアンインストールした場合、ダイレクトボタンは未設定状態になります。

ストレージに関する設定をする

1 **設定メニュー→[ストレージ]**

2

このデバイス	内部ストレージの使用量と合計容量を確認できます。 • 項目をタップすると項目ごとのデータの使用量を確認できます。
SDカード	microSDメモリカードの使用量と合計容量を確認できます。 • microSDメモリカードが認識されている時に[⋮]→[取り出し]と操作すると、認識を解除してmicroSDメモリカードを安全に取り外しできます。 • microSDメモリカードが認識されていない時に[このデバイス]→[SDカード]→[⋮]→[マウント]と操作すると、microSDメモリカードを認識します。

※ 表示される項目は、端末の状態によって異なります。

memo

◎ 内部共有ストレージの各項目(アプリ、画像、動画など)をタップすると、各項目のアプリを起動できます。

◎ microSDメモリカードを認識しているときに、[このデバイス]→[SDカード]→[ファイル]と操作すると、アプリの選択画面が表示され、データの移動やコピーなどができます。

音とバイブレーションの設定をする

マナーモードの設定や着信音など、音やバイブレータに関する設定を行います。

1 **設定メニュー→[着信音とバイブレーション]**

音設定メニューが表示されます。

2

メディアの音量		▶P.62「各種音量を調節する」
通話の音量		
着信音と通知の音量		
アラームの音量		
マナーモード		▶P.25「マナーモードを設定する」
着信音		着信音を設定します。
自動字幕起こし		話し声を検出して自動的に字幕を作成するかどうかを設定します。
メディア		メディアの再生時にクイック設定パネルに表示されるプレーヤーを、再生終了時に非表示にするかどうかを設定します。
バイブパターン		バイブレーションのパターンを設定します。
バイブレーションとハプティクス	バイブレーションとハプティクスの使用	着信時や通知時、タップ操作時にバイブレータが動作するかどうかを設定します。
	着信時のバイブレーション	着信時のバイブレーションの強さを設定します。
	バイブレーションから着信音	着信時に、バイブレーションから徐々に着信音に変わるようにするかどうかを設定します。
	通知時のバイブレーション	通知時、タップ操作時などのバイブレーションの強さを設定します。
	アラームのバイブレーション	
	触覚フィードバック	
	メディアのバイブレーション	
デフォルトの通知音		通知音を設定します。
デフォルトのアラーム音		アラーム音を設定します。
ダイヤルパッドの操作音		タッチ操作音や充電開始音などの設定をします。
スタート画面音		
充電開始音とバイブレーション		
充電完了音とバイブレーション		
タッチ操作音		
高度な通知管理		着信音やバイブレータなどの、高度な通知管理を設定します。

各種音量を調節する

1 **音設定メニュー→スライダを左右にドラッグして、音量を調節**

memo

◎ マナーモード設定時に、「着信音と通知の音量」の音量を上げるとマナーモードは解除されます。「着信音と通知の音量」の音量を0にすると、マナーモード(バイブレーション)に設定されます。

◎ 「着信音と通知の音量」の音量を0にすると、タッチ操作音やキー操作音も0になります。

Kyocera Confidential

画面の設定をする

画面の明るさの設定や文字フォントサイズの変更など、表示に関する設定を行います。

1 設定メニュー→[ディスプレイ]

ディスプレイ設定メニューが表示されます。

2

明るさのレベル	画面の明るさを設定します。
明るさの自動調節	周囲の明るさに合わせて、画面の明るさを自動調節するかどうかを設定します。
スタート画面	▶P.63「スタート画面の設定を行う」
画面消灯	スリープモードへ移行するまでの時間を設定します。
持っている間画面点灯	端末を持っている間は画面を常時点灯するかどうかを設定します。
ダークモード	黒を基調とした画面に変更します。
スクリーンセーバー	▶P.63「スクリーンセーバーを設定する」
表示サイズとテキスト	画面に表示されるフォントサイズや画面上のアイテムのサイズを設定します。
夜間モード	画面を黄味がかった色にして、薄明かりでも画面を見やすくするように設定します。
グローブタッチモード	手袋をした状態でもタッチ操作を可能にするかどうかを設定します。
ポケットモード	ポケットやカバンの中での誤動作防止を有効にするかどうかを設定します。
画面の自動回転	▶P.22「縦／横画面表示を切り替える」
クイック設定の表示	通知パネルにON/OFF設定アイコンを表示させるかどうかを設定します。

スクリーンセーバーを設定する

1 ディスプレイ設定メニュー→[スクリーンセーバー]

2 「スクリーンセーバーを使用する」を有効にする→スクリーンセーバーの種類を選択

3 [起動するタイミング]→[充電時]

「プレビュー」をタップすると、選択したスクリーンセーバーが起動します。

スタート画面の設定を行う

1 ディスプレイ設定メニュー→[スタート画面]

2

プライバシー	スタート画面に通知を表示するかどうかを設定します。
スタート画面メッセージ	スタート画面に表示するメッセージを設定します。
デバイスコントロールを表示	ロック画面にデバイスのコントロールを表示するかを設定します。
ロックされたデバイスから操作する	ロックされた本製品から外部デバイスを操作できるようにするかどうかを設定します。
ダブルライン時計	スタート画面に通知表示がない場合の時計表示の大きさを設定します。
スマートフォンを持ち上げて点灯	本製品を持ち上げる動作でディスプレイを点灯させるかどうかを設定します。
通知時にスリープ状態から復帰	新しい通知が届いたときに画面を点灯させるかどうかを設定します。

※ 表示される項目は、端末の設定条件によって異なります。

ユーザー補助の設定をする

1 設定メニュー→[ユーザー補助]

2

TalkBack		画面上の項目を読み上げるかどうかを設定します。
あんしんフィルター for au アプリ規制		あんしんフィルター for au アプリに規制を許可するかどうかを設定します。
ウイルスブロック		ウイルスブロックを利用するかどうかを設定します。
スイッチ アクセス		外付けのスイッチなどを利用して、本製品を操作するかどうかを設定します。
ユーザー補助機能メニュー		大きな画面メニューを表示するかどうかを設定します。
選択して読み上げ		選択したテキストを読み上げるかどうかを設定します。
表示サイズとテキスト	フォントサイズ	文字サイズを変更します。
	表示サイズ	画面上のアイテムのサイズを変更します。
	テキストを太字にする	テキストを太字にします。
	高コントラストテキスト	画面に表示されるテキストのコントラストを上げるかどうかを設定します。
色と動き	色補正	画面の色を補正するように設定します。
	色反転	画面の色を反転表示するように設定します。
	ダークモード	黒を基調とした画面に変更します。
	アニメーションを無効化	や などの画面のアニメーション表示を省略するかどうかを設定します。
	マウスポインタを拡大	マウス等を接続したときのポインタサイズを大きくします。
さらに輝度を下げる		設定できる最低限の明るさよりも画面を暗くするかを設定します。
拡大		すばやく3回タップする操作やボタンで拡大／縮小表示をするかどうか設定します。
タイミングの調節	長押しする時間	ロングタッチの時間を設定します。
	操作までの時間（ユーザー補助タイムアウト）	操作が必要な、短い時間しか表示されないメッセージの表示時間を設定します。
	自動クリック（一定時間の静止）	マウスを使用している場合、カーソルの動きが一定時間静止したときに自動的に操作を行うよう設定します。
システム操作	システム ナビゲーション	戻る、ホームへの移動、アプリの切り替えの操作について設定します。
	片手モード	片手操作用に画面を縮小するモードを設定します。
	電源ボタンで通話を終了	(電源ボタン)で通話を終了するかどうかを設定します。
	画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
バイブレーションとハプティクス		着信時や通知時、タップ操作時のバイブレーションの強さを設定します。
自動字幕起こし		字幕を自動的に作成するかどうかを設定します。
字幕の設定		字幕表示に対応したアプリ使用時に、字幕を表示するかどうかを設定します。
音声による説明		対応する映画や番組などで画面の表示内容の説明を自動的に読み上げるかどうかを設定します。
音声の調整	モノラル音声	音声をモノラルで再生するかどうかを設定します。
	オーディオ バランス	音声の左右のバランスを設定します。
ユーザー補助機能のショートカット	ユーザー補助機能ボタン	ユーザー補助機能の設定をします。
	スタート画面からのショートカット	(音量上ボタン)と(音量下ボタン)を同時に3秒以上長く押して、ユーザー補助機能を起動するかどうかを設定します。
テキスト読み上げの設定		▶P.65「言語と入力に関する設定をする」

Kyocera Confidential

セキュリティの設定をする

1 **設定メニュー→[セキュリティ]**
セキュリティメニューが表示されます。

2

Google Play プロテクト		アプリや本製品に不正な動作がないかを定期的にチェックするかどうか設定します。
デバイスを探す		端末の現在地をリモートで探すかどうかを設定します。
セキュリティ アップデート		セキュリティのアップデートを行います。
Google Play システム アップデート		アップデートの確認、更新を行います。
セキュリティの種類	なし	セキュリティを無効にし、スタート画面を非表示にします。
	スワイプ	セキュリティを無効にし、スワイプ操作で解除するスタート画面を表示します。
	パターン	スタート画面表示後、解除パターンを入力して解除するセキュリティを設定します。通知表示の設定もできます。
	ロックNo.	スタート画面表示後、ロックNo.を入力して解除するセキュリティを設定します。通知表示の設定もできます。
	パスワード	スタート画面表示後、パスワードを入力して解除するセキュリティを設定します。通知表示の設定もできます。
顔認証と指紋認証によるロック解除		▶P.25「指紋認証機能」 ▶P.26「顔認証機能」
詳細設定	Smart Lock	信頼できる端末や場所の登録、または持ち運び検知機能でセキュリティを自動的に解除する「Smart Lock」を設定します。
	デバイス管理アプリ	デバイス管理アプリを表示または無効にします。
	SIM カードロック	▶P.64「SIMカードロックを設定する」
	暗号化と認証情報	端末のデータを保護するため、本製品内部に保存されているシステムデータはお買い上げ時には暗号化されています。
	信頼エージェント	信頼できるエージェント(Smart Lockなどの機能)を管理します。
	アプリ固定	特定のアプリの画面を固定して表示するように設定します(▶P.24)。 ・「アプリ固定機能を使用」をオンにすると画面固定の解除後に、スタート画面を表示するかどうかを設定できます。
	SIM の削除の確認	eSIMを消去する前に本人確認を行うように設定します。

SIMカードロックを設定する

SIMカードにPINコード(暗証番号)を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。PINコードについては「PINコードについて」(▶P.13)をご参照ください。

1 **セキュリティメニュー→[詳細設定]→[SIM カードロック]→[SIMカードをロック]**

2 **SIMカードのPINコードを入力→[OK]**

■ 電源を入れたときにPINコードを入力する

1 **PINコードの入力画面→PINコードを入力→[OK]**

■ PINコードを変更する

SIMカードロックが有効に設定されているときのみ変更できます。

1 **セキュリティメニュー→[詳細設定]→[SIM カードロック]→[SIM PINの変更]**

2 **現在のPINコードを入力→[OK]**

3 **新しいPINコードを入力→[OK]**

4 **もう一度新しいPINコードを入力→[OK]**

位置情報の設定をする

1 **設定メニュー→[位置情報]→「位置情報を使用」を有効にする**

2

最近のアクセス		位置情報を取得したアプリを表示します。 ・アプリをタップするとアプリ情報を表示します。
すべて表示		最近の位置情報データを使用したすべてのアプリやサービスが表示されます。
アプリへの位置情報の利用許可		アプリごとに位置情報の使用を許可するかどうかを設定します。
位置情報サービス	Google ロケーション履歴	Googleロケーション履歴などの設定を確認／変更します。
	Google 位置情報の精度	
	Google 現在地の共有機能	
	緊急位置情報サービス	
	Wi-Fi スキャン	位置情報の精度を向上させるため、Wi-Fi®やBluetooth®の電波をスキャンするかどうかを設定します。
	Bluetooth のスキャン	

memo

GPS機能の使用について

◎ 電池の消費を節約する場合は、オフにしてください。

◎ 周囲に建物などがなく、天空が見える場所では精度が高くなります。周囲の環境により、正しい位置情報が取得できない場合は、天空が見える場所へ移動してください。

緊急情報と緊急通報の設定をする

1 **設定メニュー→[緊急情報と緊急通報]**

2

緊急情報サービスを開く	緊急情報を表示します。
医療に関する情報	緊急時の初期対応で役立つ血液型などの情報を登録します。
緊急連絡先	緊急時の連絡先を登録します。
緊急SOS	緊急SOSに関する設定を行います。
災害情報アラート	災害情報アラートを利用するかどうかを設定します。
緊急位置情報サービス	緊急通報番号に発信するかメッセージを送信したときに、緊急位置情報サービス(ELS)から緊急通報の担当者に、位置情報を自動的に送信するかどうかを設定します。
緊急速報メール	緊急速報メールに関する設定を行います。

パスワードとアカウントの設定をする

本製品とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

・同期するには、本製品でGoogle アカウントなどのオンラインサービスのアカウントを設定する必要があります。手動で同期するか、または自動同期するように設定できます。

1 **設定メニュー→[パスワードとアカウント]**
パスワードとアカウント設定メニューが表示されます。

2 **同期の設定をするアカウントを選択→[アカウントの同期]**

3 **同期するサービスをオンにする**

memo

◎ パスワードとアカウント設定メニュー→[アプリデータを自動的に同期する]で、自動同期の有効／無効を切り替えることができます。

アカウントを追加／削除する

■ アカウントを追加する

1 **パスワードとアカウント設定メニュー→[アカウントを追加]**

2 **追加するアカウントの種別を選択**

3 **画面の指示に従って操作**

■ アカウントを削除する

1 **パスワードとアカウント設定メニュー→削除するアカウントを選択**

2 **[アカウントを削除]→[アカウントを削除]**

memo

◎ 他のアプリで使用されているアカウントは削除できません。削除するには、データの初期化(▶P.65)が必要です。

Kyocera Confidential

Googleの設定をする

Googleのアカウントおよびサービスに関する情報の確認や設定の変更などができます。
• Google設定の詳細については、Google画面→[?]と操作してヘルプをご確認ください。

1 設定メニュー→[Google]
Google画面が表示されます。

2 各項目を設定

システムの設定をする

1 設定メニュー→[システム]
システム設定メニューが表示されます。

2

言語と入力		▶P.65「言語と入力に関する設定をする」
ジェスチャー	カメラをすばやく起動	(電源ボタン)を2回押してカメラを起動するかどうかを設定します。
	システム ナビゲーション	戻る、ホームへの移動、アプリの切り替えの操作について設定します。
	スマートフォンを持ちあげて点灯	本製品を持ち上げる動作でディスプレイを点灯させるかどうかを設定します。
	片手モード	片手操作用に画面を縮小するモードを設定します。
	電源ボタンを長押し	(電源ボタン)の長押しで Google アシスタントを起動するかどうかを設定します。
日付と時刻		▶P.65「日付と時刻の設定をする」
自動電源ON／OFF		▶P.65「自動電源ON／OFF機能を利用する」
充電時自動電源ON		電源が切れている状態で充電を行うと自動的に電源を入れるようにするかどうかを設定します。
バックアップ		Google One バックアップへのバックアップに関する設定をします。
システム アップデート		▶P.78「ソフトウェアを更新する」
リセット オプション	Wi-Fi、モバイル、Bluetoothをリセット	すべてのネットワークの設定をリセットします。
	アプリの設定をリセット	無効化されているアプリや権限のすべての制限などがリセットされます。
	ダウンロードされたeSIMを消去	ダウンロードされたeSIMを消去します。
	全データを消去(出荷時リセット)	▶P.65「本製品を初期化する」

言語と入力に関する設定をする

1 システム設定メニュー→[言語と入力]

2

言語		日本語と英語の表示を切り替えます。 • 起動中のアプリが終了する場合があります。
アプリの言語		アプリごとに言語を設定します。
画面キーボード	Gboard	Gboardに関する設定を行います。
	Google音声入力	音声入力の言語や不適切な語句に関する設定をします。
物理キーボード	画面キーボードの使用	物理キーボードが有効になっていても、画面上の仮想キーボードを表示するかどうかを設定します。
	キーボード ショートカット	物理キーボードで使用可能なショートカットを表示します。
音声入力		Google音声入力に関する設定を行います。
テキスト読み上げの設定	優先するエンジン	Googleテキスト読み上げエンジンの設定ができます。 Google Playから標準装備以外の言語に対応した音声データをインストールすることもできます。 「⚙」をタップすると、読み上げの音量の増幅や、イントネーションの設定、音声データのインストールなどを行えます。
	言語	テキストを読み上げる言語を設定します。
	音声の速度 音の高さ	スライダを左右にドラッグして、音声の速度と音の高さを調節します。 「再生」をタップすると再生します。
スペルチェック		スペルチェッカーを使用するかどうかを設定します。 • 対応するキーボードアプリをインストールすると利用できます。
単語リスト		単語を登録できます。
ポインタの速度		ポインティングデバイス使用時の、ポインタの反応速度を設定します。

※ 表示される項目は、画面によって異なります。

memo
◎ テキスト読み上げを利用する場合は、あらかじめ音声合成エンジンのインストールが必要な場合があります。また、テキスト読み上げは「言語」が「日本語」の場合には利用できないことがあります。
◎ microSDメモリカードに音声データをインストールした状態で、ソフトウェアアップデートなどのソフトウェアの更新を実行すると、テキスト読み上げの動作が不安定になる場合があります。ソフトウェアの更新を実行した場合は、microSDメモリカードにインストールされている音声データを削除し、再度音声データのインストールを行ってください。

日付と時刻の設定をする

1 システム設定メニュー→[日付と時刻]
日付と時刻設定メニューが表示されます。

2

日時を自動的に設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って、自動的に補正するかどうかを設定します。
日付	▶P.65「日付を設定する」
時刻	▶P.65「時刻を設定する」
タイムゾーンを自動的に設定	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って、自動的に補正するかどうかを設定します。
タイムゾーンの設定に位置情報を使用	タイムゾーンの設定に位置情報を使用します。
タイムゾーン	タイムゾーンを選択します。
言語 / 地域で一般的な形式を使用する	時刻の表示形式に言語／地域のデフォルト設定を使用するかどうか設定します。
24時間表示	選択すると24時間表示、解除すると12時間表示となります。 ※ アプリによっては、対応されない場合があります。

memo
◎ 「日時を自動的に設定」をオンにするとネットワークから日付や時刻が自動で設定されます。お買い上げ時は「日時を自動的に設定」がオンに設定されています。
◎ 日付、時刻、タイムゾーンの手動設定をするには、あらかじめ「日時を自動的に設定」「タイムゾーンを自動的に設定」をオフにする必要があります。
◎ 海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。システム設定メニュー→[日付と時刻]→[タイムゾーン]→[地域]→設定するタイムゾーンを選択、と操作して、タイムゾーンを設定することができます。

日付を設定する

1 日付と時刻設定メニュー→[日付]
2 カレンダー表示で日付を選択
3 [OK]

時刻を設定する

1 日付と時刻設定メニュー→[時刻]
2 時計表示で時間と分を選択
「24時間表示」をオフにしている場合は、「午前」／「午後」をタップして切り替えます。
3 [OK]

自動電源ON／OFF機能を利用する

設定した曜日や時刻に本製品の電源を自動的にONまたはOFFにします。

1 システム設定メニュー→[自動電源ON／OFF]
2 電源ONとOFFの時刻をタップ→時刻を設定→[OK]
曜日を設定するには、曜日の各アイコンをタップします。

本製品を初期化する

1 システム設定メニュー→[リセット オプション]
2 [全データを消去(出荷時リセット)]→[すべてのデータを消去]→[すべてのデータを消去]
• スタート画面の設定によっては、セキュリティ解除が必要な場合があります。

memo
◎ データの初期化を実行すると内部ストレージのすべてのデータが消去されます。データの初期化を実行する前に内部ストレージのデータをバックアップすることをおすすめします。
◎ 設定メニューの以下の項目は、データの初期化を実行してもリセットされません。
• SIMカードロック設定
◎ 本製品を初期化すると、デジタル著作権管理(DRM)コンテンツのライセンス情報が削除され、コンテンツの再生ができなくなる場合があります。

Kyocera Confidential

デバイス情報に関する設定をする

本製品のバージョンなどの情報を確認します。

1 **設定メニュー→[デバイス情報]**

2

デバイス名	デバイス名を変更できます。
電話番号 (SIM スロット 1／ SIM スロット 2)	電話番号を確認できます。
法的情報	利用規約などの法的情報を表示します。
認証情報	認証情報を確認できます。
SIM ステータス (SIM スロット 1／ SIM スロット 2)	SIMのステータスを確認できます。
モデル	バージョンや各番号を確認できます。
IMEI(SIM スロット 1／ SIM スロット 2)	
Android バージョン	
IP アドレス	
Wi-Fi MACアドレス	
デバイスのWi-Fi MAC アドレス	
Bluetoothアドレス	
稼働時間	
ビルド番号	
使用状況に関するデータ利用	京セラ及び京セラから委託を受けたものによる使用状況に関するデータの利用を許可するかどうかを設定します。

Kyocera Confidential

auネットワーク

auのネットワークサービス 68
auのネットワークサービスについて 68
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス) 68
着信転送サービスを利用する(標準サービス) 68
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス) 68
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス) 69
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス) 69
三者通話サービスを利用する(オプションサービス) 71
割込通話サービスを利用する(オプションサービス) 71
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス) 71
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス) 71

Kyocera Confidential

auのネットワークサービス

auのネットワークサービスについて

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	＋メッセージ(SMS)	P.38
	着信お知らせサービス	P.68
	着信転送サービス	P.68
	発信番号表示サービス	P.68
	番号通知リクエストサービス	P.69
有料オプションサービス※	お留守番サービスEX	P.69
	三者通話サービス	P.71
	割込通話サービス	P.71
	迷惑電話撃退サービス	P.71
	通話明細分計サービス	P.71

※ 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、au Style／auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ(https://www.au.com/)でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)

着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、電波の届かない場所にいた場合など、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

◎「着信お知らせサービス」を利用するには、お留守番サービスEXの無応答・話中転送を設定してください(▶P.69)。
※ 有料オプションサービスにご契約されていない場合も設定を行ってください。
◎ 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
◎ お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大99件です。
◎ 着信があってから約168時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
◎ ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P.69)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を選択できます。

memo

◎ 緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
◎ 着信転送サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.69)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
◎ au国際電話サービスでの転送はご利用いただけません。また、一部の国際電話事業者でも転送できない場合があります。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ※ 電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ※ お客さまのご負担となります。 ※ 海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する(無応答・話中転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1. **ホーム画面→[ ]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][2][2]→[ ]**
2. **ガイダンスに従い転送先電話番号を入力**
3. **ガイダンスに従い操作**

memo

◎ 無応答・話中転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

1. **ホーム画面→[ ]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][2][4]→[ ]**
2. **ガイダンスに従い転送先電話番号を入力**
3. **ガイダンスに従い操作**

memo

◎ フル転送を設定している場合は、お客さまの本製品は呼び出されません。

着信転送サービスを停止する

1. **ホーム画面→[ ]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][2][0]→[ ]**

memo

◎ 着信転送サービスを停止すると、お留守番サービスも停止します。お留守番サービスを再度ご利用する方法は「お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)」(▶P.69)をご参照ください。

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

電話をかけた相手の方の電話機にお客さまの電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号をお客さまの端末のディスプレイに表示したりするサービスです。

■ お客さまの電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客さまの電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

◎ 発信者番号(お客さまの電話番号)はお客さまの大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気をつけください。
◎ 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客さまの電話番号が表示されないことがあります。
◎ 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知」(Private number)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」(Payphone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「不明」(Unknown)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

電話番号を通知する

1. **ホーム画面→[ ]→[⋮]→[通話設定]**
2. **[通話サービス設定]→「発信者番号通知を許可」を有効にする**

memo

◎ 電話をかけるときに「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号通知を許可」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
◎ 発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知を許可」をオンにしていても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、お客さまセンターまでお問い合わせください。
◎「発信者番号通知を許可」をオフにしても、緊急通報番号(110、119、118)への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。

kyocera Confidential

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
◎ お留守番サービス(▶P.69)、着信転送サービス(▶P.68)、割込通話サービス(▶P.71)、三者通話サービス(▶P.71)のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎ 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.71)を同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎ サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][8][1]→[📞]

memo

◎ 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「お客さまの電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎ 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
- 公衆電話、国際電話
- SMS
- その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][8][0]→[📞]

お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)

■ お留守番サービスEXについて

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モード(▶P.60)を有効に設定しているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスEXをご利用になる前に

- 本製品ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.69)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	7日間まで※1
お預かりできる件数	99件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメール(▶P.69)の合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。 伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更、英語ガイダンスの設定/日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定/解除、着信お知らせの開始/停止ができます。

1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][1]→[📞]
2 ガイダンスに従って操作

応答できない電話を転送する(無応答・話中転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話をお留守番サービスに転送します。

1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][1][1]→[📞]

memo

◎ 無応答・話中転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][1][2]→[📞]

memo

◎ フル転送を設定している場合は、お客さまの本製品は呼び出されません。

お留守番サービスを停止する

1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][2][0]→[📞]

memo

◎ お留守番サービスを停止すると、着信転送サービスも停止します。着信転送サービスを再度ご利用する方法は「着信転送サービスを利用する(標準サービス)」(▶P.68)をご参照ください。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答
- かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客さまが設定された応答メッセージで応答します(▶P.70「応答メッセージの録音/確認/変更をする」)。
- 電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)操作2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音
録音時間は、3分以内です。
伝言を録音した後、操作3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了
録音終了後、ガイダンスに従って次のボタン操作ができます。
「1」:録音した伝言を再生して、内容を確認する
「2」:録音した伝言を「至急扱い」にする
「9」:録音した伝言を消去して、取り消す
「✱」:録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

memo

◎ 電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
◎ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][6][1][2]+相手の方のau電話番号を入力→[📞]
2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことをSMS(「伝言お知らせ」と表示)でお知らせします。

memo

◎ お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は99件です。
◎ 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約7日経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

Kyocera Confidential

伝言・ボイスメールを聞く

1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][1][7]→[📞]

「1」をロングタッチ→[OK]と操作するか、ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[アプリ]→[通話]→[通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[伝言メッセージ再生]→[OK]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。

2 ガイダンスに従ってボタン操作

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤルキー表示」をタップして表示します。
「1」:同じ伝言をもう一度聞く
「4」:5秒間巻き戻して聞き直す
「5」:伝言を一時停止(20秒間)※
「6」:5秒間早送りして聞く
「7」:再生済みの伝言をすべて消去
「9」:伝言を消去
「0」:伝言再生中の操作方法を聞く
「#」:次の伝言を聞く
「✱」:前の伝言を聞く
※「📞」以外のボタンをタップすると、伝言の再生を再開します。

3 [📞]

memo
◎ お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール(▶P.69)も同じものとして扱われます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定されている応答メッセージの内容の確認／変更や、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][1][4]→[📞]

■ すべてお客さまの声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(個人メッセージ)

3 [1]→[1]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[📞]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤルキー」をタップして表示します。

■ 電話番号の代わりに読み上げるお客さまのお名前を録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(名前指定メッセージ)

3 [1]→[2]→10秒以内で名前を録音→[#]→[#]→[📞]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤルキー」をタップして表示します。

■ 設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

3 [3]→応答メッセージを確認→[📞]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤルキー」をタップして表示します。

■ 蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合(不在通知)

3 [1]→[3]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[📞]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤルキー」をタップして表示します。

memo
◎ 録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎ 応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないように設定することができます。
◎ 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って[2]→[1]と操作すると標準メッセージに戻すことができます。
◎ 録音した蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)がある場合に、ガイダンスに従って[1]→[4]と操作すると標準メッセージに戻すことができます。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておくと、お客さまが録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
詳しくは、「応答メッセージの録音／確認／変更をする」(▶P.70)をご参照ください。

1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][6][1][0]→[📞]

2 ガイダンスを確認→[📞]

memo
◎ 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

伝言の蓄積停止を解除する

1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][6][1][1]→[📞]

2 ガイダンスを確認→[📞]

memo
◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客さまの本製品以外のau電話、他通信事業者の携帯電話、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090−4444−XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
留守番転送設定(フル転送)開始	1418
留守番転送設定(フル転送)停止	1419
留守番再生	1415
留守番総合案内	1416

2 ご利用の本製品の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「各種暗証番号／PINコードについて」(▶P.13)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo
◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][1][9][1]→[📞]

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

memo
◎ ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][1][9][0]→[📞]

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

Kyocera Confidential

三者通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例:Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中の電話画面→[通話相手を追加]→Bさんの電話番号を入力
通話中に電話帳や通話履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 [📞]
通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話
Bさんが電話に出ないときは「🔄」をタップするとAさんとの通話に戻ります。
Bさんとの通話を保留にしてAさんとの通話に戻るには、「通話相手を切替」をタップします。

4 [グループ通話]
3人で通話できます。
「🔄」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo
- ◎ 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
- ◎ 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
- ◎ 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客さまでも割り込みはできません。
- ◎ 三者通話の2人目の相手の方として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo
- ◎ 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、修理からのご返却時またはSIMカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[通話設定]

2 [通話サービス設定]→[割込通話]

3 「割込通話」を有効にする
ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][5][1]→[📞]と操作しても開始できます。

memo
- ◎ 割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.69)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.71)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

割込通話サービスを停止する

1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[通話設定]

2 [通話サービス設定]→[割込通話]

3 「割込通話」を無効にする
ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][5][0]→[📞]と操作しても停止できます。

割込通話を受ける

例:Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 着信画面→「📞」を右にスライド
Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
「通話相手を切替」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。

memo
- ◎ 通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手の方との通話に切り替わります。
- ◎ 割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知/非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
番号登録「1442」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

撃退する電話番号を登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][4][2]→[📞]

2 [🔄]

memo
- ◎ 登録できる電話番号は30件までです。
- ◎ 電話番号の通知のない着信についても登録できます。
- ◎ 登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「おかけになった電話番号への通話は、お客さまのご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎ 登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
- ◎ 登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
  - ・SMS

登録した電話番号を全件削除する

1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][4][9]→[📞]

2 [🔄]

通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」などが記載されます。

1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][3][1]+相手先電話番号を入力→[📞]

2 「🔄」

memo
- ◎ 分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
- ◎ 発信者番号を通知する/しないを設定する場合は、「186」/「184」を最初にダイヤルしてください。
- ◎ 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料

Kyocera Confidential

Kyocera Confidential

海外利用

海外利用 **74**
au世界サービスについて 74
海外利用に関する設定を行う 74
渡航先で電話をかける 74
渡航先で電話を受ける 74
お問い合わせ方法 74
海外でのご利用上の注意 75

Kyocera Confidential

海外利用

au世界サービスについて

au世界サービスとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただけるサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSM／UMTS／LTEネットワークでご利用いただけます。

- いつもの電話番号のまま、海外で通話・SMS・データ通信がご利用いただけます。
- 特別な申し込み手続きや月額の定額料は不要で、ご利用料金は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。
  ※ 新規ご加入の場合、翌日から海外でのご利用が可能です。ただし、オンラインショップでご加入の場合、日本国内で通話（発信）した翌々日よりご利用が可能です。
- ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

■ 対象エリア・料金を知る
https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/area-charge/

■ 海外でのデータ通信ご利用方法と適用データ通信料金について
https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/check/

■ 海外でご利用のお客さま（※渡航前に必ずご確認ください。）
https://www.au.com/information/notice_mobile/global/

memo
◎ 日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額／割引サービスの対象となりません。
◎ 海外で着信した場合でも着信通話料がかかります。
◎ 発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
◎ 各国際サービスのご利用料金には消費税相当額は加算されません。

海外利用に関する設定を行う

本製品は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。

- 海外で電源をオンにすると、海外の事業者のネットワークで通話とSMSがご利用いただけます。
- データ通信を行う場合は「ローミング」を有効に設定します。

データ通信を利用する

1. **ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]**
2. **「ローミング」を有効にする→[OK]**

memo
◎ 5G NETまたは5G NET for DATAにご加入されていない場合は、海外でデータ通信を利用できません。
◎ サービス内容、料金、ご利用方法などの詳細はauホームページにてご確認ください。
■ 世界データ定額
https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/sekai-data/
■ 海外ダブル定額
https://www.au.com/mobile/charge/data-option/kaigai-double-teigaku-lte/

海外でVoLTEを利用する

海外でVoLTEを利用できるように設定します。

1. **ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]**
2. **「ローミング」を有効にする→[OK]**
3. **[優先ネットワークの種類]→「5G（推奨）」／「4G」のいずれかを選択**
   ※ お買い上げ時は「5G（推奨）」になっています。

memo
◎ 5G NETにご加入されていない場合は、VoLTEを利用できません。
◎ 「5G（推奨）」に設定していても、「5G」エリア外では自動的に「4G」「3G」のネットワークに切り替わります。
◎ VoLTEが利用できる国・地域についてはauホームページをご参照ください。
◎ 海外で通話やデータ通信の品質が悪い場合は、「3G」にすると改善されることがあります。ただし、日本国内では常時「5G（推奨）」で利用してください。
◎ サービス内容、料金、ご利用方法などの詳細はauホームページにてご確認ください。
https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/volte/

渡航先で電話をかける

au世界サービスを利用して、渡航先で電話をかけることができます。

1. **ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ**
2. **「0」をロングタッチ**
   「＋」が入力され、発信時に渡航先現地からの国際アクセス番号が自動で付加されます。
3. **相手先の国番号を入力**
4. **地域番号（市外局番）を入力**
   地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部例外もあります）。
5. **相手の電話番号を入力→[📞]**

例：渡航先から日本の「03-1234-XXXX」にかける場合
＋ 81（国番号）3（市外局番）1234XXXX（相手の電話番号）

例：渡航先（アメリカ）からアメリカの「123-456-XXXX」にかける場合
＋ 1（国番号）123（市外局番）456XXXX（相手の電話番号）

memo
◎ 電話をかける相手の方が日本の携帯電話の場合は、相手の方の渡航先にかかわらず国番号として「81」（日本）を入力してください。
◎ 渡航先では、一部特番などかけられない電話番号があります。
◎ 国番号についてはauホームページをご参照ください。
https://www.au.com/mobile/service/global/call/country-code/

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で、電話を受けることができます。

memo
◎ 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からであっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信通話料がかかります。

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■ 本製品からのお問い合わせ方法（通話料無料）
受付時間：24時間

1. **ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ**
2. **「0」をロングタッチ**
   「＋」が入力され、発信時に渡航先現地からの国際アクセス番号が自動で付加されます。
3. **「81366706944」を入力→[📞]**

■ 一般電話からのお問い合わせ方法
詳しい情報はauホームページの「海外からのお問い合わせ番号」をご参照ください。
https://www.au.com/mobile/service/global/inquiry/

memo
◎ 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をオフ／オン（再起動）することでご利用可能となる場合があります。

Kyocera Confidential

海外でのご利用上の注意

本製品を盗難・紛失したら

- 海外で本製品もしくはSIMカードを盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。詳しくは、「海外からのお問い合わせ」(▶P.74)をご参照ください。盗難・紛失された後に発生した通話料・データ通信料もお客さまの負担になりますのでご注意ください。
- 本製品に挿入されているSIMカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします。SIMカードロックについては「SIMカードロックを設定する」(▶P.64)をご参照ください。

auネットワークサービスに関するご注意

- 以下のサービスは、au世界サービス「VoLTE」利用中以外はご利用いただけません。「VoLTE」利用中であっても、渡航先の通信事情によりご利用いただけない場合があります。
  - ・着信転送サービス(標準サービス)の無応答転送・話中転送・圏外転送
  - ・お留守番サービスEX(オプションサービス)
  - ・三者通話サービス(オプションサービス)※
  - ・割込通話サービス(オプションサービス)
  - ・通話明細分計サービス(オプションサービス)
- 発信番号表示サービス(標準サービス)は、海外では電話番号が通知されない場合があります。海外では「発信者番号通知」の機能は無効になります。
- 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- 渡航先で着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- 迷惑電話撃退サービス(オプションサービス)は、au世界サービス「VoLTE」利用中以外は受信拒否リストへの登録ができません。また、日本で登録した番号でも海外では迷惑電話撃退サービスが動作せず通常の接続となる場合があります。

※ au世界サービス「VoLTE」利用中であっても、グアム、サイパンではご利用いただけません。

Kyocera Confidential

Kyocera Confidential

付録

付録 **78**
ソフトウェアを更新する 78
故障とお考えになる前に 78
アフターサービスについて 79
遠隔操作サポート 79
位置検索サポート 79
SIMロック解除 79
周辺機器 80
主な仕様 80
携帯電話機の比吸収率(SAR)について 80
FCC Notice 81
輸出管理規制 81
知的財産権について 81

Kyocera Confidential

付録

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスやセキュリティ向上を実現し、最新の拡張機能を入手できます。

ご利用上のご注意

- モバイルデータ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、ご利用の回線のご契約内容に応じたデータ通信料が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生しますので、ご自宅などのWi-Fi® 環境がご利用可能な場合はWi-Fi® 回線へ接続した上で、ソフトウェア更新することをお勧めします。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客さまにご案内させていただきます。詳細内容につきましては、au Style／auショップもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客さまに、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、au Style／auショップもしくはトヨタ au取扱店（一部ショップを除く）にお持ちください。
- 海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）、157番（お客さまセンター）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[システム]→[システム アップデート]

以降は、画面の指示に従って操作してください。

memo

◎ ご利用のWi-Fi®回線の状態によっては、利用可能なネットワークの自動検索を行い、Wi-Fi®からモバイルによる通信に切り替わることがあります。この場合、当初意図したものとは異なるデータ通信料が発生することがありますのでご注意ください。

◎ ソフトウェア更新／OSアップデート後に元のバージョンに戻すことはできません。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に、使い方サポートアプリのかんたん診断をお試しください。

■ かんたん診断は使い方サポートアプリから無料でご利用可能です。

診断結果に応じた解決方法もご確認いただけます。
使い方サポートアプリのDLはこちらから。
https://play.google.com/store/apps/details?id=com.kddi.newsupport&hl=ja

※ 使い方サポートアプリの「診断」⇒「かんたん診断」

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	電池は充電されていますか？	P.18
	(電源ボタン)を充電ランプが点灯するまで長く押していますか？	P.19
充電ができない	指定の充電用機器(別売)は正しく接続されていますか？	P.18
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？ 温度によって充電を停止する場合があります。	P.18
	指定の周辺機器(アダプタなど)で充電をしていますか？	P.18
指紋が認証されない	指紋センサー部のキズの確認や汚れをふき取る。	P.25
	指の指紋が汚れ、濡れ、乾燥していないか確認する。	P.25
操作できない／画面が動かない／電源が切れない	(電源ボタン)と(音量上ボタン)を同時に11秒以上長く押すと強制的に電源を切り再起動することができます。	P.19
電源が勝手に切れる	電池は十分に充電されていますか？	P.18
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	電池は十分に充電されていますか？	P.18
電話がかけられない	電源は入っていますか？	P.19
	SIMカードが挿入されていますか？	P.17
	電話番号が間違っていませんか？(市外局番から入力していますか？)	P.30
	電話番号入力後、「」をタップしていますか？	P.30
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.60
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.24
	サービスエリア外にいませんか？	P.24
	電源は入っていますか？	P.19
	SIMカードが挿入されていますか？	P.17
	「着信拒否」が設定されていませんか？	P.61
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.60
	「着信転送サービス」が設定されていませんか？	P.68
「」(圏外)が表示される	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.24
	内蔵アンテナ付近を指などで覆っていませんか？	P.16
	SIMカード以外のカードが挿入されていませんか？	P.17
Wi-Fi®がつながらない	Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？	P.24
	Wi-Fi®の設定をしましたか？	P.56
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。	−
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.60
ディスプレイ／着信ランプは点灯／点滅するが着信音が鳴らない	「着信音と通知の音量」が最小に設定されていませんか？	P.62
	マナーモードに設定されていませんか？	P.25
ボタン／タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.19
	スタート画面のセキュリティが設定されていませんか？	P.64
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.19
タッチパネルで意図した通りに操作できない	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。	P.22
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.19
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	P.18
電話が勝手に応答する	「伝言メモ」が設定されていませんか？	P.31
電池を利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？ • 赤色の充電ランプが緑色に変わるまで、充電してください。	P.18
	内蔵電池が寿命となっていませんか？	P.9
	「」(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.24
電話をかけたときに受話口(レシーバー)／スピーカー部から「ブーッ、ブーッ、ブーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.24
	回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	−
ディスプレイの照明がすぐに消える	「画面消灯」が短く設定されていませんか？	P.63
画面照明が暗い	「明るさのレベル」が暗く設定されていませんか？	P.63
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって画面の輝度を落とす場合があります。	−
相手の方の声が聞こえない／聞き取りにくい	通話音量が最小に設定されていませんか？	P.30
	受話口(レシーバー)／スピーカー部を耳でふさいでいませんか？ 受話口(レシーバー)／スピーカー部が耳の穴に当たるようにしてください。	P.16
イヤホンマイクのマイクが使えない	コネクタが正しく挿入されていますか？ 外部接続端子の奥までしっかり挿入してください。	−
動作が遅くなった／アプリの動作が不安定になった／一部のアプリを起動できない	メモリの空き容量がなくなると動作が安定しません。空き容量が少なくなったら、不要なアプリを削除してメモリの空き容量を確保してください。	P.24
電話帳の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知はありますか？ 通知がない場合は、電話帳の着信設定は有効になりません。また、電話帳のグループ着信設定は有効になりません。	−
	同じ電話番号が2件以上電話帳に登録されていませんか？	P.32
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しく取り付けられていますか？	P.52
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.62
カメラが動作しない	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。	P.18
緊急通報ができない	指定のSIMカードが挿入されていますか？	P.17
	指定のSIMカード以外のカードをご利用になっていませんか？	−
	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.24

Kyocera Confidential

アフターサービスについて

修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客さまのご要望により、有償修理いたします。

※ 保証期間は、本製品をお客さまが新規ご購入された日より1年間です。

memo

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益に関して、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いの端末は、再生修理した上で交換用端末として再利用します。また、アフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客さまへ返却することはできません。
◎ 本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
◎ 本体内蔵の電池は消耗品のため、保証対象外となります。

補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

無償修理規定

1. 修理受付時は、製造番号（IMEI番号）の情報をお知らせください。製造番号（IMEI番号）は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
2. 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
3. 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。（または、修理ができない場合があります。）
   ①取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
   ②不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
   ③当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
   ④使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
   ⑤地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
4. 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
5. 製品の機器が故障したことにより、発生した損害および損失利益に関しては負担いたしません。
6. 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
7. 出張による修理対応はお受けできません。
8. 本規定は、日本国内においてのみ有効です。
   （This warranty is valid only in Japan.）

※ 本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者及び、それ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

故障紛失サポート with Cloudについて

au／UQ mobileの端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。
月額利用料およびサービスの詳細については、au／UQ mobileホームページをご確認ください。

- auをご契約のお客さま
  https://www.au.com/mobile/service/kosho-funshitsu-cloud/
- UQ mobileをご契約のお客さま
  https://www.uqwimax.jp/mobile/plan/option/repair-cloud/

※ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

au ICカード（SIMカード）について

au ICカードは、auからお客さまにお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、au Style／auショップもしくはトヨタ au取扱店までお問い合わせください。

遠隔操作サポート

遠隔操作サポートを利用する

スマートフォンの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレーターがお客さまのスマートフォンの画面を共有し、お客さまの操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

※ ご利用にあたってはauスマートサポート、auスマートパスプレミアム、auスマートパス、故障紛失サポート／故障紛失サポート with Cloud等のいずれかにご加入いただくことでご利用いただけます。
詳しくはauホームページをご参照ください。
https://www.au.com/mobile/service/support-enkaku/

1 お客さまセンター、auスマートサポートセンターまでお問い合わせ

auスマートパスプレミアム・auスマートパス会員は局番なしの157番（au電話から／通話料無料）、0077-7-111（一般電話から／通話料無料）までご連絡ください。
auスマートサポート会員は、auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。

2 ホーム画面を上にスワイプ→[auサービス]→[遠隔操作サポート]

初回起動時には許可画面や使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

3 オペレーターの指示に従って操作

位置検索サポート

位置検索サポートについて

本製品を盗難・紛失された場合に、お客さまセンターやお客さまのパソコンから本製品を遠隔操作で位置検索をすることができます。

※ 本製品を遠隔操作で位置検索する場合は、auスマートサポートまたはauスマートパス、auスマートパスプレミアム、故障紛失サポート／故障紛失サポート with Cloud、安心サポートパック等のいずれかへの加入が必要です。

位置検索をご利用いただくにあたって

位置検索をご利用いただくにあたって当社では、提供した位置情報に起因する損害および逸失利益に関して、その原因の内容にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。また、サービスエリア内でも地下街など、電波の受信状態が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。

SIMロック解除

本製品にはSIMロックはされておりません。
他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
詳しくは、auホームページをご参照ください。
https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/

Kyocera Confidential

周辺機器

■ **TypeC共通ACアダプタ01（0601PQA）（別売）**
■ **TypeC共通ACアダプタ02（0602PQA）（別売）**
■ **MicroB-TypeC変換アダプタ（0601PHA）（別売）**
■ **共通ACアダプタ05（0501PWA）（別売）**※
※ ご利用にはMicroB-TypeC変換アダプタ（別売）が必要です。

memo
◎ 周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。商品によってはお取り扱いを終了している場合がございます。
https://onlineshop.au.com/

主な仕様

■ **本体**

ディスプレイ		6.1インチ、約1,677万色、TFT
		1,080×2,400ドット（FHD+）
重量		約248g
サイズ（幅×高さ×厚さ）		約72×156×8.9mm （最厚部 約10.2mm） ※突起部除く
内蔵メモリ容量※1		ROM:約64GB RAM:約4GB
連続通話時間	国内	約2,200分
	海外（GSM）	約920分
連続待受時間	国内	約690時間
	海外（GSM）	約740時間
Wi-Fi®テザリング最大接続数		10台
充電時間（目安）	TypeC共通ACアダプタ02（別売）	約140分
カメラ撮像素子		CMOS
アウトカメラ有効画素数		約800万画素
インカメラ有効画素数		約800万画素
無線LAN（Wi-Fi®）機能		IEEE802.11 a／b／g／n／ac準拠
Bluetooth®機能	対応バージョン	Bluetooth®標準規格Ver.5.3準拠※2
	出力	Bluetooth®標準規格Class 1
	通信距離※3	見通しの良い状態で10m以内
	対応プロファイル・機能※4	GATT（Generic Attribute Profile） SPP（Serial Port Profile） A2DP（Advanced Audio Distribution Profile） apt-X AAC LDAC AVRCP（Audio／Video Remote Control Profile） HSP（Headset Profile） HFP（Hands-Free Profile） OPP（Object Push Profile） PBAP（Phone Book Access Profile） HID（Human Interface Device Profile） PAN（Personal Area Networking Profile） PAN-NAP（Personal Area Networking-Network Access Point） PAN USER（Personal Area Networking-User） HOGP（HID over GATT Profile） Bluetooth SSP MAP（Message Access Profile）
	使用周波数帯	2.4GHz帯

※1 データとアプリで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリの使用容量により減少します。
※2 本製品およびすべてのBluetooth®機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth®標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※3 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※4 Bluetooth®機器どうしの使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。

memo
◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種KYG02の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.423W/kg(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.614W/kg(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用を原因とするいかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ：
https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
○ 一般社団法人電波産業会のホームページ：
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html
○ auのホームページ：
https://www.au.com/mobile/product/sar-list/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

Kyocera Confidential

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning
The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF EXPOSURE INFORMATION
Warning! Read this information before using your phone.

Warning! Read this information before using your phone. In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these international standards.

Body-worn Operation
This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.39 inches (1.0 cm) from the body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.39 inches (1.0 cm) must be maintained between the user's body and the back of the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain any metallic components. Body-worn accessories that do not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided. This device is not intended to be used with a lanyard or strap on the body. The device contains a mounting point that may be used to attach the device to equipment, a backpack or tool belt, etc.

Turn off your phone before flying
You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

■ FCC Certification Information
● The product is certified by Federal Communications Commission (FCC).
The product's FCC ID is JOYEB1147.
You can view this certification in the following way.
How to confirm:
Swipe upward on the Home screen, [Settings] → [About phone] → [Compliance information]

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客さまの責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

Google、Android、Google Play、YouTube、およびその他のマークはGoogle LLCの商標です。

Microsoft®、Windows®およびWindows® 8.1／Windows® 10は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。

Microsoft®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®、Windows Media®、Exchange®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。
Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

microSD、microSDHC、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

WiMAXは、WiMAXフォーラムの商標です。

Wi-Fi®、WPA™、WPA2™、WPA3™、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Direct®、Miracast®はWi-Fi Allianceの登録商標です。
Wi-Fi CERTIFIED™はWi-Fi Allianceの商標です。

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

FacebookおよびFacebookロゴはMeta Platforms, Inc.の商標または登録商標です。

Twitter、TwitterロゴはTwitter, Inc. の商標または登録商標です。

InstagramおよびInstagramロゴはMeta Platforms, Inc.の商標または登録商標です。

Amazon、Amazon.co.jpおよびAmazon.co.jpロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標または登録商標です。

Netflixは、Netflix, Inc.の登録商標です。

TikTokおよびTikTokロゴは、ByteDance Ltd.(バイトダンス エルティーディー.)またはその関連会社の商標または登録商標です。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

(1) ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
(2) 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

「DIGNO」、「ウェットタッチ」、「グローブタッチ」は京セラ株式会社の登録商標です。

USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。

その他本文中に記載されている社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

Kyocera Confidential

License

■ OpenSSL License

【OpenSSL License】
Copyright © 1998-2011　The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
【Original SSLeay License】
Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

この取扱説明書で説明されている本製品にインストールされているソフトウェアについては、お客さまに使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点にご注意ください。
(a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出を行ってはなりません。
(b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
(c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の非侵害などの黙示の保証を行うものではありません。
ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License(GPL)、GNU Library/Lesser General Public License(LGPL)およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。
なお、オープンソースソフトウェアについては、以降に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

■ オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License(GPL)、GNU Library/Lesser General Public License(LGPL)、その他のオープンソースソフトウェアのライセンス条件が適用されるソフトウェアを含みます。GPL、LGPLおよびその他のライセンスの具体的な条件については、本製品の「デバイス情報」からご参照いただけます。詳細については京セラ株式会社のホームページをご覧ください。
本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェアおよび京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアが含まれています。
本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社または第三者が有しており、著作権法上認められた使用法および京セラ株式会社が別途認めた使用法を除き、お客さまは京セラ株式会社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

■ 診断および使用状況データの記録

京セラ株式会社では、製品とサービスの品質の向上のために、お客さまのご協力をお願いしています。京セラ株式会社は、予期しないシャットダウンやシステムエラーなどの診断イベントを追跡して対処し、品質とサービス向上を目的として、お客さまの端末の故障診断および使用状況データ(お客さまによるアプリケーションの使用状況情報、エラーに関するログ情報、およびお客さまによるアプリケーションの使用に関する詳細情報(特定の機能、使用頻度、メモリ／電池の使用状況))を端末内に記録、保存しております。これらの情報はお客さまより端末の修理依頼があった際に、お客さまの同意の上収集することがあります。

Kyocera Confidential

索引

索引.....84

Kyocera Confidential

索引

記号／数字／アルファベット

＋メッセージ
　グループ……38
　公式アカウントの登録……38
　設定……38
　送信……38
　ブロックリスト……39
　モード……38
　利用方法の確認……38
　連絡先の登録……38
au国際電話サービス……31
au世界サービス……74
　お問い合わせ方法……74
　データ通信……74
auのネットワークサービス……67
　英語ガイダンス……70
　遠隔操作サービス……70
　応答メッセージ……70
　お留守番サービスEX……69
　お留守番サービス総合案内……69
　三者通話サービス……71
　蓄積停止……70
　着信お知らせサービス……68
　着信転送サービス……68
　通話明細分計サービス……71
　伝言お知らせ……69
　伝言録音……69
　日本語ガイダンス……70
　発信番号表示サービス……68
　番号通知リクエストサービス……69
　フル転送……68
　ボイスメール……69
　無応答転送……68
　迷惑電話撃退サービス……71
　留守伝言再生……70
　割込通話応答……71
　割込通話サービス……71
auメール……36
　初期設定……36
　迷惑メールフィルター……36
　利用方法の確認……36
Bluetooth®機能……56
　機器登録……56
　起動……56
　注意……13
　データの送受信……56
　ペア設定コード……56
　ペアリング……56
Chrome……42
　Webページの表示……42
Files……53
Gmail……39
Google……65
Google Play……48
Google TV……46
Google アカウント……20
Google マップ……49
Keep メモ……50
Meet……49
microSDメモリカード……52
　初期化……53
　取り付け……52
　取り外し……52
My au……47
My UQ mobile……48
NFC(FeliCa®対応)アンテナ部……16
PINコード……13
　変更……64
PINロック解除コード……13
SAR……80
SIMカード……17
　取り付け……17
　取り外し……17
SIMカード／microSDメモリカードトレイ……16
SIMロック解除……79
UQ mobileメール……37
USB Type-Cケーブル(市販品)
　接続……18、53
VPN設定……60
Wi-Fi®……56
　起動……56
　接続……57
　切断……57
　注意……13
　ネットワークを追加……57
Wi-Fi Direct®……57
YouTube……49

あ

アウトカメラ(レンズ部)……16
アカウント……64
　アカウントを削除……64
　アカウントを追加……64
　同期……64
あとから録音……30
アフターサービス……79
アプリ一覧
　メニュー……24
アプリ権限設定……14
アラーム……49
暗証番号……13
あんしんフィルター for au……48
安全上のご注意……6
インカメラ(レンズ部)……16
インターネット……42
おサイフケータイ®……47
　ご利用にあたって……47
音の設定……62
　音量調節……62
　操作音……62
　マナーモード……25
音声レコーダー……50
音量上／下ボタン……16

か

海外利用……74
　お問い合わせ方法……74
　海外ローミング……74
外部接続端子……16
各部の名称と機能……16
壁紙……23
カメラ
　画面の見かた……45
　撮影モード……46
　静止画撮影……46
　設定……45
　動画撮影……46
画面の固定……24
カレンダー……49
簡易ライト……50
かんたんホーム……23
機内モード……60
基本操作……22
近接センサー……16
クイック起動エリア……22
携帯電話機の比吸収率(SAR)……80
故障とお考えになる前に……78
故障紛失サポート……79

さ

最近使用したアプリ……24
撮影ライト／簡易ライト……16
自動電源ON／OFF……65
自分の電話番号……31
指紋認証……25
充電……18
充電ランプ……16、24
周辺機器……80
受話口(レシーバー)／スピーカー部……16
仕様……80
ズームイン／ズームアウト……22
スクリーンショット……25
スタート画面……19
ステータスアイコン……24
ステータスバー……24
ステップアップ着信……31
ストラップ取付口……16
ストレージ……53
ストレージの設定……62
スライド……22
スリープモード……19
スワイプ……22
設定メニュー……60
送話口(マイク)／スピーカー……16
ソフトウェア更新……78
　ご利用上の注意……78
　ダウンロード……78

た

ダイレクトボタン……16
タッチパネル……22
タップ……22
ダブルタップ……22

Kyocera Confidential

着信拒否 61
着信(充電)ランプ 16
着信ランプ 24
通知アイコン 24
通知パネル 24
通話音声メモ 30、61
通話履歴 30
ディスプレイ(タッチパネル) 16
ディスプレイの設定 63
　自動回転 22
データ通信 42
　注意 14
データの初期化 65
テザリング 57
　Bluetooth®テザリング 57
　USBテザリング 57
　Wi-Fi®テザリング 57
電源ボタン／指紋センサー 16
電源を入れる 19
電源を切る 19
伝言メモ 31
電卓 49
電話 29
　SMSで返信 31
　受ける 31
　かける 30
　設定 61
電話帳 32
　インポート 33
　エクスポート 33
　お気に入り 32
　グループ 32
　削除 32
　作成 32
　電話をかける 32
　登録 32
　編集 32
時計 49
ドラッグ 22
取り扱い上のご注意 9

な

ナビゲーションバー 22

は

光センサー 16
日付と時刻 65
表記方法 1
フォト 46
不在着信通知 31
フリック 22
プロフィール 31
ホームアプリ 23
ホーム画面 22
　アプリ 23
　ウィジェット 23
　フォルダ 23
保存領域 52

ま

マイク 16
マップ 49
マナーモード 25
マルチウィンドウ 24
メール
　＋メッセージ 38
　auメール 36
　Gmail 39
文字入力 26
　絵文字入力 27
　顔文字入力 27
　記号入力 27
　切り取り 27
　コピー 27
　単語リスト 27
　貼り付け 27

ら

リーダー／ライター 47
レシーバー 16
レンズ部 16
ロングタッチ 22

Kyocera Confidential

auサポート

アプリ・Web サイト

■My auアプリ

ご利用料金、ポイント、ご契約内容などの確認や、各種
お手続きができます。
※povo をご利用のお客さまは、povo2.0 アプリ /povo1.0 アプリ
でのご確認になります。

My au　ダウンロードは コチラ

■auサポート（web）

困ったときに役に立つ各種サポート情報をご案内しています。

URL http://kddi-l.jp/Gf9

メッセージ

ご相談はいつでもどこでもチャットでかんたん！
AI が 24 時間素早く回答、アドバイザーが詳しくお応えします。

URL http://kddi-l.jp/Bz6

電話

お問い合わせ内容ごとの直通番号を au ホームページで
ご案内しています。

URL http://kddi-l.jp/NuR

UQ mobileサポート

アプリ・Web サイト

■My UQ mobile（アプリ）

データ残量、ご請求額、各種サービスの加入状況を確認できます。
通信モードの切り替えもワンタッチです。

My UQ mobile　ダウンロードは コチラ

■UQ mobileサポート（web）

困ったときに役に立つ各種サポート情報をご案内しています。

URL http://kddi-l.jp/jQX

チャット

ご相談はいつでもどこでもチャットでかんたん！
AI が 24 時間素早く回答、アドバイザーが詳しくお応えします。

URL http://kddi-l.jp/j9z

電話

お客さまに最適なお問い合わせ先を UQ mobile
ホームページでご案内しています。

URL http://kddi-l.jp/aIt

故障紛失サポート / 故障紛失サポート with Cloud 会員向けサービス

故障紛失サポートセンター（年中無休 / 通話料無料）	au携帯電話 / UQ mobile / 一般電話から
故障相談・交換用電話機お届けサービス受付 （受付 9:00～20:00）	フリーコール 0120-925-919

Kyocera Confidential

やめましょう、歩きスマホ。

有害サイトから子供を守る！

キケン！水ぬれ充電

濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHS のリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

あぶない！電池への衝撃

衝撃や過度な外圧を加えると、電池の破損・変形等により発煙・発火等の原因となり大変危険です。

2022年12月第1版　発売元：ＫＤＤＩ株式会社・沖縄セルラー電話株式会社　製造元：　京セラ株式会社